

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を定めている場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	(4)「その他の具体的な内容」	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
皇学館大学	学生支援部学生担当	特別奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		1～4年生・全学部 指定した入試の成績等が特に優秀な学生	給付奨学金	4年間	1名	地域条件なし	学生支援部	併用可	併用可	
	学生支援部学生担当	特待生	その他	1年次～一般前入試科目出願時 2～4年次 4月に学内推薦	特待生・成績優秀者		1～4年生・全学部 入学試験成績等が特に優秀な学生、また学年次の学業成績が特に優秀な学生の学業を奨励するため	給付奨学金	1年間	1名	地域条件なし	学生支援部	併用可	併用可	
	学生支援部学生担当	授業料の減免	その他	4月10日または10月10日	入学会・授業料減免		1～4年生・全学部 ※国字支援制度の適用 1項 寄付支援費に次のような事情が発生し、学費の支弁が著しく困難となった学生を支援するため。(1)要寮支持者が死亡した場合 (2)災害または火災のため、居住家が被害を受けた場合 (3)傷病により、長期の治療又は療養を受けることになった場合 (4)事業又は勤務先企業が倒産等により、失業した場合	免除・減免	事実発生の翌期	人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可	
	学生支援部学生担当	特定奨学金	その他	4月10日または10月10日	学費支援		1～4年生・全学部 次の事情により、学費の支弁が著しく困難となった学生 (1)進学における授業料免除及びそれに伴う生活費、経済状況が変わらず、引き続き教育が必要なる学生 (2)皇学館大学の入学決定に合格した後に奨学金制度第6条第3項の事情と同等又は同等と判断される状況にある新入生 (3)奨学金制度第6条第3項に規定する事情の発生により、発生当学期及び次学期の学費の支弁が著しく困難となった学費未納の学生 (4)要寮支持者が勤務先企業が倒産等により失業し、半年以上無収入に陥り悩んだ場合	給付奨学金	1回	人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可	
	学生支援部学生担当	貸与奨学金	その他	4月10日または10月10日	学費支援		1～4年生・全学部 学費の支弁を困難とする学部学生で標準修業年度で卒業する見込みがある学生。ただし、日本学生支援機構奨学金で返還予定総額が300万円を超えるものは無いことができない。	貸与奨学金	無利息、各学期の学費(授業料及び教育充実費)相当又は2分の1	3回以内または貸与総額100万円以内	人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	東日本大震災等により罹災した皇学館大学入学生の入学会及び初年度学費の免除	入学手続時		被災者資金支援		1年生・全学部 次の各号のいずれかに該当し、経済的に修業困難であると認められる者に対しては、その届出日より、入学会及び初年度学費又はそのいずれかの免除を許可することがある。(1)市町村長又は消防隊長が発行する罹災証明書により、発生当学期及び次学期の学費の支弁が著しく困難となった学費未納の学生 (2)東日本大震災等により罹災した学生 (3)東日本大震災等により学費支弁者が死亡した者 (4)被災に準ずる場合であって、相当と認められる理由がある者	免除・減免	入学会全額、初年度学費は全額又は半額。	1回		地域条件なし	学生支援部	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	給付奨学金	在学中	3～4年次	特待生・成績優秀者		3～4年生・全学部 謙学の精神を体して精励し、学業及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	岡田奨学金	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		2～4年生・全学部 謙学の精神を体し、学業及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	前友会長奨学金	在学中	2～4年次	特待生・成績優秀者		3年生・全学部 学生の健全な育成のために、学業成績優秀、品行方正あるいは学外活動において顕著な成績を挙げた学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	長谷奨学金	在学中	3～4年次	特待生・成績優秀者		3～4年生・全学部 神道に関する学術を研究し、卒業後も引き続き神道に専ら従事する学生又は神職若しくは神社に関する業務に従事する学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	慶光院奨学金	在学中	3～4年次	特待生・成績優秀者		3～4年生・全学部 徳義を神職に育成するため、神職課程を履修し、神道に関する学術を研究している学生で、卒業後神職又は神社に関する業務に従事する学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	安部奨学金	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		2～4年生・全学部 神職課程を履修し、神道に関する学術を研究している、学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	神社本庁育英奨学金	在学中	2年生以上	その他	神社神道の興隆に寄与する有為の人材を養成	2～4年生・全学部 文部科学省に在学中の原則特待生で、卒業後神職または神道に関する研究のほか神社に関する業務に従事しようとする意思堅固、品行方正、身体剛健、かつ成績優秀な学生であって学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間(継続申請可)		地域条件なし	学生担当	併用不可	併用不可
	学生支援部学生担当	神宮特別奨学金	在学中	3～4年次生	その他	神宮教育ならびに神道学に寄与する有為な人材の育成	3～4年生・全学部 神道神道学科3年生以上の学生で、卒業後神職に就きようとする意思堅固かつ学業成績優秀な学生。	給付奨学金	年額20万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	全国敬神婦人連合会育英奨学金	在学中	2年生以上	その他	神社神道の興隆に寄与する有為な人材を養成	2～4年生・全学部 文部科学省に在学中の原則特待生で、卒業後神職又は神道に関する研究のほか神社に関する業務に従事しようとする意思堅固、品行方正、身体剛健、かつ学業成績優秀な学生であって学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額15万円	1年間(継続申請可)		地域条件なし	学生担当	併用不可	併用不可
	学生支援部学生担当	伏見稲荷大社奨学金	在学中	全学年	その他	神社神道の興隆および稲荷信仰の発展に寄与する学生	2～4年生・全学部 文部科学省に在学中の原則特待生で、卒業後神職又は神社神道及び稲荷信仰の普及に関する業務に従事しようとする意思堅固かつ学業成績優秀な学生	給付奨学金	年額24万円	採用から卒業までの標準修業年限		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
	学生支援部学生担当	高松奨学金	その他	1月中旬	課外活動支援制度		1～4年生・全学部 課外活動で特に顕著な成績を挙げたクラブ(部)、その他の団体	給付奨学金	年額5万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可
学生支援部学生担当	母の会グローバル人材育成支援奨学金	在学中	全学年	留学費用支援制度		1～4年生・全学部 本学が企画する海外留学に参加する学生	給付奨学金	海外留学費用の一部(令和5年度実績59,500円～158,900円)	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可	
学生支援部学生担当	母の会教育奨励賞	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		2～4年生・全学部 学生の勉学研究意欲の高揚を奨励	給付奨学金	3万円分の図書カード	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可	
学生支援部学生担当	学長奨励賞	その他	12月上旬	課外活動支援制度		1～4年生・全学部 課外活動等で顕著な成績を挙げたクラブ(部)その他の団体及び個人	給付奨学金	1万円～5万円	1年間		地域条件なし	学生担当	併用可	併用可	
群馬医療科学大学	入学課	群馬医療科学大学 特待生(授業料減免)制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料減免		特待生選考対象入試(学芸学部選考 基礎型2方式、一般選抜A日程及びB日程、共通テスト利用方式 前期)の成績優秀者 入学会・授業料減免 ※年度も継続して減免措置が適用される。	免除・減免	所属する学部の年間授業料の半額	最大4年間(入学時は4年間)※年度ごとに継続可能あり	地域条件なし	入学課	併用可	併用可	
四日市大学	教育・学生支援部	入試特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学会・授業料減免		新入生対象 総合政策学部、環境情報学部 対象の入学試験で成績上位者から選抜し、授業料最大全額を減免します。 ※前年、4年間減免は継続します。	免除・減免	第1種特待生は授業料100%(680,000円)減免 第2種特待生は授業料50%(340,000円)減免 第3種特待生は授業料30%(204,000円)減免	最大40名	地域条件なし	入試広報室	併用可	併用不可	
	教育・学生支援部	スポート奨学金	学校出願時		学費支援 課外活動支援制度		入学生 総合政策学部、環境情報学部 対象クラブは、陸上競技部、サッカー部、テニス部、ソフトテニス部、ゴルフ部の5つ。 各クラブ監督者が推薦した者。 ※前年4月間、ただし、2年次以降は継続審査あり。	免除・減免	第1種授業料100%減免(680,000円) 第2種授業料50%減免(340,000円) 第3種授業料30%減免(204,000円)	最大60名	地域条件なし	入試広報室	併用可	併用可	
	教育・学生支援部	大規模災害復元奨学金	学校出願時		入学会・授業料減免		1年～4年生の総合政策学部生及び環境情報学部生対象 すべての入試において、大規模災害に罹災した受験生を対象に行う。詳細は入試広報室まで。	免除・減免	①特別措置1種は入学会・授業料全額減免 ②特別措置2種は入学会・授業料50%減免	原則4年間、ただし、2年次以降は継続審査あり	人数制限なし	地域条件なし	入試広報室	併用可	併用可
	教育・学生支援部	特待生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援		2年生以上の総合政策学部生、環境情報学部生対象 入学後の学業及び人物が優秀な優秀生	免除・減免	授業料50%減免	1年間		地域条件なし	教育・学生支援部	併用可	併用可
	教育・学生支援部	同窓生奨学金	学校出願時		その他	核定額と入学金の減免		総合政策学部生、環境情報学部生対象 四日市大学の卒業生及び在学生の二親等内の親族を対象に、入学試験出願時に申請。	給付奨学金	①核定料の一部免除 ②入学金の50%免除	1回限り	人数制限なし	地域条件なし	入試広報室	併用可
四日市看護医療大学	教務課		四日市看護医療大学育成奨学金	学校出願時	入学会・授業料減免		育成奨学生入試を受験し、合格した者を「四日市看護医療大学育成会」が奨学生として採用し、授業料相当額(年間106万円)を4年間貸与します。 ●奨学金: 授業料相当額4年間貸与(年間106万円)卒業後5年間、看護科、保健科および助産科いずれかの免許を取得し、四日市内内の指定の就職先を確保した場合は、全額返免 ●奨学金: 育成奨学生入試 ●奨学金: 卒業後、看護科、保健科および助産科いずれかの正課職員として、四日市内内の指定の就職先を確保し、かつ奨学金の返還義務を負う ●卒業成績および発行が優れ、かつ健康な者。	給付奨学金	4年間	看護学科30名(前期25名、後期5名) 臨床検査学科 3名	地域条件なし	併用可	併用可		
	教務課		リベラルアーツ奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 その他		東川重氏からの寄付金を原資とするリベラルアーツ奨学金で、本学看護学部(看護学科)看護学科(臨床検査学科)において正課課程2年次に在籍する学生のうち、教養科目の成績が1年次から通算し最も優秀であった者に対して給付する。看護学科1名、臨床検査学科2名。	給付奨学金	1回限り	年間2名	地域条件なし	併用可	併用可		
	教務課		長江拓子奨学金	その他	教員からの推薦	特待生・成績優秀者 その他		長江拓子氏からの寄付金を原資とする長江拓子奨学金で、本学看護学部(看護学科)看護学科(臨床検査学科)において正課課程2年次に在籍する学生のうち、学業、人物ともに優れ、本学および社会への貢献意欲と認められる者に対して給付する。	給付奨学金	奨学金の給付額は、1人10万	地域条件なし				
	教務課		四日市看護医療大学奨励奨学金	学校出願時	学費支援		四日市看護医療大学に在籍する学生で、過去6ヶ月に新しい学業分野が生じ、それにより修学困難が困難となり、本学規定の学費基準および学業基準のいずれにも該当する者	給付奨学金	各年度6名を上限とし、一人当たり授業料の半額相当を一括給付する。原則として、帰国は、在学中に一歳限りとする。	地域条件なし					
	教務課		あかつき特待生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学会・授業料減免 その他		あかつき特待生選考を受験し、合格した者を特待生として採用し、授業料半額相当額を4年間貸与。	免除・減免	授業料半額相当額(年額43万円)	4年間	10名(前期日校6名 後期日校2名)	地域条件なし	併用可	併用可	
	入学センター		成績優秀者特別奨学金制度	在学中	入学会・授業料減免		一般入試Aで、各学期において優秀な成績を挙げた方(合格者上位5%以内)に、入学年度から最長4年間継続して学費の半額(秋学期)を給付します。	給付奨学金	1年次 175,000円 2年次以降 630,000円	入学年度から最長4年間継続。	地域条件なし	入学センター	併用可	併用不可	
入学センター		総合型選抜入学生入学金減免制度-指定校推薦入学生入学金減免制度	学校出願時	入学会・授業料減免		総合型選抜-指定校推薦入試で入学される方のうち成績優秀者に入学金を減免する。	給付奨学金 免除・減免	高校での全体の学習成績の状況(3以上 250,000円(入学金額) 高校での全体の学習成績の状況(3以上 2 125,000円(入学金額)	入学時	制限なし	地域条件なし	入学センター	併用可	併用可	
入学センター		入学初年度秋学期授業料半額免除制度	在学中	入学会・授業料減免		私学授業料の補助金制度と本学の制度を併せ、入学初年度の秋学期授業料を半額免除します(1年次秋学期のみ)。一定の適用基準を満たした新入生に適用します。2024年度新入生の家計基準は給与所得者600万円、給与所得者以外250万円でした。	免除・減免	245,000円	1年次秋学期	制限なし	地域条件なし	入学センター	併用可	条件有り併用可	
入学センター		姉妹・親族入学金減免制度	学校出願時	入学会・授業料減免		①入学時点で姉妹が本学に在籍している場合 ②祖母、母、20歳以上の姉妹が本学院の卒業生である場合 以上のいずれかに該当する場合、入試区分にかかわらず、入学金を全額免除します。	給付奨学金 免除・減免	①2 250,000円(全額)	入学時	制限なし	地域条件なし	入学センター	併用可	併用可	
入学センター		保育技術検定取得者入学金減免制度	在学中	入学金の減免	入学会・授業料減免		①保育技術検定 1級取得者: 250,000円(全額) ②保育技術検定 2級取得者: 125,000円(半額) 子ども教育学部と併し、入学する方のうち保育技術検定を取得していれば、上記の条件で入学金を減免します。	免除・減免	初年度入学金	人数制限なし	地域条件なし	入学センター	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
長浜バイオ大学	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学入学奨学金	在学中	特待生・成績優秀者		【学部・大学院】 対象学年は2次生以上で、前年度の年間成績(GPA)上位者を学内にて審査・選考の上、推薦・決定します。		給付奨学金	月額33,000円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活支援担当	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学スポーツターナー奨学金	在学中	特待生・成績優秀者		【学部・大学院】 対象者は2次生以上で、前年度の年間成績(GPA)上位者を学内にて審査・選考の上決定します。		給付奨学金	月額20,000円・1年間給付	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活支援担当	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学入学試験成績優秀者学費等免除制度(特待奨学金)	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		【入学生対象】 入学試験成績優秀者を対象に審査・選考により認められた学生に対して、1~2年次生時の授業料の50%を上限に減免する奨学金制度です。		免除・減免	授業料の50%減免		若干名	地域の制限なし	入試係	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学学費緊急支援奨学金	在学中	用途を定めない経済的支援		【全学生対象】 入学出願に際し、学費緊急事由により、修学が困難となった学生を経済的に援助するための奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して、300,000円を上限に支給します。		給付奨学金	上限300,000円	前期と後期の2回募集。給付は年1回限り。	前期後期各5名程度。		地域の制限なし	学生生活支援担当	併用可	条件有りで併用可
	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学学費支援奨学金	在学中	学費支援		【全学生対象】 家計状況により、修学が困難となっている学生を経済的に支援するための奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して、200,000円を支給します。		給付奨学金	200,000円	前期と後期2回募集。給付は当該年度で1回限り。	前期後期各7名程度。		地域の制限なし	学生生活支援担当	併用可	条件有りで併用可
	アドミッション・オフィス	長浜バイオ大学入学試験成績優秀特待生学費減免制度(特待生)	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜前期A・Bにおいて合格者得点率70.0%または大学入共通テスト利用入試において合格者得点率60.0%以上の者		免除・減免	国立大学標準額まで減免 1年次納入金:525,800円 2~4年次納入金:535,800円	4年間	人数制限なし	地域の制限なし	入試係	併用可	併用可	
聖泉大学	アドミッション室	特別奨学金A	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		聖泉大学看護学部【一般選抜(A日程)】を受験し、次のいずれにも該当する者 1.高等学校に在籍し2025年3月に卒業見込の者 2.高等学校に在籍中の成績が優秀である者(評定平均値が概ね3.8以上の者)		免除・減免	年間授業料の金額(105万円)を免除	入学後成績が一定基準以上であれば4年間	3名	地域の制限なし	アドミッション室	併用可	併用可	
	アドミッション室	特別奨学金B	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		聖泉大学看護学部【学校推薦型選抜(公募制・A日程)】または【学校推薦型選抜(指定校)】を受験し、次のいずれにも該当する者 1.高等学校に在籍し2025年3月に卒業見込の者 2.高等学校に在籍中の成績が優秀である者(評定平均値が概ね3.8以上の者)		免除・減免	年間授業料の半額(52.5万円)を免除	入学後成績が一定基準以上であれば4年間	6名	地域の制限なし	アドミッション室	併用可	併用可	
	アドミッション室	成績優秀者特別奨学金	在学中	特待生・成績優秀者		・看護学部1年~3年まで、 ・各学年の成績上位者に対して翌年度に給付。 ・最長で3年間(2年生から4年生まで)給付を受けることが可能。		免除・減免	年間授業料の半額(52.5万円)を免除	3年間	各学年6名	地域の制限なし	アドミッション室	併用可	併用可	
びわこ学院大学	学生支援課	特別奨学生・スポーツ特別奨学生	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		選考対象奨学生で特別奨学生・スポーツ特別奨学生に応募した者		免除・減免	特別奨学生…授業料・教育実習費等軽減 スポーツ特別奨学生…入学資金全額免除		特別奨学生…原則給付 スポーツ特別奨学生…入学時のみ	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
びわこハビリエーション専門学校	入試広報グループ	一般選抜スカラシップ制度	学校出願時	特待生・成績優秀者		一般選抜入試A日程で特に優秀な成績の者スカラシップ生として認定し、スカラシップ生Aに対して初年度年間授業料相当額90万円を、スカラシップ生Bに対して初年度年間授業料の半額相当額(45万円)を給付します。		給付奨学金	スカラシップ生A 90万円 スカラシップ生B 45万円	1回限り		地域の制限なし		併用可		
	入試広報グループ	指定校推薦スカラシップ生制度	その他	その他		本学が指定する高等学校で、かつ本学が指定する学習進捗の状況(評定平均値)を高くし、高等学校長から推薦された方が入学を決定した場合、指定校推薦スカラシップ生として認定し、入学金の一部(10万円)を給付します。【推薦条件等詳細は、各高等学校に通知します。】		給付奨学金	10万円	1回限り		地域の制限なし		併用可		
	入試広報グループ	社会人学び直しスカラシップ生制度	その他	その他		本学が行う総合型選抜入試、社会人選抜入試及び一般選抜入試において、本学に入学を希望する満年齢20歳以上の社会人が、当該入学試験に合格し入学した場合に、社会人スカラシップ生として認定し、入学後に150,000円を奨学金として給付します。本制度の対象となる社会人7名、奨学金の額は上記の通り、次のいずれかの項目に該当する必要があります。 ① 高等学校(中等教育学校の後継課程を含む)を卒業した者 ② 通常の課程による12年の学校教育を受けた者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ※学費再補助制度		給付奨学金	15万円	1回限り		地域の制限なし		併用可		
大谷大学	入学センター	大谷大学入試特別奨学金	入学手続時	特待生・成績優秀者		公募制推薦入試(併願制・B方式)および一般入試(第1期/3教科型、2教科型、英・数型)の各入試にて優秀な成績を修めた入学生に年2回に分けて給付		給付奨学金	年額84万円(教育費額は34万円)	入学年度の5月末・10月末頃		地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	入学センター	大谷大学育英奨学金	在学中	特待生・成績優秀者		・第2学年以上の在学学生 ・所定の学力基準あり		給付奨学金	採用年度の半期授業料相当額	採用年度の10月予定		地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
	入学センター	書井奨学金	その他	学費支援		在学学生、最短期卒業年を超えていない者、また、所定の卒業所要単位数を修得済の学生、生計維持者の年間収入合計金額に基準あり		給付奨学金	20万円	採用年度の1月	各学年1~2名以内(学年によって異なる)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可	
	入学センター	石間奨学金	その他	学費支援		第4学年、生計維持者の年間収入に基準あり		給付奨学金	33万3千円	採用年度の11月	3名以内		地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで併用可
	入学センター	大谷大学教育ローン奨助奨学金	その他	学費支援		経済的理由により就学が困難なため金融機関などの教育ローンを利用した新入生、家計は日本学生支援機構第2種奨学金受給学生推薦基準の収入基準額以下、最短期卒業年は毎年継続可		給付奨学金	年額3万円	毎年3月	毎年20名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入学センター	大谷大学留学期間奨学金	その他	留学期間支援制度		本学の留学期間制度を利用して海外の大学等に留学期間を過ごす学生(交換留学生を除く)		給付奨学金					地域の制限なし	教育研究支援課	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	入学センター	天災等による学費減免・減額制度	その他	入学後・随時受付可		入学金・授業料減免 被災者学費支援		給付奨学金	年間学費の全額免除、年間学費の1/2減額、年間学費の1/4減額	既に納入済の学費減免については採用基準急に遡及し、納入予定の学費減免については予算の範囲内で採用			地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	公益財団法人中信育英奨学金	その他	3~4月	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		4月に第2学年に連続している学生		給付奨学金	月額2万円	第2学年から3年間 ※休学期間は休止	1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで併用可
	入学センター	東本願寺奨学金	その他	4月~5月	その他		最終学年のみ、卒業所要単位数94単位以上取得している学生		給付奨学金	16万円	採用年度の7月	5名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	大谷大学教育後援会文芸奨助賞	その他	7月~9月	その他		書業による表現意欲を奨励		給付奨学金	最優秀賞6万円、優秀賞3万円、佳作1万円	採用年度の12月	最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作13名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	大谷大学教育後援会勤労学生表彰奨学金	その他	7月~10月	用途を定めない経済的支援		4月に連続している学生		給付奨学金	8万円	採用年度の3月	5名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	大谷大学教育後援会会計奨助奨学金	その他	前期:5月~6月 後期:11月~12月	学費支援		4月に連続している学生		給付奨学金	25万円	前期:採用年度の7月 後期:採用年度の1月	22名以内(前期・後期 各16名以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	大谷大学教育後援会学費支援奨学金	その他	前期:6月~7月 後期:12月~1月	学費支援		以下の全てに該当する学生。 ・最終学年で最短期卒業年を超えていない。 ・卒業論文・卒業研究提出済で、出願時に卒業所要単位数108単位以上取得している。 ・卒業年度の最終学期に学費再補助金を完了している。 ・生計維持者の属する世帯が低所得世帯である。		給付奨学金	20万円	前期:採用年度の7月 後期:採用年度の1月	5名以内(前期2名以内、後期3名以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	入学センター	大谷大学教育後援会特別奨与奨学金	その他	前期:6月~7月 後期:12月	学費支援		・出願時に、各学年所定の卒業所要単位数を修得している学生 ・4月に連続・卒業している学生 ・所定の学費基準あり		貸与奨学金	10万円以上5万円単位、半期授業料相当額を上限。 ※月額1万5千円の返済で、在学中に返済完了可能であることが条件。	前期:採用年度の7月 後期:採用年度の1月	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで併用可	併用可
	入学センター	総合型選抜入学者奨学金	入学手続時	学費支援 用途を定めない経済的支援		総合型選抜入試の真実学科、仏教学科の入学者全員		給付奨学金	25万円	1回限り			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
	入学センター	真宗大谷学園大谷高等学校入学者奨学金	入学手続時	その他		指定校推薦入学者入試制度において、真宗大谷学園大谷高校から推薦された入学生		給付奨学金	25万円	1回限り			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
	入学センター	真宗大谷経済学校連合会加盟高等学校近畿圏外入学者並学支援奨学金	入学手続時	特待生・成績優秀者		指定校推薦入学者入試制度において、真宗大谷学園連合会に加盟する高校から推薦された近畿圏外からの入学生に、年2回に分けて給付		給付奨学金	年額42万円	1回限り			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
	入学センター	入試特別奨学金チャレンジ奨励	その他	入学試験合格後、入学前までの一定期間	特待生・成績優秀者		年内入試の入学者手続者のうち、一般入試【第1期/3教科型、2教科型、英・数型】にて優秀な成績を修めた入学生に年2回に分けて給付		給付奨学金	年額84万円(教育費額は34万円)	入学年度の5月末・10月末頃		地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
京都産業大学	学生支援センター	京都産業大学入学試験成績優秀者奨学金制度	その他	対象者からの申請は不要	特待生・成績優秀者 入学奨励 入学金・授業料減免		一一般選抜入試(前期日程)[中期日程]スタンダード3科目型の入試科目が各学部で成績上位3%の合格者	給付奨学金	(年額)入学後2年間、所属学部の半額学費相当を給付。	入学年度から2年間(2年次連続時に学業成績の審査あり)	全学部合わせて約100名	地域の制限なし	入学センター		併用可
	学生支援センター	各学部奨励金	在学中	学期により異なる	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度		学業成績優秀者、資格取得者等、学期により異なる	給付奨学金	1～20万円の中で学期により異なる	当該年度限り	学部により異なる	地域の制限なし	各学部事務室	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学課外活動優秀者奨学金	在学中	全年	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度		課外活動において、全国大会などで優勝した者、又は種別ある国際大会の日本代表として出場した者、もしくはこれに相当する実績を収めた者 ※ クラブ部長からの推薦に基づく選考 ※ 全学部生対象	給付奨学金	所属学部の半額学費	当該年度限り	特に定めず	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学課外活動奨励奨励奨学金	在学中	全年	課外活動支援制度		本学公認団体に所属している学生で、経済的理由のために課外活動の継続が困難な者 ※ 全学部生対象	貸付奨学金	(年額)体育系クラブ上限30万円 文化系クラブ上限15万円	当該年度限り	毎学期50名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学むすびわざ支援奨学金	在学中	2年以上	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 その他	経済的困難者支援	学業成績が特に優秀で、かつ経済的理由により移学の継続が困難な者 ※ 各年次により、設定された学力基準・家計基準をクリアしている者 ※ 学部と2～4年生対象	給付奨学金	年間学費額または半額学費額	当該年度限り(継続審査あり)	21名以内	地域の制限なし	学生支援センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生支援センター	京都産業大学災害給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支弁者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部生対象	給付奨学金	上限 半額授業料相当額	当該学期限り	特に定めず	地域の制限なし	学生支援センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生支援センター	京都産業大学災害応急給付奨学金	在学中	全年	学費支援 その他	経済的困難者支援	入学後において、またも家計支持者の死亡、やむを得ない事情による失業または障害、会社倒産、自己破産等により家計が急変し、学費納入または移学の継続が困難な者 ※ 全学部生対象	給付奨学金	上限 半額学費相当額	当該学期限り	特に定めず	地域の制限なし	学生支援センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生支援センター	京都産業大学教育ローン給付奨学金	在学中	全年	学費支援 その他	経済的困難者支援	金融機関の教育ローンを利用して学費等を納入した者 ※ 全学部生対象	給付奨学金	上限5万円(当該年度に負担した料子合計額)	当該学期限り	100名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学奨励奨学金	在学中	全年	学費支援 その他	経済的困難者支援	経済的理由により移学が困難で、かつ日本学生支援機構第二種奨学金に申請し、基準を満たしているにも関わらず、不採用となった者 ※ 全学部生対象	貸付奨学金	(月額)自宅生4万円 自宅外生5万円	当該年度限り	20名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学特別特別奨学金	在学中	全年	学費支援 その他	経済的困難者支援	家計支持者の死亡・失業・疾病・災害またはその他の理由により、学費納入が困難となり、かつ卒業の要みがあると思われる者 ※ 全学部生対象	貸付奨学金	上限 半額学費相当額	当該学期限り	100名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学短学奨励付金	在学中	全年	その他	経済的困難者支援	経済的理由で、一時的に移学または学生生活の維持が困難となった者 ※ 全学部生対象 ※ 3ヶ月以内の分納返済または1ヶ月以内の一括返済	貸付奨学金	上限3万円(返済活動・インターンシップに要する経費の場合に限り、上限10万円)	当該貸付限り	特に定めず	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学海外インターンシップ支援金	在学中	2,3年次生	その他	海外インターンシップ支援	インターンシップ4支援金 個人・対象者全員 支給資格「インターンシップ4」の履修者として許可された者のうち、在学する学部学生であって、当該学年に休学していない者とする。	給付奨学金	インターンシップ4支援金 渡航費相当額として次項に掲げる費用を支給する。 ただし、専ら当該年度までの費用の合計額は、渡航費ごとに定められた上限額を超えない範囲で支給する。 ①往復航空運賃 ②滞在費 ③空港利用料金及びタクシー費 ④ビザ申請手続に係る費用	各インターンシップ実習期間中	制限なし	地域の制限なし	キャリア教育センター	併用可	併用可
	学生支援センター	京都産業大学外国留学支援金	その他	申請不要	留学費用支援制度		在学留学生(交換・派遣・認定) ※ 学部・年次問わず	給付奨学金	(年額)交換・派遣留学生 文系:55万円 理系:75万円 (年額)認定留学生 文系:45万円 理系:55万円	1年間を限度とし、留学期間中	在学留学生(交換・派遣・認定)全員	地域の制限なし	国際交流センター事務局	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生支援センター	京都産業大学海外留学期間特別奨学金	その他	交換留学の選考後	留学費用支援制度		在学留学生(交換)のうち、成績及び語学力等の条件を満たす者 ※ 学部・年次問わず	給付奨学金	(年額)100万円	1年間を限度	3名以内	地域の制限なし	国際交流センター事務局	併用可	併用可
	学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」京のまち下南天奨励奨学金	入学後	入学後	学費支援		対象学年:学部新入生のうち、経済的理由により学費納入又は移学の継続が困難な下宿生(自宅外通学生のうち京都市内に居住する者) 対象学部:全学部	給付奨学金	20万円(大学の体育館に入寮している場合は10万円)	当該年度限り	100名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」2世代・3世代奨励奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援		対象:祖父母のいずれか又は父母のいずれかが京都産業大学の学部卒業者である入学初年度の学部生	給付奨学金	①祖父母のいずれか、かつ父長のいずれかが本学部卒業者の場合、20万円 ②父母のいずれかが本学部卒業者の場合10万円 ③祖父母のいずれかが本学部卒業者の場合5万円	在学中に1年度限り(当該年度9月下旬締支給予定)	申請した該当者すべて	地域の制限なし	社会連携センター事務局	併用可	併用可	
学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」同時在学支援奨学金	在学中	1年次の春学期	その他	同時在学支援	出願資格は次の項目のすべてに該当する者とする。ただし、休学中の出願はできないものとする。 (1)京都産業大学に在籍する学部生で入学初年度の者 (2)兄弟が京都産業大学の学部又は大学院に同時に在籍する弟妹である者 休学中に出願できなかった者については、復学直前の年度での出願を認めることとする。 ただし、出願時に(2)の要件を満たす者に限る。	免除・減免	100,000円	奨学金の給付は、秋学期の学費等納付時に秋学期分の学費から上記金額を減じることに伴う。 他の京都産業大学独自の学費減免又は給付奨学金制度と重複して適用を受けている場合は本奨学金を併用するものとする。秋学期分の学費から上記給付額を減算することできない場合は、その差額を本人名義の銀行預金口座へ振り込むこととする。	秋学期の学費納付時に秋学期の学費から給付額を減らすことにより行う	人数の上限は貸付し出願資格を満たした者の申請数による	地域の制限なし	教習センター	併用可	併用可
学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」熊本・山鹿フィールド奨励奨学金	在学中	1年次生	その他	フィールドワーク参加費用として給付	対象:共通教育科目「熊本・山鹿フィールド」(1年次生対象)履修中でフィールドワークの参加者	給付奨学金	フィールドワークにかかる経費を奨学金から充当する(上限5万円)	履修期間1回限り	該当者全員	地域の制限なし	初年次教育センター	併用可	併用可	
学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」グローバル人材育成奨励奨学金 TOEFL奨学金	在学中	全年	特待生・成績優秀者		対象:既定のTOEFL又はTOEIC IPのスコアを在学中に取得したセメスターまでに在学する学部生(区分ごとに成績上位15名までを採択(所属学部制も同一設定された区分に限る))	給付奨学金	5万円	在学中に1回	3つの区分ごとに上位15名	地域の制限なし	京都産業大学教育支援研究開発センター事務局	併用不可	併用可	
学生支援センター	学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」グローバル人材育成支援奨学金 短期留学継続奨励奨学金	在学中	全年	留学費用支援制度		対象:本学が単位認定を行う短期留学プログラム(単純な往復乗機時間除くプログラム期間が8日～3ヶ月のもの)に参加継続した学部生(当該年度までの通常の学業成績GPAが上位100位までを採択)	給付奨学金	往復航空運賃(航空保険料含む)、航空運賃にかかる税金、空港利用料金及びタクシー費用の実費の合計金額の3分の2(12万円を限度)	在学中に1回	上位100位まで	地域の制限なし	京都産業大学教育支援研究開発センター事務局	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
京都女子大学	学生支援課	京都女子大学奨学金	在学中	全学年を対象とし、毎2回シメタター毎(前期・後期)にそれぞれ募集し、選考の上、採用しています。	学費支援	経済的理由で学業を続けることが困難になった学生に対し、本学が奨学金を給付して移学を補助する制度です。家計や成績などが選考基準で、面接を行い、人物・健康・成績・学費支弁の困難度などを個別に上記で採用を決定します。(全学部・全学年対象)	給付奨学金	当該学期の授業料の全額相当額 30万円、20万円、10万円、5万円	当該学期	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	京都女子大学育友会奨学金	在学中	後期支給	学費支援	京都女子大学の保護者である育友会からの寄付金を基として運用しています。特に経済的理由で学費が困難になった者に対し、奨学金を給付して移学継続の一助とすることを目的としています。	給付奨学金	当該年度予算の範囲内	当該学期	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	京都女子大学ふじのほな奨学金	その他	学校出願前に申請	学費支援 入学金・授業料減免		-本学の学部に入学を希望する者。 -専断制入学試験を受験する者。 -奨学金出願時に、①～③のいずれかの状況下にある者。 ①必要費援助施設に入学している者。または支援終了に伴い退所してから奨学金出願時までの期間が2年以内の者。 ②志望専攻領域への委託措置を受けている者。または支援終了に伴い委託措置が解除されてから奨学金出願時までの期間が2年以内の者。 ③1学期単位型授業実習事業(ファミリーホーム)に入学している者。または支援終了に伴い退所してから奨学金出願時までの期間が2年以内の者。 -入学後、独立して生活を支弁する者で、生活困難のための経済的支援が必要なる者。 ※1歳以降の出生後となり、大学入学後と併発後奨励クーポンホーム・養育院救済館から通学する場合も出願資格を満たしているものとします。 -本奨学金支給者が国による高等教育の移学支援新制度等の対象者となることが前提とする。	免除・減免	-入学準備金(入学金+前期学費相当額) -授業料、教育充実費、実習費、育友会費 -学生寮に入寮の場合、入居費、寮費(寮内も安価な寮費の費に限り)	-支給期間は原則として正規の在学中4年間までとし毎年継続採用の審査を行う。 -進学実績がないにもかかわらず退学や成績不振等の理由で在学中4年間で退学した場合は本奨学金の資格を失う。 -入学後の経済状況や支援状況、移学状況が次に該当すると大学が判断した場合、本奨学金を継続採用は停止することがある。	各年度入学者1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
京都府大学	学生支援課	京都府大学経済援助給付奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免	前期・後期の年2回募集 全学部1～4年生対象(ただし、1回生前期の出願は不可) 次のすべての条件を満たし、経済的理由により修学困難である者 ①京都府大学および京都府立大学の正規課程に在籍する(外国人留学生および通信教育課程を除く) ②高等教育の修学支援新制度の支援を受けていない者(認定の効力が停止している者) ③日本学生支援機構の貸付奨学金または他の奨学金、貸付奨学金(公営借入を含む)を利用している者 ④通算GPAが2.0以上である者 ※申請については、前年度後学期試験を欠くが当該年度において以下の条件の出願は可 ※高等教育の修学支援新制度および日本学生支援機構奨学金への申請中の前出願不可		給付奨学金	1回につき半期の授業料相当額以内/授業料と相殺により給付 2024年度は経済状況により1回につき130,000円～250,000円	前期と後期の年2回募集(2回とも出願・支給可)	若干名(履<50名程度を想定)	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用不可	条件有りで併用可	
	学生支援課	京都府大学つながるたちばな学生支援給付奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免	前期・後期の年2回募集 全学部1～4年生対象(ただし、1回生前期の出願は不可) 京都府大学の正規課程に在籍し、次のすべての条件を満たす者(通信教育課程を除く) ①高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている者(認定の効力が停止している者)を除く ②日本学生支援機構貸付奨学金(第一種、第二種の両方またはいずれかを受給中である者(申請中の者を除く)) ③新制度の支援者であるため、第一種奨学金の貸付期間中に貸付期間が10日間以上経過している学生も出願可 ④通算GPAが2.0以上である者 ⑤所属する学科において、アドバイザー教員および学科長の推薦が受けられる者		給付奨学金	1回につき、半期の授業料および教育充実費の合計相当額(8割)を上限(100円未満切り捨て)に希望額を給付。ただし、高等教育の修学支援新制度による授業料減免額を差し引いた額とする/授業料・教育充実費と相殺により給付	前期と後期の年2回募集(2回とも出願・支給可)	各期50名程度を想定	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	条件有りで併用可	
	学生支援課	京都府大学緊急就学援助奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免	全学部1～4年生対象 (1)出願資格 本学の学部および大学院の正規課程に在籍する学生(外国人留学生および通信教育課程を除く)で、次のいずれかに該当する者。出願は、原則として発災発生事由の発生から6か月以内とする(ただし、新入生(編入学を含む)は前年度3月以降の発生事由によるものとする) ①発災発生事由に直接関係する被災者または被災者 ②学費負担者の失業、廃業、自己破産により家計が急変した者 ③学費負担者の病態、傷病による入院により家計が急変した者 ④火災等の被害により家計が急変した者 ⑤上記に定める以外の修学困難と認められる特別な事情が生じた者 ※申請ごと、1回限り(ただし、1回のみの支援) (2)緊急支援の対象者 上記「(1)出願資格」における具体的な緊急支援の対象者は、以下のとおり。ただし、対象となる生計維持者が定年退職している場合は、支援対象とならない。 ①生計維持者の一方(または両方)が死亡した場合 ②生計維持者の一方(または両方)が事故または病気により、半年以上、就労が困難になった場合 ③生計維持者の一方(または両方)が失業した場合(非自発的失業の場合に限る) ④経営悪化、生計維持者の事故または病気により、事業や家業を廃業した場合 ⑤生計維持者が失業、失業、失業等により、事業や家業を廃業した場合 ⑥被災により、事業や家業を廃業した場合 ⑦被災により、生計維持者の一方(または両方)が失業、病状不明、行方不明など、世帯収入を大きく減少させる事由が生じた場合 ⑧被災により、「世帯の全世帯(世帯の全世帯)の所得または世帯収入を大きく減少させる事由が生じた場合 ⑨被災により、生計維持者が自己破産した場合 ⑩被災により、生計維持者の一方(または両方)が失業、病状不明、行方不明で家計が急変した場合 ⑪被災以外で、生計維持者の一方(または両方)が失業、病状不明、行方不明で家計が急変した場合 ⑫その他、上記と同程度以上と認められる特別な事情が生じた場合		給付奨学金	半期の授業料および教育充実費の合計相当額以内。または半期の授業料の相当額以内。給付額は希望額(決定)/授業料・教育充実費と相殺により給付	前期と後期のいずれか1回	若干名	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	併用可	
	学生支援課	京都府大学入学時成績優秀者特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		一般選抜前期A日程入試成績優秀者のうち成績が上位の者から、学部ごとに入学定員の1割以内		給付奨学金	後期授業料相当額/学費と相殺により給付	2年間(2年目は専攻あり)	2024年度の学部ごとの人数は以下のとおり /総数184名 国際英語学部12名、文学部24名、発達教育学部14名、総合心理学部3名、経済学部24名、経営学部16名、工学部21名、看護学部10名、健康科学部24名	地域の制限なし	入学課(募集時)、スチューデントセンター(入学後)	併用可	条件有りで併用可
	学生支援課	京都府大学緊急貸付奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免		1回生～4回生の学生対象 ●出願資格 学年の中途において経済的に修学困難と認められる特別な事情が生じ、学費等の給付が困難となった。以下の選考基準を満たす者 なお、この奨学金は、学費等の給付期間が限り、公的な支援が間に合わないような場合に方法がない場合に緊急的・臨時的に貸与する ●審査基準 ①日本学生支援機構の規定する第二種貸付奨学金の「年収・所得の上限額を目安以下に概ね該当すること ②所定の修業年限内での卒業、修了が可能であること。ただし、所定の修業年限に休学期間を含めない ③修学状況、修学意欲、授業出席状況等が良好であること		貸付奨学金	貸付額は80万円以内とし、原則として、学費(授業料・教育充実費・実験実習料の合計相当額)半額分または学費費用等に充当する額以内(ただし、必要最小限の貸付額とする)/学費等と相殺により貸付	1年度に1回限り	若干名	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	併用可
	学生支援課	京都府大学看護学部貸付奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免		看護学部の1～4回生の正規学生のうち、経済的理由により学費の負担が困難な者で、以下のすべてを満たす者 ①日本学生支援機構第一種奨学金の貸付基準を満たす者 ②前期試験が合格である者(1回生は2名、2回生は2名、3回生は2名) ③学費状態が良好である者(1回生は前年7月31日現在、2回生は前年7月31日現在、3回生は前年7月31日現在) ④学費状態が良好である者、正課(年間)で卒業が可能であること、理由の如何を問わず、休学歴がある者は出願不可 ⑤卒業後、京都府内の医療機関等において看護職として就業する意思を有する。[京都府看護師免許取得制度]に申込みをする者		貸付奨学金	年額5万円/授業料と相殺して貸与	1年間(継続を希望する場合は、再申請必要)	50名以内	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	条件有りで併用可
	学生支援課	京都府大学大学入学共通テスト受験奨励奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		本学が実施する共通テスト利用選抜(4科目型)の受験を希望する者		給付奨学金	年額40万円/後期学費と相殺により給付	最長4年間。ただし、年度毎に給付継続認定審査を行う。	大学入学共通テスト利用選抜前期日程(4科目型)の合格者全員(最大300名)	地域の制限なし	入学課(募集時)、スチューデントセンター(入学後)	併用可	条件有りで併用可
	学生支援課	京都府大学地方若生・進学支援奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免		次の①～③のすべての条件を満たす者 ① 社会福祉院または教育支援財団・指定校推薦入試により入学した者 ② 以下のア、イのいずれかに該当し、自宅から通学する者 ア 出願時の自宅住所が当該県内(京都市、大津市、彦根市、滋賀県、長浜市、栗東市、和歌山県以外)である者 イ 出願時の自宅住所が当該県内であり、入学までの通学に時間以上4を要する者 ※2時間以上とは、前科線・有料特急を除く公共交通機関を利用した自宅から大学までの最速ルートが片道2時間以上であることを指す。 ※前科線とは、前科線に特急列車が併走している列車を指す。 ③ 入学年度の大学入学共通テストにおいて、本学が指定する以下の3科目をすべて受験した者 ○英語(聴き取り点400点以上/リーディング点400点以上/ライティング点400点以上) ○国語(聴き取り点100点以上/読解点100点以上) ○数学Ⅰ・数学A(配点100点)		給付奨学金	年額40万円/後期学費と相殺により給付	最長4年間。ただし、年度毎に給付継続認定審査を行う。	最大80名。	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	条件有りで併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
京都光華女子大学	学生サポートセンター学生生活担当	経済支援奨学金	在学中	在学年度	学費支援 用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 大学・短大合わせて60名 【資格・条件】 -学修意欲があり確実に卒業できる見込者で、かつ家計負担者の経済的理由により就学困難な学生に支給 -日本学生支援機構第二種奨学金の学力・家計基準および標準修得単位数をクリアした者	給付奨学金	20万円(後期学習に充当)	上記の通り	大学・短大合わせて90名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	条件有りで使用可	
	学生サポートセンター学生生活担当	東本願寺奨学金	在学中	各学年	学費支援 用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 -経済支援奨学金基準に準じ、経済支援奨学金採用者に次いで家計の困難度が高い者 -大学名、短期大学部名 【資格・条件】 -経済的理由により修学が困難であり、奨学生として採用された場合必ず原資が定められるレポートの提出やアンケートに協力できる学生に支給	給付奨学金	年間10万円(後期学習に充当)	後期学習に充当	大学8名、短期大学部6名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	条件有りで使用可	
	学生サポートセンター学生生活担当	キャンパスローン利子補助奨学金	その他	会学年のうち本学のキャンパスローンを利用した者	学費支援 用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 会学年のうち本学のキャンパスローンを利用した者 大学・短期大学部、合わせて各学年10名 【資格・条件】 -学修意欲があり確実に卒業できる見込者で、本学キャンパスローンを利用し、学費を納入した学生に支給 -日本学生支援機構第二種奨学金の学力・家計基準をクリアした者	給付奨学金	キャンパスローン科目相当額(年間5万円を上限)	2月下旬	大学・短期大学部、合わせて各学年10名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	条件有りで使用可	
	学生サポートセンター学生生活担当	緊急支援奨学金	在学中	随時募集	用途を定めない経済的支援 被災者資金支援	【対象学年・学部】 全学年若年若 【資格・条件】 -学費負担者の死亡または重篤な病状により学業の継続が困難と認められる者に対し、学業継続を支援することを目的として支給 -大震災による財産の損失や学費負担者の不慮の死亡により、学費の支弁や生活が困難になった者	給付奨学金	学費負担者の死亡または重篤な病状(全額)、流産の場合、50万円 -重篤な病状(半額)及び上述以外の場合、25万円	1回限り	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	併用可	
	学生サポートセンター学生生活担当	京都光華女子大学奨学金委員会奨学金	在学中	卒業年度において寄付の急ぎがあったもの	学費支援	【対象学年・学部】 大学・短大若年若 【資格・条件】 -卒業年度において寄付の急ぎがあったもの -卒業年度後期の学生(卒業予定者)で、人物・学業ともに優秀で家計の急ぎなどにより、学費の支払いが非常に困難となった者	給付奨学金	後期学習相当額を上限とし、個別に審議の上、金額を決定		卒業年度後期の学生(卒業予定者)で、人物・学業ともに優秀で家計の急ぎなどにより、学費の支払いが非常に困難となった時	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	条件有りで使用可
	学生サポートセンター学生生活担当	資格特待生制度	入学後	入学後	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度	【対象学年・学部】 本学が指定する入学試験に合格した者で、本学が指定する資格を有する大学1年生のみ 【資格・条件】 本学指定の入学試験に合格し入学した者で、本学が指定する資格を有している者(資格特待生)に対して、資格特待生奨学金を支給 -キヤリア形成学科・ライフデザイン科 実用英語技能検定2級以上、情報処理技術者試験(ITパスポート・ITパスポート以外)合格者は入学金相当額 -以上いずれかの資格を取得していること -ことと教育学科・健康福祉学科・心理学科 実用英語技能検定2級以上の資格を取得していること	給付奨学金	-前期学費相当額 ※ただし情報処理技術者試験(ITパスポート・ITパスポート以外)合格者は入学金相当額	1年次の5月	本学指定の入学試験に合格し入学した者で、本学が指定する資格を有している者(資格特待生)	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用可	条件有りで使用可
	学生サポートセンター学生生活担当	スポーツ修養奨学金	学校出願時	学校出願時	課外活動支援制度	【対象学年・学部】 陸上競技部(中長距離) 【資格・条件】 本学部の2つ活動および学生生活の活性化を図るとともに、「建学の理念」の具現化のロケットに積極性を持って活躍する人材の育成を目的として支給 -運動能力に優れてきた実績がある者またはそれと同等の潜在能力を有する者(現在は陸上競技部(中長距離)を対象)	免除・減免	入学金の100%、80%、50%、30%相当額 学費の100%、80%、50%、30%相当額 経費の100%、80%、50%、30%相当額	入学金及び4年間	入学金及び4年間	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	学生サポートセンター学生生活担当	外国人留学生成績優秀者奨学金	在学中	在学中	特待生・成績優秀者	【対象学年・学部】 各学年の外国人留學生の30%以内 【資格・条件】 各学年において、特に人物・成績が優秀な外国人留學生に支給 -標準修得単位数をクリアした者の内、GPA上位の者	給付奨学金	-1位～3位:40万円 -4位以下:20万円	10月上旬	各学年において外国人留學生在籍者の30%以内	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター学生生活担当	併用不可	条件有りで使用可
	学生サポートセンター学生生活担当	検定料優遇制度	学校出願時	学校出願時	その他	検定料割引	【資格・条件】 公制検定入試A日程・B日程および一般入試前期A日程・B日程において日開通日受験される方、一般入試C日程およびセンタープラス試験(国語実用英語)を受験される方、検定料の削減が認められます。 インターネット出願で合計金額が5%に10%割引となります。	免除・減免	2日目の検定料が2万円割引	学校出願時		地域の制限なし	入学・広報センター	併用可	併用可
	学生サポートセンター学生生活担当	有給者検定料免除	学校出願時	学校出願時	その他	検定料免除	【対象学年・学部・資格・条件】 学校法人光華女子大学に設置する校舎の在学(校・園)生、卒業(園)、およびその4職等以上の有給者の方を対象に入学検定料を全額免除	免除・減免	入学検定料の全額免除	学校出願時		地域の制限なし	入学・広報センター	併用可	併用可
学生サポートセンター学生生活担当	同時在籍学費減免	在学中	在学中	入学金・授業料減免	【対象学年・学部・資格・条件】 本学部の設置校園に兄弟姉妹が同時在籍される場合(単子が中学校以上に在籍)	免除・減免	本学に在籍する兄弟姉妹の5名、年齢の下の方に対して授業料の25%を減免 なお、3人以上同時在籍する場合は、さらに3割以下の方の授業料を40%減免	当該年度のみ		学園運営部	地域の制限なし	学園運営部	併用可	条件有りで使用可	
学生サポートセンター学生生活担当	留學奨学金	その他	留學時	留學費用支援制度	【対象学年・学部・資格・条件】 指定校に留學する、留學奨学金基準を満たしている者全て	免除・減免	本学の授業料・施設費相当額	留學時		国際交流センター	地域の制限なし	国際交流センター	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
種智院大学	教務課 入試担当	新入生奨学金給付選抜制度	入学後	入学後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学年:新入生 学部:人文学部 資格:総合選抜(プレゼン型)、一般選抜、共通テスト利用選抜の成績優秀者に入学奨学金を給付。第一種:初年度授業料全額免除、第二種:初年度授業料半額、第三種:入学金免除	免除・減免	第一種:170,000円、第二種:375,000円、第三種:200,000円	初年度(1年次)	成績上位者から若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可	
	教務課 入試担当	ひとり親世帯等の学生に対する学費減免制度	随時	随時	入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:人文学部 資格:母子家庭、父子家庭、両親を欠く世帯及びそれに準ずる世帯を認め、厳しい経済状況の中、修学の継続を希望する学生 条件:(1)母子家庭、父子家庭、両親を欠く世帯(2)入学時の年齢が18歳未満の者(3)主たる養育費の年間総額が90万円以下の世帯	免除・減免	採用された当該年度授業料等を半額、入学予定者は、入学金を併せて半額に減免	最大4年間	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	教務課 入試担当	特待生及びバドミントン生活支援奨学生制度	在学中	2年以上	特待生・成績優秀者 学費支援	対象学年:2年次生以上 学部:人文学部 資格:特待生及びバドミントン生活支援奨学生は次の条件に該当する条件を満たした者 (1)入学及び入学後の成績が優秀であること、部活の部長が推薦であること(2)本学に在学中である者かつバドミントン生活支援奨学生は、経済的に困り、修学が困難と認められ、学費支弁に支障がある者 条件:特待生は(1)定める科目の単位数を修得していること、(2)定める単位数の単位当たりの平均点が4.0以上でなければならない、バドミントン生活支援奨学生は(1)定める科目の単位数を修得していること、(2)定める単位数の単位当たりの平均点が4.0以上でなければならない、(2)原則、学業成績は1単位当たり80点以上でなければならない。	給付奨学金	採用された当該年度授業料相当額または一部	採用された当該年度	特待生1名以内、バドミントン生活支援奨学生2名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	教務課 入試担当	兄弟姉妹が同時に在籍する学生に対する学費減免制度	在学中	兄弟姉妹入学時	学費支援	対象学年:制限なし 学部:人文学部 資格:同時に兄弟姉妹が在籍する学生 条件:(1)在籍を申し込む兄弟姉妹の上級生、または同学年の場合は長年者(2)主たる家計支持者の家計基準が、日本学生支援機構第一種奨学金に準ずる世帯	免除・減免	当該年度の授業料を半額とし、秋学期授業料に適用する。	採用された当該年度	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	教務課 入試担当	災害等による被災学生に対する学費減免制度	その他	災害被災により学費納入が著しく困難となった時	学費支援	対象学年:全学年 学部:人文学部 資格:(1)在学採用については、本学に在籍する(2)新入生採用については、本学の入学試験に合格し、入学を予定している者	免除・減免	(1)主たる家計支持者が地震、風水害で死亡またはそれに準じた障害を受けた場合は、入学金、授業料、施設費を減免する(1,170,000円) (2)主たる家計支持者が居住する家庭が、地震、風水害により全壊等の損害を受けた場合は、入学金、授業料を減免する(950,000円) (3)主たる家計支持者が居住する家庭が、地震、風水害により半壊等の損害を受けた場合は、入学金、授業料の半額を減免する(475,000円)	毎年度限り	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	同志社大学	学生支援機構学生生活課	同志社大学奨学金	在学中	1~4年	学費支援	学費が在学期間が4年以内の者が対象 学費の支弁に支援のある学生に給付(成績及び家計基準あり)	給付奨学金	2024年度の給付金額(年度) 神・文・法・法・経済・商・教育、グローバル地域文化学部:300,000円 文化情報、スポーツ健康科学部:320,000円 理工・生命科学部:400,000円 心療、グローバル・コミュニケーション学部:340,000円	1か年(毎年出願可)	2023年度採用実績:151名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	条件有りで使用可	併用可
学生支援機構学生生活課	同志社大学育英奨学金	在学中	1~4年	特待生・成績優秀者 学費支援	在学期間4年以内の学部生対象 院で専攻院で、学業、文化・芸術、スポーツ・社会活動において優れた成果をあげ、かつ、学業、人物共に優秀な学部生に対して奨学金を給付 公募及び学部推薦(学部により異なる)	給付奨学金	年間300,000円 大学長より表彰(同志社大学育英賞授与)	1か年(毎年出願可)	全学部で100名以内	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可		
学生支援機構学生生活課	同志社大学寄付奨学金	在学中	2年次生以上(ただし、推薦制)	特待生・成績優秀者	学部2年次生以上で、学業、人物共に優秀な者が対象	給付奨学金	年間100,000円	1か年限り	2023年度採用実績:16名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可		
学生支援機構学生生活課	同志社大学修学特別支援奨学金	在学中	在学期間4年以内の学部生	学費支援 被災者資金支援	在学期間4年以内の学部生が対象 次の①のいずれにも該当する者 ①災害・不慮の事故・病気等で主たる生計維持者(父またはこれに代わって生計維持する者)が死亡 または重篤の後遺症により経済的に困難となった場合、または災害等により居住する住宅(主たる生計維持者が生活の本拠としている日本国内の住宅をいう)が半壊以上の被害を受けたことにより、著しい家計負担が及ぼされた場合とする ②認定所得が日本学生支援機構第二種奨学金収入基準額以下であること。	給付奨学金	年間200,000円	1か年限りで、在学期間に1回限りの給付	2023年度採用実績:1名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可		
学生支援機構学生生活課	同志社大学外国指定大学派遣留學生に対する奨学金	在学中	3月	留學費用支援制度	大学間協定または学部間協定による派遣留學生 ※グローバル・コミュニケーション学部を除く	給付奨学金	派遣留学期間が4ヶ月未満の場合は20万円、6ヶ月以上の場合は40万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有りで使用可		
学生支援機構学生生活課	サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金	在学中	留學終了後	留學費用支援制度	サマープログラム及びスプリングプログラムに参加した学生	給付奨学金	5万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用不可		
学生支援機構学生生活課	セメスタープログラム履修者に対する奨学金	在学中	留學終了後	留學費用支援制度	セメスタープログラムに参加した学生	給付奨学金	20万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用不可		
学生支援機構学生生活課	認定留學生に対する奨学金	在学中	留學開始前	留學費用支援制度	本学の認定する外国の大学に2ヶ月以上留學する学生	給付奨学金	派遣留学期間が6ヶ月未満の場合は15万円、6ヶ月以上の場合は30万円	学額から申請がある都度、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用不可		
学生支援機構学生生活課	EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金	在学中	留學開始前(12月頃、7月頃)	留學費用支援制度	EUキャンパスプログラムに参加した学生	給付奨学金	20万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用不可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を定めている場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
同志社女子大学	学生支援課	同志社女子大学奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	学費で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	例年4月または9月(次年度への継続なし)	48名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで併用可	併用可	
	学生支援課	松下和菓子記念奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	学費で(卒業年次生は除く)で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	例年9月(次年度への継続なし)	1名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	学生支援課	花谷明子記念奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	学費で(卒業年次生は除く)で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	例年9月(次年度への継続なし)	0名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	学生支援課	同志社女子大学同窓会<Vivo>奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	卒業年次生で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	例年4月(次年度への継続なし)	3名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	学生支援課	内田節子・宗子奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	継業者が死亡した者(最晩年卒業生)	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	0名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	五平さん奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学困難な学生	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	0名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	内田美智子奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	不慮の災害・継業者の死亡等により家計が急変した者	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	0名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	立山奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学困難な1・2年次生	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	2名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	新島八重記念奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学困難な3・4年次生(卒業後は5・6年次生)	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	15名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	嵐志家奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	不慮の災害・継業者の死亡等により家計が急変した者	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	0名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	同志社女子大学現代社会学会奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	現代社会学部生で経済的補助を必要とする学カ・人物ともに優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	30名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	同志社女子大学英語英文学会奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	英語英文学科生で、経済上の補助を必要とする学習態度優秀な者(2年次生以上)	給付奨学金	年額100,000円	例年9月(受給は在学中1回に限る)	1名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	同志社女子大学日本語日本文学学会奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	日本語日本文学科生で経済上の補助を必要とする学習態度優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(受給は在学中1回に限る)	1名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	学生支援課	同志社女子大学生活科学学会奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	生活科学部生で経済上の補助を必要とする学力優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	例年9月(次年度への継続なし)	13名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	同志社同窓会奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済上の補助を必要とする学カ・人物ともに優秀な者(2年次生以上)	給付奨学金	年額150,000万円	例年5月(次年度への継続なし)	6名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
学生支援課	同志社同窓会ミス・アテナ記念奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	高2歳以上の学部生(2年次生以上)	給付奨学金	年額100,000円	例年5月(次年度への継続なし)	1名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
学生支援課	E. L. ヒーバート記念奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	最晩年次生で卒業後1年以内に大学院進学を予定している者。	給付奨学金	年額500,000円以内	大学院進学後(次年度への継続なし)	2名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
学生支援課	同志社女子大学瀬山健三・孝乃記念海外留学奨励金	在学中	学費支援 留学費用支援制度	本学最終年次に在学し、卒業後1年以内に海外留学を予定している者。もしは本学大学院に在学し、修了後1年以上に海外留学を予定している者。	給付奨学金	年額500,000円以内	海外大学・大学院・進学後(次年度への継続なし)	3名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
学生支援課	災害救助法適用地域で被災した受験生に対する特別控除	学校出願時	入学料・授業料減免 その他	入学料定額の全額免除	免除・減免		被災地及び被災地の入学試験に係る被災生に対して、入学料定額を全額免除し、特別控除の申請書より提出された申請書類を審査した後、結果を文書にて通知する。若し、入学試験の合格者にして、入学全額と入学年度の多学額奨学金の特別控除の減免を申請し、結果を文書にて通知する。	人数制限なし	地域の制限なし	広報課入課、学生支援課学生支援課	併用可	併用可		
学生支援課	同志社女子大学サポーターズ基金「ぶどうの樹」奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	学費で(卒業年次生は除く)で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1	例年9月(次年度への継続なし)	7名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可		
京都ノートルダム女子大学	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学特待生奨学金	在学中	2年次生から4年次生	特待生・成績優秀者	給付奨学金	10万円	1年	各学科・課程から1名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学テニアン課外活動給付奨学金	在学中	2年次生から4年次生	学費支援 課外活動支援制度	給付奨学金	20万円を上限とする。	1年	若千名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学英語英文学科留学特待生制度	在学中	1年次生に申請	留学費用支援制度	給付奨学金	ひと100万円以下	1年	上限3名まで	地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度	在学中	1年次生	入学料・授業料減免	免除・減免		留学するセメスター(1年間)の授業料1/2に相当する額(210,000円)が减免される。1年間(学期)2回留学する場合も各学期に課金が適用される。教育充実費(1年間:40,000円)(2年間の1/2)は留学期間延長を要して課金が减免される。ただし、出国・帰国月は留学月数に算入しない。	特になし	地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学新入生奨励奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内。後期の学費に充当することができる。	1年	若千名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学上級生奨励奨学金	在学中	2年次生から4年次生	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内。後期の学費に充当することができる。	1年	若千名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学同窓会マリアンスクラブ	在学中	4年次生	学費支援	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内。後期学費に充当することができる。	1年	若千名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	マザーレザリアルハルデンジャー奨学金	在学中	全学年	学費支援	貸与奨学金	当該年度学費の半額以内(無利子貸付)。後期学費に充当することができる。	1年	若千名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学日本大震災被災者特別支援奨学金	在学中		その他	給付奨学金	(1) 第1種奨学金 入費者以外の者へ生活支援金として月額5万円 (2) 第2種奨学金 入費者 入費者 全額			地域の制限なし	管理運営部入課・広報課	併用可	条件有りで併用可	
	管理運営部入課・広報課	特待生制度(スカラシップ1・スカラシップⅡ)	学校出願時		1選考を実施する入学試験前 一般入試1期・2期(スカラシップⅡは1期ののみ) 2対象者 (1)スカラシップⅠ 一般入試1期の出願者全員 出願することで、自動的にスカラシップ選考Ⅰの対象者となります。 (2)スカラシップⅡ 2023年1月までにこなされた本学入学試験に合格し入学手続を完了している者(うち、希望者、詳細は入学試験要項を参照のこと。) 3特待生 各期において、原則として得点率80%以上で受験者の成績上位の者。(選考は「国語」「英語」の両点の合計で行います。英語外部検定試験利用での加点のない点数で選考します。)	免除・減免		特待生 特待生授業料半額(420,000円) 免除	入学初年度のみ	一般1期:20名、2期については一般2期:4名、一般前期:4名もあり。	地域の制限なし	管理運営部入課・広報課	併用可	条件有りで併用可
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学韓国カトリック大学交換留学制度	在学中		その他	その他					地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有りで併用可
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学英語スピーチコンテスト奨学金	その他	出願時または入学までに申請することができる。	入学料・授業料減免	免除・減免					地域の制限なし	管理運営部入課・広報課	併用可	条件有りで併用可
	管理運営部入課・広報課	京都ノートルダム女子大学ND育友会特別奨励奨学金	随時		学費支援	給付奨学金	20万円を上限とする。学費が未納の場合は学費に充当することができる。	1年。なお給付は在学中1回に限るとする。	特になし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
佛教大学	入学部	佛教大学奨学生奨学金	在学中	2~4年生の学部生	特待生・成績優秀者		①学業・人物ともに優秀である者、但し、最短期卒業年限内の者に限る。 ②2~4年生の学部生	給付奨学金	30万円(単年度)		各学科若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課			
	入学部	佛教大学障がい学生奨学生奨学金	在学中	2~4年生の学部生	特待生・成績優秀者		①障がいのある者 ②学業・人物ともに優秀である者、但し、最短期卒業年限内の者に限る。 ③2~4年生の学部生	給付奨学金	30万円(単年度)		若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課			
	入学部	佛教大学育英奨学生奨学金	在学中	2~4年生の学部生	特待生・成績優秀者 学費支援		以下の申込資格を満たす2~4年生の学部生で、学業成績上位者より採用 ・学力基準＝最短期卒業年限(休学期間を除く)で卒業が可能な者 ・専修基準＝日本学生支援機構奨学金基準に準じる者 ※財源は佛教大学財団基金(在学学生促進会の金)	給付奨学金	30万円(単年度)		若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可		
	入学部	佛教大学課外活動奨学生奨学金	在学中	2~4年生の学部生	課外活動支援制度		①課外活動において卓越した成果をあげ、本学の栄誉を高めた者、但し、最短期卒業年限内の者に限る。 ②2~4年生の学部生	給付奨学金	30万円(単年度)			若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課		
	入学部	教育後援会育英奨学金	在学中	2~4年生の学部生	学費支援		以下の申込資格を満たす各学期は2~4年生、秋季期は1~4年生より選考 ・学力基準＝最短期卒業年限(休学期間を除く)で卒業が可能な者 ・専修基準＝日本学生支援機構奨学金基準に準じる者 ※財源は佛教大学財団基金(在学学生促進会の金)	給付奨学金	経費状況により、10万円(単年度)・20万円(単年度)		春・秋各30名(10万円20名、20万円10名)	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可		
	入学部	佛教大学同窓会奨学金	在学中		学費支援		以下の申込資格を満たし、卒業後に、同窓会活動に積極的に参加できる者より選考 ・学力基準＝大学が定める標準単位数を修得し、卒業が可能な者 ・専修基準＝日本学生支援機構奨学金基準に準じる者 ※財源は佛教大学同窓会(佛教大学校友会の会)	給付奨学金	10万円(単年度)			20名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	
	入学部	佛教大学教職員互助会奨学金	在学中	8セメスター-在学中の学部生	学費支援		8セメスター-在学中、以下の申込資格を満たす者より選考 ・学力基準＝当該年度(9月または12月)で卒業が可能で修学意欲がある者 ・専修基準＝大学在籍中に発生した不測の事由により、学費支弁に支障をきたし学費納入が困難な者	給付奨学金	当該学科授業料の1/2まで(単年度)			15名以内	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	
	入学部	佛教大学入試助成奨励優秀奨学金	在学中	1~4年生の学部生(進級時に審査あり)	特待生・成績優秀者		一般選抜(日程)において総合得点率が90%以上の合格者で、各学部合格者の上位3%以内であり、申請書類を提出した者。 ※学年進級時に審査を行い、最長4年間の継続あり。	給付奨学金	当該学科授業料の1/2				地域の制限なし	学生支援部 学生支援課		
	入学部	佛教大学学費給付金	在学中		学費支援		以下の申込資格を満たす者 ・学力基準＝最短期卒業年限(休学期間を除く)で卒業が可能で修学意欲がある者 ・専修基準＝大学在籍中の12ヶ月以内に発生した不測の事由により、学費支弁に支障をきたし学費納入が困難な者	給付奨学金	10万円～当該学科授業料の1/2まで				地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	
	入学部	佛教大学災害奨学金	在学中		被災者資金支援		災害救助法が適用される規模の災害により、経済的理由から修学が難しく(困難)になった在生に対し、被災、り災状況により給付。「非常災害」によって教計が急変してから12ヶ月以内である者。	給付奨学金					地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	条件有りて併用可	条件有りて併用可
明治国際医療大学	入試課	学力特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象：全学部全学年 条件：「一般入試(A日程)」「共通テスト利用入試(A日程)」および「特待生選抜試験」の成績優秀者	給付奨学金	入試成績に応じて授業料の金額・半額、または25%+相当額を給付 *日本学生支援機構「高等学校の修学支援特別奨励金」の併用対象	専攻4年間 *専攻年度継続審査あり	20名以内	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
立命館大学	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学近畿圏外からの入学者を支援する奨学金(2024年度入学者)	その他	出願前(11月中旬)12月初旬	用途を定めない経済的支援 その他	遠方からの進学者の推進・入学者支援	以下①②③を満たす者 ①立命館大学への入学を強く志望し、2024年度一般選抜(大学入学共通テスト方式、大学入学共通テスト併用方式を含む)を受験する者。 ②出願日(2023年12月5日)時点で、出願者および生計維持者(父母の住民票記載の住所が近畿圏(京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)以外の都府県にある者。または出願者および生計維持者が外国に居住しているもの(「海外出願」を提出し外国に居住している者)。 ③出願前年の生計維持者(父母)の世帯収入を合算した金額が、前年・前年度収入金額(前支給額の場合)90万円未満、事業・その他所得金額(場合によっては別年度)が、前年度を超過する公取等収入額に達しない者。 ※日本学生支援機構給付奨学金及び立命館大学奨学金減免との併給は不可(出願は可能)	給付奨学金	文系学部(精進学園校)年額50万円 理系学部(精進学園校)年額50万円	修業年限迄の4年間(業学部は6年間)	約400名	地域の制限なし	衣笠学生オフィス	併用不可	条件有りで併用可
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学家計急変奨学金(入学予定者)	その他	4月入学者は2月4月入学者は10月4日	学費支援 その他	学費支援	<2023年度募集要項参考に記載> 以下の条件(1)～(3)のすべてを満たしていることが必要です。 (1)2022年度本学学部入学試験の出願者(出願予定者)もしくは合格者で、入学の意思が明確であること。 (2)2022年1月以降の2023年3月31日までに、以下①②③いずれかの事由が発生した者 ①生計維持者(父母等)が重篤な病状に罹患 ②生計維持者(父母等)が重篤な病状に罹患 ③自然災害により生計維持者(父母等)の居住する家屋が被災(半壊以上) ④自然災害により生計維持者(父母等)が負傷し、30日以上の上乗入院・加療の必要が生じた (3)上記①の事由発生後の生計維持者の世帯収入が、前年・前年度収入金額の90%以下、 自営業その他所得の場合197万円以下であること。 ※本制度は国の「高等教育の修学支援新制度」の家計急変による授業料減免制度を包括した制度です。本制度に出願する場合は、原則、日本学生支援機構給付奨学金の家計急変にも出願していただきます。	免除・減免	年間授業料1/4の額	入学年度1回のみ	出願資格を満たす者は、全員「採用候補者」とする。	地域の制限なし	衣笠学生オフィス	条件有り併用可	併用可
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学家計急変奨学金(入学予定者)	その他	新1年生～新4年生(産学連携学部は1～6年生)に在籍する学部生	学費支援 その他	国の高等教育の修学支援新制度に基づく授業料減免制度と、本学の独自の奨学金を併用した授業料減免制度。	選考基準:日本学生支援機構給付奨学金に採用された者、もしくは本学独自の家計急変をを満たす者 出願資格: 【家計】給付奨学金の資料基準または生計維持者(原則父母合算)の年間収入が400万円以下 またはその他所得が7万円以下 【新生学力】本学への入学をもって資格ありとする。 (ただし、日本学生支援機構の支援区分による授業料減免を受ける場合は、以下の基準を満たす必要あり) 以下いずれかに該当すること。 ①高等学教育における評定平均値が3以上であること。 ②入学試験(前期)の合格者であること。 ③将来、社会で自立し、活躍する意欲を有していることが、学修計画書 【在学生学力】①以下いずれかに該当すること。 ①の1)の成績が平均値以上であること。 ②学修計画書の提出が標準成績以上であり、かつ将来、社会で自立し、活躍する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること。 ③①②いずれかに該当する場合でも、学業成績の顕著な向上が認められる場合も、本学独自の奨学金を併用していただくことは可能となる。	免除・減免	日本学生支援機構給付奨学金の支援区分による授業料減免額と、本学の支援区分による年間授業料1/2または1/4(いずれか大きい方を減免)。 <第一区分>700,000円または授業料1/2の金額 <第二区分>466,700円または授業料1/4の金額 <第三区分>233,400円または授業料1/4の金額 <大学独自区分>授業料の1/4の金額 ※いずれも年額 ※学費減免額に、決定した減免額を授業料から差し引く方法で給付	修業年限まで(毎年、継続申請・継続審査あり)	基準を満たす方全員	地域の制限なし	衣笠学生オフィス	条件有り併用可	条件有り併用可
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学西園寺記念奨学金(成績優秀者種)	その他	選考基準にもとづき、給付人数枠内で優秀者から順に学費が決定します。	特待生・成績優秀者	学部の学習を究め、成績優秀な学生	学部の学習を究め、成績優秀な学生	給付奨学金	文系学部(精進学園校)1学期あたり15万円 理系学部(精進学園校)1学期あたり30万円		各学部の定員の2%以内	地域の制限なし	各学部事務室	併用可	条件有り併用可
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学+R学部奨学金	その他	各学部の選考要項で詳細を確認して下さい。※2021年度運輸工学部からの出願は別の申請が必要。5月に計画を出願登録し、12月に計画に対する結果を申請	その他	所属する学部の学修の取組において優れた成果を上げた者への支援	所属する学部の学修の取組において優れた成果を上げた学生	給付奨学金	1万円15万円 ※給付金額については、達成された成果の審査に応じて学部で決定			地域の制限なし	各学部事務室	併用可	併用可
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	在中		留学費用支援制度	当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定した者	当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定した者	給付奨学金	参加する留学プログラムにより異なる。(10万円～100万円)			地域の制限なし	衣笠国際教育センター		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学海外留学サポート奨学金	在中		留学費用支援制度	当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定または参加中で、経済的な理由で海外留学の参加・継続が困難な者(予約採用型・家計急変型) ※奨学金が給付収入400万円以下、その他所得197万円以下の者	当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定または参加中で、経済的な理由で海外留学の参加・継続が困難な者(予約採用型・家計急変型) ※奨学金が給付収入400万円以下、その他所得197万円以下の者	給付奨学金	給付上限額10万円～100万円			地域の制限なし	各キャンパス国際教育センター		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学校友会後援会財団育成奨学金	在中	正課外活動において、社会の様々な問題解決に資する実践的な活動に取り組んでいる学生	その他	①本学の学部または研究科(修士課程、博士課程前期課程)もしくは一貫制修士課程の1年次もしくは2年次または専門職学位課程に在学する正規生または在籍する者であること。 ※学部・研究科・学年等の多様な学生が構成する団体であることが望ましい。 ②学修成績(成績)が前年度の同等以上の成績を有していること。 ※推薦者は、日本の活動において、指導・助言いただける方を優先してください。 また、この申請における活動についても推薦・助言を依頼してください。 ※新型コロナウィルスへの感染防止により、取組の申請においても可能な活動であること。	給付奨学金	「新種出願」期間で15万円、30万円、50万円 「種別出願」期間で15万円			地域の制限なし	BKC学生オフィス			
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学西園寺記念奨学金(難関試験合格者)	在中		資格取得支援制度	公認会計士、国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を自習し合格した学生 本項において、難関試験とは以下に掲げる試験をいいます。 ・公認会計士論文式試験 ・国家公務員総合職試験 ・外務省専門職員採用試験 ・農林水産省専門職員採用試験 ・労働省事務職員採用試験 ・参議院事務職員採用試験	公認会計士、国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を自習し合格した学生 本項において、難関試験とは以下に掲げる試験をいいます。 ・公認会計士論文式試験 ・国家公務員総合職試験 ・外務省専門職員採用試験 ・農林水産省専門職員採用試験 ・労働省事務職員採用試験 ・参議院事務職員採用試験	給付奨学金	30万円	申請は一人1件		地域の制限なし	キャリアセンター		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学家計急変奨学金(学部在籍生)	在中		学費支援	減免対象 ・本学学部の正規課程に在籍する専修課程年数を超過している者を含む。ただし、外国人留学生は除く。 出願については以下の出願資格(1)～(3)を満たしていることが必要です。 (1)2023年度本学学部の正規課程に在籍する者(専修課程年数を超過している者も含む) (2)急変事由が当該年よりさかのぼって1年以内に発生した者で、以下①～④いずれかの事由が発生した者 ①生計維持者(父母等)の死亡 ②生計維持者(父母等)が重篤な病状に罹患 ③自然災害により生計維持者(父母等)が居住する家屋が被災 ④自然災害により生計維持者(父母等)が負傷し、30日以上の上乗入院・加療 (3)上記①の事由発生後の生計維持者の世帯収入が、前年・前年度収入金額の90%以下、 自営業その他所得の場合197万円以下であること。 ※本制度は、国の「高等教育の修学支援新制度」の家計急変による授業料減免制度を包括した制度です。本制度に出願する場合は、原則、JASSO家計急変にも出願していただきます。JASSO家計急変への出願は、家計急変の事由が発生したときから1年内です。	免除・減免	本制度の減免額は、年間授業料の1/4の額(諸学費等は減免対象としない) 同一事由による減免は1回限り。		出願資格を満たす者は、全員「採用候補者」とします。 ※所定の手続きを行うことにより正式に採用となります。	地域の制限なし	衣笠学生オフィス	条件有り併用可	条件有り併用可	
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学父母教育後援会家計急変奨学金	在中	急変事由 ・家計急変事由(死亡、重篤な病状)が生じたことによる経済的困難が起ってから1年以内に出願	学費支援	学部に在籍する学生であり、学生の授業料を負担する者で本学の父母教育後援会の会員である者に、以下の事由(出願要件)から1つ以上を以て出願したことが必要です。 ※学生でない時期(大学入学前等)に発生した事由は対象とはなりません。 在中に下記の家計急変事由が生じ、修学が困難となった者 (1)生計維持者(父母)の死亡 (2)生計維持者(父母)が重篤な病状に罹患 ■兄弟姉妹が立命館大学の学生の場合は、それぞれ出願可。	学部に在籍する学生であり、学生の授業料を負担する者で本学の父母教育後援会の会員である者に、以下の事由(出願要件)から1つ以上を以て出願したことが必要です。 ※学生でない時期(大学入学前等)に発生した事由は対象とはなりません。 在中に下記の家計急変事由が生じ、修学が困難となった者 (1)生計維持者(父母)の死亡 (2)生計維持者(父母)が重篤な病状に罹患 ■兄弟姉妹が立命館大学の学生の場合は、それぞれ出願可。	免除・減免	給付決定があった日が属する学期から在学期間が4年(業学部業科は在学期間6年)に達する学期までの授業料相当額を奨学金として給付します。 但し、給付決定があった日が属する学期が在学期間4年となる学期もしくは在学期間6年となる学期に達する場合は、その学期から2学期分を奨学金として給付し、給付期間中に卒業・退学する場合は、給付を中止します。		出願資格および出願要件を満たした方全員に支給	地域の制限なし	衣笠学生オフィス		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学父母教育後援会災害支援奨学金	在中		学費支援 被災者資金支援	学部に在籍する学生であり、学生の学費負担者が父母教育後援会の会員である者、学生の学費負担者が、学生の在学中に災害により下記の被害を受けた場合 ①10人以上の被害を受けた事業所の人的被害を受けた場合 ②居住している家屋の全壊、半壊、全壊、半壊、床上浸水等の被害を受けた場合 出願は当該学期、災害発生後(被災)から1年以内に出願してください。 ※卒業生は、当該年度の1月末日までです。	学部に在籍する学生であり、学生の学費負担者が父母教育後援会の会員である者、学生の学費負担者が、学生の在学中に災害により下記の被害を受けた場合 ①10人以上の被害を受けた事業所の人的被害を受けた場合 ②居住している家屋の全壊、半壊、全壊、半壊、床上浸水等の被害を受けた場合 出願は当該学期、災害発生後(被災)から1年以内に出願してください。 ※卒業生は、当該年度の1月末日までです。	給付奨学金	給付決定があった日が属する学期(6/30)から2学期(6/30)分の授業料相当額を奨学金として給付します。 ※他の授業料減免もしくは授業料から差し引く形式で給付する奨学金を当該学期(6/30)に支給している場合は、当該学期(6/30)の奨学金の給付は授業料相当額までです。		原則として出願日より1ヶ月以内に採否を学生本人に通知	地域の制限なし	衣笠学生オフィス		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学学内のコミュニティ学外活動奨励奨学金	在中		その他	対象は授業(ゼミナールなど)を基盤とした国内外での調査活動や学外報告・国内外大学・機関間の交流などの学外活動に積極的に取り組む学生 応募は授業担当教員が行う(学生からは応募できない)。	対象は授業(ゼミナールなど)を基盤とした国内外での調査活動や学外報告・国内外大学・機関間の交流などの学外活動に積極的に取り組む学生 応募は授業担当教員が行う(学生からは応募できない)。	給付奨学金				地域の制限なし	各学部事務室		
	学生オフィス(衣笠)、国際部	立命館大学Challenge奨学金(個人)	在中		その他	正課外および課外、学業以外の通常の学外活動(課外活動)を超えて取り組む課題解決に向けて、その解決を目指す、自主的に取り組むプロセスを支援する。 【対象とする者】 ・活動を通じて実現したいことが明確であり、社会貢献が図られる活動。 ・正課外活動(非学業)に主体的に参画する意欲がある場合や、「事業研究」がうまく活動の1つであり、それ以外の自主活動である場合。 それにより、学生が社会問題の解決に資することを目指す、自らの可能性を伸ばし、新たな価値を生み出すことを目的とする。 【活動の範囲】 ・クラブ・サークル活動を超える活動(所属する団体の活動の延長として、個人で何か新しい活動に取り組む場合) ・自身のキャリアアップのみを目的とした勉強や活動(資格取得など) ・正課外活動(非学業)に主体的に参画する意欲がある場合や、「事業研究」がうまく活動の1つであり、それ以外の自主活動である場合。 ・クラブ・サークル活動の範囲内の活動(〇〇大会優勝を目的とする個人練習) ・外部の団体に所属して、その一環とみなされる活動	正課外および課外、学業以外の通常の学外活動(課外活動)を超えて取り組む課題解決に向けて、その解決を目指す、自主的に取り組むプロセスを支援する。 【対象とする者】 ・活動を通じて実現したいことが明確であり、社会貢献が図られる活動。 ・正課外活動(非学業)に主体的に参画する意欲がある場合や、「事業研究」がうまく活動の1つであり、それ以外の自主活動である場合。 それにより、学生が社会問題の解決に資することを目指す、自らの可能性を伸ばし、新たな価値を生み出すことを目的とする。 【活動の範囲】 ・クラブ・サークル活動を超える活動(所属する団体の活動の延長として、個人で何か新しい活動に取り組む場合) ・自身のキャリアアップのみを目的とした勉強や活動(資格取得など) ・正課外活動(非学業)に主体的に参画する意欲がある場合や、「事業研究」がうまく活動の1つであり、それ以外の自主活動である場合。 ・クラブ・サークル活動の範囲内の活動(〇〇大会優勝を目的とする個人練習) ・外部の団体に所属して、その一環とみなされる活動	給付奨学金	①積み出し金額(過去の活動実績は問わないが、計画に具体性があり実現が可能なもの)30万円 ②活動期間(活動期間が1ヶ月以上継続可能な活動)10万円、20万円、30万円 ※給付額は申請内容を審査し決定します。		400名(最大)	地域の制限なし	BKC学生オフィス		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
龍谷大学	学生部	家計奨学金	在学中	1~4年生	学費支援	目的 移学の意思があるにも関わらず、経済的理由により修学困難である人物・学業ともに優れた学生に対する奨励。(申請は毎年可能) 対象 学部生・短期大学部生 申請資格 申請に当たっては、次の基準をすべて満たしていることが必要。 ①学力に関する基準 ②日本学生支援機構第二種奨学金推薦基準を充足していること。 ③学力に関する基準 ④日本学生支援機構第一種奨学金推薦基準を充足していること。(申請中の者も含む) ⑤学生本人が日本学生支援機構奨学金の併用奨学金を申請していること。(申請中の者も含む) ⑥高等教育の移学支援新制度の支援を受けていないこと(当該年度における高等教育の移学支援新制度の受給者は対象外とする)	給付奨学金	350,000円 / 250,000円 / 150,000円	12月中旬			地域の制限なし	学生部	併用不可	併用可
	学生部	アカデミック・スラッシュ奨学金(在学採用型)	在学中	2~4年生	特待生・成績優秀者			200,000円			地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生部	優秀スポーツ選手奨学金	在学中		特待生・成績優秀者						地域の制限なし	学生部			
	学生部	課外活動奨学金	在学中		特待生・成績優秀者						地域の制限なし	学生部			
	学生部	ひとり暮らし支援奨学金	学校出願時		その他	経済的理由により移学に困難があると認められ、遠方から本学への入学を強く志望する希望者 対象 本人が定める入学試験により入学し、大学進学に伴いひとり暮らしを開始し、経済的理由により進学に係る費用支弁が困難な者。	給付奨学金	給付額 500,000円		上限100名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生部	家計急変奨学金	随時		学費支援	対象 前年非月以月に生計維持費が前年からの事由(自己都合(定年退職・自己都合退職・転職等)以外)により、収入が減少し、当該年度の学費を支払うことが困難な学生(短期大学部生・大学院生) ※在学期間が1年以上の者が対象。(給付は在学期間において1回限り) 申請資格 給付所得者の場合 ①所属する学部が指定する単位増少数に該当しないこと ② 主たる養育費の負担を2年前の税込収入と比較した場合に、30%以上減少が認められること ③ 生計維持費(原則父母両方)の急変後の税込収入が、6,500,000円未満であること 授業料免除の場合 ① 所属する学部が指定する単位増少数に該当しないこと ② 生計維持費(原則父母両方)の急変後の年間所得が、20%以上減少が認められること ③ 生計維持費(原則父母両方)の急変後の年間所得が、2,810,000円未満であること	給付奨学金	給付額 400,000円以内 上記以外の学部、短期大学部300,000円の範囲内。			地域の制限なし	学生部	併用不可		
	学生部	災害給付奨学金	随時		被災者学費支援	対象 学部生、短期大学部生及び大学院生のうち、自然災害等により被害を受けた地域に本人又は父母のいずれか又は養育費が居住して居る。学費支弁が困難であると認められる者で、かつ、奨学金申請書及び被災状況証明書を提出し、次の各号のいずれかの要件を満たす者 (1)災害により父母のいずれか(又は養育費)が亡くなった場合 (2)災害により父母のいずれか(又は養育費)が重傷(1ヶ月以上の療養が必要な場合) (3)災害により父又は母(又は養育費)が全壊(全壊)又は大規模半壊した場合 (4)災害により父又は母(又は養育費)が全壊(全壊)又は大規模半壊した場合 (5)その他災害により学費支弁が難しく困難となったと認められる場合	給付奨学金	次の金額を上限とする (1)父母のいずれか(又は養育費)が亡くなった場合又は重傷(全壊)若しくは大規模半壊の場合、単位増減相当額 (2)父母のいずれか(又は養育費)が重傷(1ヶ月以上の療養が必要な場合)又は重傷が半壊(半壊)若しくは大規模半壊の場合、単位増減相当額 (3)その他の事由の場合は、選考委員会において決定する。 付添年度(前年度)の場合は、半期分の授業料及び休学在籍料とし、1年休学の場合は、休学在籍料とする。			地域の制限なし				
福岡芸術大学	入学広報グループ	総合型選抜教育支援奨学金	学校出願時		入学金・授業料免除	総合型選抜1期または2期に合格し、入学される方全員に、入学までの教育支援金として奨学金を給付。	給付奨学金 免除・減免	100,000円を給付。(入学金200,000円の内、半額を免除する方法で給付)	1回限り		人数制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	入学広報グループ	学校(指定校)推薦型選抜奨学金	入学後		学費支援	1. 学校(指定校)推薦型選抜を受諾して入学される方。 2. 学生本人の父・母または父兄に代わって学費を支払っている方(主たる養育費支持者一人)の2024年度の給付収入が600万円以下、その他所得の割合が200万円以下であること。(奨学金専修学支援制度区分1・2の対象者を除く)	給付奨学金 免除・減免	初年度給付金のうち、387,500円を給付。(初年度給付金のうち、第2回給付額を免除する方法で給付)	1回限り		人数制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	入学広報グループ	スラッシュ(特別奨学生)選抜奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	スラッシュ(特別奨学生)選抜に合格し、入学された方に、奨学金を給付。	給付奨学金 免除・減免	年間500,000円給付。(初年度給付金のうち、第4回給付時に減免する方法で給付。 2年次以降は後期給付に減免)	4年間	年間10~20名程度	地域の制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	入学広報グループ	ファミリー入奨学金	入学手続時		入学金・授業料免除	各種入試合格者のうち本学園卒業生・在学生の父母、子弟子女または兄弟姉妹の方。(親子または兄弟姉妹が同時に合格した場合はそのうち1名を限った方)	給付奨学金 免除・減免	200,000円を給付。(入学金を全額免除する方法で給付)	1回限り		人数制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	入学広報グループ	福岡芸術大学奨学金	入学後		入学金・授業料免除	学内規定による申し込み資格要件(取得単位、成績、家計収入)有り	給付奨学金 免除・減免	振替年度の授業料(1/2相当額を限度として、100,000円~500,000円の範囲で給付)	当該年度1回限り	3年間20名程度	地域の制限なし	学生・キャリア支援グループ	併用可	条件有り併用可	
	入学広報グループ	福岡芸術大学ワークスタディ奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	経済的に修学困難な学生で授業の空き時間や休日に計画的に一定時間以上作業に従事できる者	給付奨学金	月額25,000円	12ヶ月	年間10~20名程度	地域の制限なし	学生・キャリア支援グループ	併用可	条件有り併用可	
	京都医療科学大学	学長室(広報担当)	特待生入学生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料免除	一般入試(前期日程)の合格者成績上位8名(1~3位:3名、4~6位:3名) 合格者成績上位 1~3位 80万円給付(初年度授業料全額相当) 合格者成績上位 4~6位 45万円給付(初年度授業料半額相当)	給付奨学金	合格者成績上位 1~3位 80万円給付(初年度授業料全額相当) 合格者成績上位 4~6位 45万円給付(初年度授業料半額相当)	いずれも1回限り		地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
学長室(広報担当)		特待生奨学金	在学中	2年生~4年生(申請は不要)	特待生・成績優秀者 学費支援	2年~4年生の学生対象(前年度の成績より) -給付条件:前年度末の履修3科目までの者 -人 数:各学年成績上位3名(計9名) -奨学金の内容:合格者成績上位 1~3位 45万円	給付奨学金	-給付条件:前年度末の履修3科目までの者 -人 数:各学年成績上位3名(計9名) -奨学金の内容:合格者成績上位 1~3位 45万円	1回限り	人 数:各学年成績上位3名(計9名)	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
学長室(広報担当)		資格取得奨励奨学金 ●奨励奨励金	在学中		資格取得支援制度	-対 象:全学年 -奨励金の内容: ①放射線取扱主任者試験受験者:1万円 ②ビジネス検定・TOEIC試験 学内受験者:全額 ③その他他検定試験の受験者:2万円 -給付条件:在学中であれば、申請回数に上限は設けない -人 数:制限なし	給付奨学金	-奨励金の内容: ①放射線取扱主任者試験受験者:1万円 ②ビジネス検定・TOEIC試験 学内受験者:全額 ③その他他検定試験の受験者:2万円	申請回数に上限は設けない		人 数:制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
学長室(広報担当)		資格取得奨励奨学金 ●合格報酬金	在学中		資格取得支援制度	-対 象:全学年 -奨励金の内容:放射線取扱主任者試験合格者:10万円 (第1回放射線取扱主任者講習の受講費用補助) -給付条件:在学中1回まで申請可能 -人 数:制限なし	給付奨学金	-奨励金の内容:放射線取扱主任者試験合格者:10万円	1回限り		人 数:制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
学長室(広報担当)		経済支援奨学金 / 家計急変緊急支援奨学金	在学中		学費支援 入学金・授業料免除	-対 象:全学年 -奨励金の内容:後期学納金の一部に充当して給付(最高で40万円) -給付条件:学力基準・家計基準を満たす学生 -人 数:全学年で15名 以内 ※新制度 「家計急変緊急支援」も新たに設置 対象:予期せぬ事象により著しく収入減があった学生を支援 奨励金の内容:経済支援奨学金と同様	給付奨学金	-奨励金の内容:後期学納金の一部に充当して給付(最高で40万円)		人 数:全学年で15名 以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
学長室(広報担当)		学外活動奨学金(国際交流奨学金・学会参加奨励金)	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 奨励金	※国際交流奨学金※ -対 象:全学年(海外研修への参加が認められた者) -奨励金の内容:海外研修参加費用等の一部(上限10万円) -給付条件:海外研修の参加が認められ、進捗状況が決定している者 ※学会参加奨励金※ -対 象:全学年(学会への参加が認められた者) -奨励金の内容:学会費用等の一部 -給付条件:学会(学内外)の参加が認められた者	給付奨学金	※国際交流奨学金※ 海外研修参加費用等の一部(上限10万円) ※学会参加奨励金※ 学会費用等の一部		人 数:参加者数による	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
学長室(広報担当)		就職活動支援金	在学中		就職活動を行うとき	対象:近畿地区以外のエリアで就職活動をする4年生	その他	-エリアにより給付額が異なる	1人あたり年度内3回の就職活動まで		人数制限なし	キャリア支援センター	併用可	併用可	
京都美術工芸大学	入試-広報課	総合型選抜入試教育支援奨学金	学校出願時		入学金・授業料免除	総合型選抜入試に合格し、入学される方全員	給付奨学金	15万円	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試-広報課	併用可	併用可
	入試-広報課	専門学科・総合学科特別推薦入試奨学金	学校出願時		入学金・授業料免除	専門学科・総合学科特別推薦入試に合格し、入学される方全員	給付奨学金	15万円	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試-広報課	併用可	併用可
	入試-広報課	新入生特待生給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者	1年生の全学年生が対象 1年次前期のGPAを審査し、優秀な成績を収めた学生	給付奨学金	年間20万円	1年間		若干名	地域の制限なし	入試-広報課	併用可	併用可
	入試-広報課	成績優秀者給付奨学金	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	2~4年生の全学年生対象 前年度のGPAを審査し、優秀な成績を収めた学生	給付奨学金	年間20万円	1年間		若干名	地域の制限なし	入試-広報課	併用可	併用可
	入試-広報課	資格取得支援奨励金	入学手続時		資格取得支援制度	1年~3年生の建築士資格取得希望者対象	免除・減免	計60万円	3年間 ※半額ごとに継続審査あり		人数制限なし	地域の制限なし	入試-広報課	併用可	併用可
京都看護大学	入試広報部	京都看護大学特別奨学金Ⅱ	在学中	2~4年生	特待生・成績優秀者	学業人物ともに優れた2~4年生の学部生(若干名) 大学にて選考	給付奨学金	20又は30万円	1年間		各学年3名 合計9名	地域の制限なし	教務部	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	「その他の」具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
大阪医科大学	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学医学部奨学金	入学後	学費支援 用途を定めない経済的支援	成績、人物ともに優秀であって、経済的理由により修学困難な医学部生	貸与奨学金	約170万円	①1年間 ②1回限り	30名	地域の制限なし	医学事務課				
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学仁会奨学金	入学後	学費支援 用途を定めない経済的支援	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な医学部生	貸与奨学金	約60万円	①1年間 ②1回限り	7名	地域の制限なし	医学事務課				
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	学校法人大阪医科大学 勤奨学金	入学後	学費支援	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な医学部女子学生	給付奨学金	500,000円	①1年間 ②1回限り	2名	地域の制限なし	医学事務課				
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学看護学部入学時特待生	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援	人数4名 対象：看護学部一般入試(3科目入試)合格者成績上位4名。かつ、当該入学試験で入学する者。	給付奨学金	1人あたり50万円	1回限り	4名	地域の制限なし	アドミッションセンター(本部キャンパス)				
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学看護学部給付奨学金	入学後	特待生・成績優秀者 学費支援	人数1年生を除く各学年4名 対象：成績・人物ともに優秀であって、経済的理由がある者。	給付奨学金	年間30万円		1年生を除く各学年4名	地域の制限なし	看護学事務課				
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部特待奨学金	その他	申請不要	特待生・成績優秀者	前年度の成績優秀者等、2～5名。	給付奨学金	最優秀者30万円・特別優秀者20万円・優秀者10万円。		各年次7名	地域の制限なし	薬学学部学生課	併用可	併用可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部一般奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	前年度末までの累積GPA(全科目)が2.50以上(特入生については高等学校の評定平均が3.5以上または入試成績が入学者の2分の1以内)の者で、経済的事項で学業もしくは研究の継続に支障を来している者。 ※大阪医科大学薬学部特待奨学金と併用可能 ※日本学生支援機構給付奨学金と併用不可	給付奨学金	月額3万円	1年間	各年次20名	地域の制限なし	薬学学部学生課	併用不可	条件有りて併用可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部特別奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	経済的事項で学業もしくは研究の継続に支障を来している者。原則として申請年度に留年していない者。 期間は卒業までの最長修業年限で、留年したときに資格を失うものとする。 ※大阪医科大学薬学部一般奨学金と併用可能 ※日本学生支援機構給付奨学金と併用不可	給付奨学金 貸与奨学金	月額5万円(貸与3万円+給付1万円)	最長修業年限(ただし留年した場合は最長)	新入生：約15名、2～6年生：若干名	地域の制限なし	薬学学部学生課	併用不可	条件有りて併用可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部PA奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	人物・学業ともに優秀で経済的理由により修学困難な者。原則として、日本学生支援機構あるいはその他の奨学金を受給していない者。 期間は1年度で、毎年の審査を経て繰り越し奨学金となることができる。	貸与奨学金	月額4万円または18万円	1年間	最大20名	地域の制限なし	薬学学部学生課	併用不可	併用不可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部PA会学費融資制度	在学中	1～6年次	学費支援	在学中に家計支持者が家計急変等の経済事情の急変や被災等により学費の納入が困難であると認められる者。 日本学生支援機構等の奨学金を受給している(または停止・廃止)かつ、国の教育ローンを利用している(または、申請したが利用できなかった)こと。	貸与奨学金	1回に融資する学費金額は、当該学生がその時に納入すべき学費以内で、在学中に融資する学費金額の総額は、原則として3年分の学費を限度とする。	1年間	①年間6名程度	地域の制限なし	薬学学部学生課	併用可	併用可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学薬学部入学時特待生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者	公募制推薦入試合格者成績上位30名および一般入試合格者成績上位40名。	給付奨学金	入学初年度の施設・設備費相当額60万円を入学後に給付します。	1回限り		地域の制限なし	学務科入試・広報課分室	併用可	併用可		
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	学校法人大阪医科大学 四方君子記念奨学金	入学後	学費支援	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	80万円		①1年間 ②1回限り	5～6名	地域の制限なし	医学事務課	併用可	併用可	
	学生課(医学部)・アドミッションセンター(医学部・看護学部)	大阪医科大学看護学部学費減免制度	学校出願時	その他	看護学部「至誠仁術」入試(専願制)に合格し、入学した者に4年間(ただし①実習科の施設拡充費を減免する。	免除・減免	①実習科20万円 ②施設拡充費30万円		4年間	3名	地域の制限なし	看護学事務課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
	学生課	企業後援会奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		1年～4年生の全学部学生対象 学業及び人物ともに優秀であり、健康にして将来有望な人材となる見込みのある者で、所定の成績を修得している者。	給付奨学金	年額10万円～20万円	1回限り(毎年応募可能)	年間40名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	「その他の」具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
阪南大学	入試広報課	入試成績優秀者(特待生)奨学金	入学手続き時				①【対象学年】～4年生【学部】全学部学科【資格・条件】一般入試(前期)【2教科型】で得点率80%(240点以上/300点満点)かつ上位10位以上 ②【対象学年】～4年生【学部】全学部学科【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【3教科型】で得点率75%(225点以上/300点満点)かつ上位10位以上 ③【対象学年】～4年生【学部】全学部学科【資格・条件】一般入試(前期)【2教科型】で得点率80%(160点以上/200点満点)かつ上位10位以上 ④【対象学年】～4年生【学部】全学部学科【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【2教科型】で得点率75%(150点以上/200点満点)かつ上位10位以上 ※継続基準については1年ごとに学業成績および学部課題が定められる。	給付奨学金	①年額60万円 ②年額60万円 ③年額40万円 ④年額40万円	①4年間 ②4年間 ③4年間 ④4年間 ※継続基準については1年ごとに学業成績 および学部課題が定められる。	①得点率80%(240点以上/300点満点)かつ 上位10位以上 ②得点率75%(225点以上/300点満点)かつ 上位10位以上 ③得点率80%(160点以上/200点満点)かつ 上位10位以上 ④得点率75%(150点以上/200点満点)かつ 上位10位以上	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
	入試広報課	入試成績優秀者奨学金	入学手続き時				①【対象学年】年【学部】全学部学科【資格・条件】一般入試(前期)【3教科型】で得点率80%(240点以上/300点満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ②【対象学年】年【学部】全学部学科【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【3教科型】得点率75%(225点以上/300点満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ③【対象学年】年【学部】全学部学科【資格・条件】一般入試(前期)【2教科型】で得点率80%(160点以上/200点満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ④【対象学年】年【学部】全学部学科【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【2教科型】得点率75%(150点以上/200点満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ⑤【対象学年】年【学部】全学部学科【資格・条件】公募推薦入試(前期)で得点率80%(200点以上/250点満点)かつ、全体の上位11位から10位まで	給付奨学金	①年額40万 ②年額40万 ③年額20万 ④年額20万 ⑤年額20万	①入学年度のみ1回限り ②入学年度のみ1回限り ③入学年度のみ1回限り ④入学年度のみ1回限り ⑤入学年度のみ1回限り	①得点率80%(240点以上/300点満点)か つ、全体の上位11位から20位まで ②得点率75%(225点以上/300点満点)か つ、全体の上位11位から20位まで ③得点率80%(160点以上/200点満点)か つ、全体の上位11位から20位まで ④得点率75%(150点以上/200点満点)か つ、全体の上位11位から20位まで ⑤得点率80%(200点以上/250点満点)か つ、全体の上位11位から10位まで	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
	入試広報課	指定資格取得者奨学金	その他	入試実施の年度までに申請		資格取得支援制度			給付奨学金	1資格につき100,000円を給付 ※複数の資格の申請可	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	阪南大学給付奨学金学術成績優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生				【対象学年】2年生～4年生 【学部】全学部学科 【資格・条件】各学期の学業成績を評価している者。 (1)成績評価(GPA)が、前年度において3.5以上の者。 (2)前年度末までに2年次生は30単位、3年次生は30単位、4年次生は20単位を修得している者。 (3)前年度において、認定科目及び履修科目のうち卒業要件に含まれない科目を除き、30単位以上の単位を修得した者。	給付奨学金	①各科目各学年成績優秀者(1位) 年額40万円 ②各科目各学年成績優秀者(2位以下) 年額20万円	1年間		①全学部学科 6学部×各1名×3学年(計18名) ②国際コミュニケーション学科(国際観光学科・総合情報科学科)学部各3名×3学年(計27名) 経済学科/経営学科 2学部×各4名×3学年(計30名)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入試広報課	阪南大学学業継続支援奨学金	在学中	1年生～4年生		費用を定めない経済的支援			給付奨学金	①年額54万円	在学中に1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りでの併用可	
	入試広報課	遠隔地出身学生奨励奨学金	在学中	1年生～4年生		費用を定めない経済的支援 その他	遠隔地出身学生で下宿生活をしている学生 を対象とした奨学金制度	【対象学年】～4年生 【学部】全学部学科 【資格・条件】経済的に困難しており、修学を継続することが困難であり、修学支援制度に該当しない者。(学費負担の見直しにより、支援対象外と判断される場合については申請可能となる。) 【条件】前年度末までに2年次生は31単位、3年次生は32単位、4年次生は33単位以上を修得していること。1年次生は、前期終了時点で16単位以上修得していること。 ①1年次生-【学力基準】高等学校の調査書全体の学習成績の状況が4以上の者 【学業】卒業認定試験(大学入学資格検定)の合格者は基準を満たしているものと扱いとする。 ②～4年次生-【学力基準】大学の調査書全体の学習成績の状況が4以上の者 (1)前年度末までに2年次生は31単位、3年次生は32単位、4年次生は33単位以上を修得していること (2)前年度1学期の成績評価(GPA)が2.7以上 【学費負担】日本学生支援機構第一種奨学金を借りている者	給付奨学金	①1年生140万円 ②2年生以上124万円	①とともに、当該年度に限る(毎年出願可) ②あわせて70名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りでの併用可		
	入試広報課	阪南大学後援会給付奨学金 学部奨励会	在学中	2年生～4年生				【対象学年】2年生～4年生 【学部】全学部学科 【資格・条件】各学部学科において選考された人物優秀者に対し、給付される奨学金です。	給付奨学金	年額3～40万円	1年間		各学部学科により異なる	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	入試広報課	阪南大学後援会給付奨学金 クラブ奨学金	在学中	1年生～4年生		課外活動支援制度			給付奨学金	カタイプ 年額40万円 Bタイプ 年額20万円	1年間	16名(全学年)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入試広報課	学内資格講座受講料無料	入学後			資格取得支援制度			その他	資格講座により異なる	1～4年間	人数制限なし	地域の制限なし	キャリア支援課	併用可	併用可	
	入試広報課	卒業生・在学生家族後援制度	学校出願時			入学金・授業料減免			免除・減免	入学金(210,000円)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
桃山学院大学	学生支援課	桃山学院大学 成績優秀者 奨励奨学金	その他	大学から対象者に通知			2年次以上の学部学生(但し、外国人留学生を除く)で、本学における学業において他の学生の模範となるような様で優秀な成績を収めた者。採用人数70名。	給付奨学金	年間学費半額相当額を給付	該当年度に限る	70名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りでの併用可		
	学生支援課	桃山学院大学 遠隔地出身学生 奨励奨学金	学校出願時		その他	遠隔地出身者のうち、下宿生活を行う学生への経済的支援	通学時間が概ね片道3時間以上を要し、自宅外通学(下宿生活)をしている遠隔地出身者のうち、成績優秀な学部学生(但し、外国人留学生を除く)で、経済的理由により修学が困難な者。募集人数100名。	給付奨学金	年額300,000円	1年間(ただし、毎年出願可)	100名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りでの併用可		
	学生支援課	桃山学院大学 課外講座 学修奨励奨学金	入学後			資格取得支援制度	学業成績が優秀な学部学生で、かつ、学内開講の資格講座または別に定める学外講座を意欲的に受講する者。募集人数2～4年生100名、1年生30名。	給付奨学金	学内開講の資格講座または別に定める学外講座受講料相当額(ただし、10万円/年を限度)	当該年度に限る(ただし、毎年出願可)	2年生以上:100人 1年生:30人	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
	学生支援課	桃山学院大学 国際学生学業継続奨励会	学校出願時		学費支援	本学の学部)に在学する学生(外国人留学生およびこれに準ずる者として学長が認めた者を除く)において、経済的な理由で学費の納入が困難で、学業の継続が不可能な学生を支援することを目的とする。 奨励金の給付は、原則として、在学する最終学年の春学期を申請対象とし1回を限度とする。	給付奨学金	春学期授業料相当額(514,500円)を上限とする。	1回限り		若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りでの併用可		
	学生支援課	桃山学院大学 長期派遣留学 奨励奨学金	その他	長期派遣留学申込期間		留学費用支援制度		対象学年:全学部 対象学部:全学部 資格・条件 第1号奨学金 交換留学が対象で、応募時までの累計GPA3.0以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者 第2号奨学金 留学派遣が対象で、応募時までの累計GPA3.0以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者 第3号奨学金 留学派遣が対象で、応募時までの累計GPA2.3以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者	給付奨学金	第1号奨学金 交換留学対象学期ごとに50万円 第2号奨学金 留学派遣対象学期に50万円 第3号奨学金 留学対象学期ごとに15万円	1学期1回	第1号奨学金:10名 第2号奨学金:10名 第3号奨学金:無制限なし	地域の制限なし	国際センター事務課	条件有りでの併用可	併用可	
	学生支援課	短期海外研修 学生奨励会	その他	短期海外研修申込期間		留学費用支援制度		対象学年:全学部 対象学部:全学部 資格・条件:応募時までの累計GPA3.0以上	給付奨学金	プログラム費用の10%(上限6万円)	プログラム選抜時		人数制限なし	地域の制限なし	国際センター事務課	条件有りでの併用可	併用可
	学生支援課	桃山学院大学 授業料減免制度	学校出願時			入学金・授業料減免	過去1年以内(但し、入学以前の事由は除く)の突発的な事由により一時的に家計に重大な変化(地震等の災害や主たる生計維持者の死亡・長期入院など)が生じ、学費の納入が極めて困難となった学生であること。 (その他要件あり)	免除・減免	半額授業料全額(514,500円)を上限とする。	当該学期に限る。ただし、在学中2回まで申請可。		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	桃山学院大学教育ローン利子補給奨学金	学校出願時			学費支援	出願することができる者は、本学の学部に在学する学生(外国人留学生およびこれに準ずる者として学長が認めた者を除く)で次の各号のいずれにも該当し、目的に適合する者とする。 1. 当該年度に本学を退学する者(一時的な借入を受け、その利子を支払った者) 2. 高等教育の修学支援給付制度の支援を受けていない者 3. 在籍期間が最長修業年限(休学期間を除く)を超えていない者 4. 本学での学業成績および学業状況が別に定める基準に適合する者	給付奨学金	25,000円を上限とする。	当該年度に限る(ただし、毎年申請可)	40名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可		
	学生支援課	桃山学院大学大規模災害関連学費等減免	その他	入学予定者については入学手続き時、在学生については随時		入学金・授業料減免		災害対策基本法の定める除害災害に指定された地域に居住する者が在学または入学予定者	免除・減免	入学予定者:入学申込金および授業料を全額免除。または半額を含む一部免除 在学生:授業料を全額免除。または半額を含む一部免除	原則として最長修業年限内で最大4年間継続できるものとする。ただし、継続がもたらげる毎学期の学業成績および学習状況(注)による審査を行い、学習状況が良好に学業の継続に支障がなくなった場合は、継続を終了するものとする。		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りでの併用可
	学生支援課	桃山学院大学日本大震災関連学費減免	入学手続き時			入学金・授業料減免	東日本大震災によって学費の納入が困難な者	免除・減免	減額は、各学期で34万円または18万円とする。	減免の適用は、原則として最長修業年限内で最大4年間継続できるものとする。 継続にあたっては毎学期の学業成績および学習状況(注)による審査を行う。なお、学習状況が良好に学業の継続に支障がなくなった場合は、継続を終了するものとする。		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
関西福祉科学大学	入試広報部	入試試験奨学金	その他	入試前	学費支援	対象者：以下の①～④のいずれかを受験する受験生 対象学部：以下の①～④のいずれかの入試試験において、定められた学部 資格・条件 ①学校推薦型選抜(公募)奨学金、一般選抜奨学金、大学入学共通テスト利用選抜奨学金 …当該学部・専攻を第1志望の専攻で、学校推薦型選抜(公募A)(基礎能力型)の合格者のうち、基礎能力型試験得点が75%以上、一般選抜の得率が70%以上、大学入学共通テスト利用選抜(前期)の得率が70%以上の者のうち、定められた人数の範囲内。 ②学校推薦型選抜(指定校)奨学金 …学校推薦型選抜(指定校)において、定められた基準を満たした者のうち、指定校毎に定められた定員の範囲内。(給付基準・給付額等は在籍校でご確認ください。) ③学校推薦型選抜(課外活動)奨学金(リベリテーション)学部は対象外 …出願期間において、ハンズが中心部、授業実習、女子バレーボール部のいずれかに所属していた者のうち、定められた成績を収め、かつ本学入学後、1年次より部活動を継続できる者。 ④社会人入試奨学金 …社会人入試の合格者。	給付奨学金	①学校推薦型選抜(公募)奨学金…学納金の1/3。 …一般選抜奨学金、大学入学共通テスト利用選抜奨学金…学納金の1/4×4年 ②学校推薦型選抜(指定校)奨学金…給付額等は在籍校でご確認ください。 ③学校推薦型選抜(課外活動)奨学金…10万円～30万円 初年度。 ④社会人入試奨学金…20万円 初年度。	①公募(1回限り) …一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜(1年度、専攻4年間) ②1回限り ③1回限り ④1回限り	①公募25名(全学科合計) …一般選抜46名(全学科合計) 大学入学共通テスト利用選抜16名(全学科合計) ②人数制限なし ③人数制限なし ④人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用不可	条件有りで併用可	
	入試広報部	玉手山学園ファミリー入試奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	対象者…以下の①～③のいずれかに該当する入学生のうち申請をした者。 対象学部…社会福祉学部・心理科学部・健康福祉学部・保健医療学部・教育学部 ①学校法人玉手山学園が設置する学校・園の(ア)卒業生、(イ)卒業生の親、(ウ)卒業生の子、(エ)卒業生の兄弟姉妹が本学に入学した場合。 ②学校法人玉手山学園が設置する学校・園の(ア)在学生の親、(イ)在学生の子、(ウ)在学生の親、(エ)在学生の兄弟姉妹が本学に入学した場合。 ③学校法人玉手山学園が設置する学校・園に①②に該当しない兄弟姉妹が、複数同時に入学した場合(一人を除く兄弟姉妹について給付)。	給付奨学金	10万円。	入学後1回限り。	人数制限なし	総務部	併用可	条件有りで併用可		
	入試広報部	遠隔地学生奨学金	その他	入学前	用途を定めない経済的支援	対象学年：1年生～4年生 対象学部：全学部 資格・条件 …申請資格：以下の①～④全てに該当する受験生。 ①本学の定める地域に保護者が在住し、本学へ入学後、下宿あるいは学生寮に入居する者。 ②高等専門学校又は中等教育学校(2023年度3月1日現在)に在学または卒業した者。 ③受験生が在籍または在籍していた高等専門学校又は中等教育学校から提出される課業書の学習成績の 状況が「3.0以上」である者。 ④家計支持者の所得証明書(申請時の前年分)に記載される収入所得金額が本学の定める条件に該当する者。 二. 給付条件 …給付対象となる学期に履修登録をしており、継続給付条件となる最低単位数を取得していること。 三. 募集人員…50名以内	給付奨学金	年間30万円(各学期18万円、月給3万円相当)	1年間(最長4年間)	50名以内	地域の制限なし	入試広報部	併用不可	条件有りで併用可	
	入試広報部	関西福祉科学大学教育後援会奨学金	随時		学費支援	対象学年…1年生～4年生 対象学部…社会福祉学部・心理科学部・健康福祉学部・保健医療学部・教育学部 予定できない家計の急変により、経済的に修学困難となった学業意欲旺盛な学生へ奨学金を支給。家計急変の事由が発生した場合、総務部へご相談ください。	給付奨学金	40万円以内。			地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
大成学院大学	入試課	大成学院大学資格奨学金	学校出願時		その他	出願時に既に本学指定の資格を取得している方	高等専門学校入学以降に取得した資格によって、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	入学後、入学金の金額相当250,000円または、半額相当125,000円を支給	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可
	入試課	大成学院大学奨学金	学校出願時	その他	授業料の半額を最長4年間免除	①S1奨学生 大成学院大学奨学金対象の入試で第1志望の学科に合格し、奨学金制度を希望した方で、対象入試合格者の上位10%以内の方は、授業料の半額を最長4年間免除 ②S2奨学生 大成学院大学奨学金対象の入試で第1志望の学科に合格し、奨学金制度を希望し、対象入試合格者の上位20%以内の方は、授業料の半額を初年度免除	免除・減免	①S1奨学生 授業料の半額を最長4年間免除 ●専攻学部…1,840,000円 ●人間・経営学部…1,800,000円 ②S2奨学生 授業料の半額を初年度免除 ●専攻学部…485,000円 ●人間・経営学部…400,000円	①最長4年間(2年次以降の給付には継続条件があります) 2年年度のみ	①大成学院大学奨学金対象の入試で第1志望の学科に合格し、奨学金制度を希望した方で、対象入試合格者の上位10%以内の方は ②大成学院大学奨学金対象の入試で第1志望の学科に合格し、奨学金制度を希望し、対象入試合格者の上位20%以内の方	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	入試課	総合型選抜奨学金	学校出願時	その他	入学金半額相当を支給	①人間学部・経営学部…総合型選抜第1期～第4期で専攻を完了し、合格となった方で入学手続きを完了した方は、入学後に奨学金を支給 ②看護学部…総合型選抜の合格者上位50%の方で入学手続きを完了した方は、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	①入学金半額相当の125,000円を支給	1回限り		①人間学部・経営学部…人数制限なし ②看護学部…総合型選抜の合格者上位50%の方	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可
	入試課	総合型選抜女子エール奨学金	学校出願時	その他	最大2年間分の授業料免除(3年次・4年次)	●本学を専攻とし、12月までの総合型選抜A方式女子エール型で人間学部または経営学部合格した女子の方。 ●入学後、学内で専攻する学生スタッフとして2年以上活動すること。 ●前学生の場合は出願時に日本語能力試験(N1またはN2)を取得していることを条件とします。	免除・減免	最大2年間分の授業料免除(3年次800,000円、4年次800,000円)	3年次・4年次		人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可
	入試課	学校推薦型選抜 指定校推薦方式特別奨学金	その他	別途申請の必要はありません。	その他	入学金の金額相当125,000円を免除	人間学部・経営学部、学校推薦型選抜指定校推薦方式で合格した方	免除・減免	入学金金額相当125,000円を免除	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可
羽衣国際大学	入試広報課・学生支援課	グローバルチャレンジプログラム(GCP)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 資格取得支援制度 研修支援制度 留学費用支援制度	【学力型】本学に筆記試験(学校推薦型選抜、一般入試)300点換算・面接100点 【資格型】指定資格を複数取得300点換算・面接100点 【大学入学共通テスト利用型】試験(スタンダード)300点換算・面接100点	給付奨学金 免除・減免	入学金と授業料全額免除または半額免除 在学中の海外研修・留学参加費用免除(3回まで) 附設短大生・前編最大5万円(長期留学の場合に限る) オンライン英語活用全額免除(1年間) 入学後のTOEIC等英語資格の受験料免除(3回まで)	原則卒業までの4年間 ※授業料に係る減免内容については、1年ごとの継続審査が必要です。	設けなし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有りで併用可	
	入試広報課・学生支援課	スカラシップチャレンジ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【対象(出願資格)】 本学指定の対象入試(筆記試験)に合格した者 【条件】 ※一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜に出席する場合は、本制度と同時に出席することができます(検定料免除)。その他の入試制度に出席する場合は、同時出席はできません。 ※入学金免除などの特典をすでに獲得している者も、さらなる特典を目指して出席が可能です。	免除・減免	【金額】 本学指定の対象入試(筆記試験)において、8割得点または7割得点を目標とします。 詳細な免除額は以下の通りです。 8割得点目安：入学金全額免除+授業料全額免除(4年間) 7割得点目安：入学金全額免除+授業料半額免除(4年間) ※授業料に係る減免内容については、1年ごとの継続審査が必要です。 ※授業料以外の学費(施設費・教育充実費)、諸費は必要です。		地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有りで併用可		
	入試広報課・学生支援課	BE the ONE特別給付型奨学金	その他	2年生以上の4月	学費支援	【対象学年・学部】 2年生以上の全学部 【資格・条件】 申込をした者	給付奨学金	学費のうち授業料相当額	1年間(複数年にもわたる申込を妨げない)		各学年・学科1名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可
	入試広報課・学生支援課	資格取得者優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免	入学時 全学部 本学指定の資格を取得していること ※下記以外のいずれかの資格 <筆記> 全学歴2級以上、日商簿記3級以上 <英語> 英検2級以上、全英英検2級以上、TOEIC400点以上、TOEFL PBT450以上・IBT45以上 <漢字> 漢字検定2級以上 <情報> 基本情報技術者試験、ITパスポート、全情報処理検定2級以上(ビジネス情報/プログラミング)、全工情報技術検定2級以上	免除・減免	入学金25万円	入学手続き時	制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課・学生支援課	フューリー優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免	【対象】 全学部 【条件】 志願者の親、兄弟・姉妹が「羽衣国際短期大学」「羽衣国際大学」の卒業生または在学生	免除・減免	入学金25万円	入学手続き時	制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課・学生支援課	兄弟・姉妹優遇制度～兄弟・姉妹対象～	学校出願時		入学金・授業料減免	フューリー優遇制度を申請した志願者が入学した時点で、志願者の兄弟・姉妹が「羽衣国際大学」の在学生の場合、フューリー優遇制度に加え、兄弟・姉妹の授業料が減免になる	免除・減免	前期100,000円、後期100,000円(合計年間 200,000円)	兄弟が卒業するまで	制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
千里金蘭大学	アドミッションセンター	チャレンジAO・指定校型スカラシップ(奨学金)	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		【対象学部】 実業学部・教育学部 【全体の併修条件(指定校型)の条件】 3年～入学金金額(20万円)免除 3.5～3.7・入学金半額(10万円)減免 【対象入試】 総合型選抜 チャレンジAO(1期～2期)および学校推薦型選抜 指定校型(1期)	免除・減免	3年～入学金金額(20万円)免除 3.5～3.7・入学金半額(10万円)減免	1年次のみ適用。	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
	アドミッションセンター	実業学部 特待生奨学金	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		【対象学部】 実業学部 【奨学生資格】 総合型選抜 基礎学力型 前期または一般選抜 前期 2科目において、実業学部を受験し入学試験の合計得点率が90%を超え、かつ「化学基礎・化学Iもしくは生物基礎・生物」で高得点を取得した者	免除・減免	初年度138万円免除 (1年目の授業料・教育充実費・実験実習費を全額免除)	1年次のみ	それぞれの入試において成績上位3名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可		
	アドミッションセンター	入学試験成績優秀者奨学金	学校出願時	特待生・成績優秀者		【対象学部】 全学部 【奨学生資格】 一般選抜 前期において、高得点(80%以上)を取得した者のうち、学部別の成績上位者 ※実業学部 教育学部は2科目目、看護学部は3科目目が対象。	免除・減免	初年度24万円	初年度のみ	実業学部5名程度 教育学部4名程度 看護学部10名程度	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	条件有りでの併用可		
	アドミッションセンター	遠隔地学生奨学金	入学後	学費支援		【対象学部】 全学部 【奨学生資格】 本学から自宅までの最長直線距離(電車・バス等)が70km以上離れた下宿者・マンション等居住者	給付奨学金	年額12万円(4年間) ※3年次編入は2年間	1年間(最大4年間)	該当者全員		地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	フューチャー奨学金	入学後	入学金・授業料減免 その他	入学決定料の減免		【対象学部】 全学部 【奨学生資格】 本学に在籍する1年次の中で、次に該当する者 ※実業学部の卒業生で構成される同窓会(学友会)会員の親族3親等以内の者、又は本学在籍者の姉妹	給付奨学金	入学決定料に相当する金額(3万円)及び入学金の1/2に相当する金額(10万円) ※大学入学共通テスト利用型選抜受験者は1万円	初年度のみ	該当者全員	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	成績優秀者奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		【奨学生資格】 次の各条すべてに該当する者 ・本学に在籍する2年次以上の者 ・学業・人物の優れた者(2年次以降、毎年前年度の成績をとり判定)	免除・減免	実業学部実業学科 20万円 教育学部教育学科 20万円 看護学部看護学科 25万円	1年間		実業学部実業学科 2名 教育学部教育学科 2名 看護学部看護学科 3名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	授業料減免制度	在学中	2年次以上	学費支援 入学金・授業料減免		【奨学生資格】 次の各条すべてに該当する者 ・本学に在籍する2年次以上の者 ・入学時の経済的状況および学習成績(内定)に基づき認められた者 ・日本学生支援機構の貧困型奨学金を受けている者 ・学業成績(各年度の成績)が優れている者 ・所定単位数以上を修得している者 ・高等学校を卒業後、本学に入学するまでの期間が2年を超えているなど、進学するまでの期間に関する要件により修学支援制度への申請がかわかない者	免除・減免	上記減免期間の授業料金額または半額または1/4相当額	1学年 ただし、翌年度以降についても申請することができま			地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可
	アドミッションセンター	教育学部 特待生奨学金	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		【対象学部】 教育学部 【奨学生資格】 総合型選抜 基礎学力型 前期または一般選抜 前期 2科目において、教育学部を受験し入学試験の合計得点率が90%を超え、かつ合計点(調査書を除く)で高得点を取得した者	免除・減免	初年度120万円免除 (1年目の授業料・教育充実費・実験実習費を全額免除)	1年次のみ	それぞれの入試において成績上位2名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可		
	アドミッションセンター	看護学部 特待生奨学金	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		【対象学部】 看護学部 【奨学生資格】 総合型選抜 基礎学力型 前期または一般選抜 前期 3科目において、看護学部を受験し入学試験の合計得点率が90%を超え、かつ合計点(調査書を除く)で高得点を取得した者	免除・減免	初年度168万円免除 (1年目の授業料・教育充実費・実験実習費を全額免除)	1年次のみ	それぞれの入試において成績上位4名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可		
大阪女学院大学	アドミッションセンター	特別給付奨学金A	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		新入生 一一般選抜、大学入学共通テスト利用、特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が80%以上 一基礎型総合型選抜(成績優異)一次試験合格またはTOEIC L&R 910点以上 一GTEC(4技能)1000点以上 一IELTS 7.0以上 一TOEFL iBT 総合点以上 一韓国語能力試験6級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、規程により次年度継続を決定する。	免除・減免	年額80万円を2回に分けて学費減免により支給(一様40万円、二様40万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用不可		
	アドミッションセンター	特別給付奨学金B	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		新入生 一一般選抜、大学入学共通テスト利用、特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が70%以上 一基礎型総合型選抜(成績優異)一次試験合格またはTOEIC L&R 675点以上 一GTEC(4技能)1000点以上 一IELTS 5.0以上 一TOEFL iBT 580点以上 一韓国語能力試験6級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、規程により次年度継続を決定する。	給付奨学金	年額40万円を2回に分けて学費減免により支給(一様20万円、二様20万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
	アドミッションセンター	大阪女学院大学(同短期大学)奨学金	在学中	毎年6月頃	入学金・授業料減免	全学年対象。 修学の進捗がありながら、経済的困難度の高い方。 大阪女学院大学(同短期大学)奨学金およびグループ・ライヴァー・シオン奨学金(学校法人大阪女学院の奨学金)との併給不可。	給付奨学金	45万円を二期分学費減免により支給	1年間	2名まで	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	アドミッションセンター	大阪女学院大学(同短期大学)貸与奨学金	在学中	毎年6月頃	学費支援	全学年対象。 修学の進捗がありながら、経済的困難度の高い方に無利息で貸与。 大阪女学院大学(同短期大学)奨学金およびグループ・ライヴァー・シオン奨学金(学校法人大阪女学院の奨学金)との併給不可。 (卒業後)半年後から返還開始。	貸与奨学金	45万円を二期分学費減免により貸与	1年間	16名まで	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	アドミッションセンター	自宅通学海外学生支援奨学金	在学中	学期末試験時期(年2回)	学費支援 入学金・授業料減免	全学年対象。 主たる生計維持者の所得が給付対象者は241万円以下、給付対象以外の場合は335万円以下である者のうち、自宅が遠方の為、自宅を離れて生活し下宿代を賄えない者。	免除・減免	一学期につき12万円を学費減免により支給	半年間(毎学期申請)	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	アドミッションセンター	学修奨励学費減免奨学金	在学中	申請ではなく成績優秀者を学校側で決定	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学3年生は、大学2年次までの成績が上位10位以内の者 大学4年生は、大学3年次までの成績が上位10位以内の者 ただし、GPA3.5以上等の基礎資格を満たす者に限る	免除・減免	5万円を二期分学費減免により支給	1年間	3年生10名 4年生10名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	アドミッションセンター	姉妹同時在学学費減免奨学金	入学後		学費支援	全学年対象。 同一生計内で二親等以内の姉妹等と同時に二人以上在学する場合、学期ごとに申請をした者について、上級学年に在学する者を必要者とし、下級学年に在学する者を支給対象とする。	免除・減免	一学期につき7万円を学費減免により支給(毎学期申請)	半年間	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	アドミッションセンター	特別給付奨学金C	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		新入生 一公募制学校推薦型選抜総合得点率率 70%以上 一一般選抜総合得点率取得率 60%以上 一特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が60%以上 一実用英語技能検定合格または2級一次試験合格 一韓国語能力試験4級または3級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、規程により次年度継続を決定する。	給付奨学金	年額20万円を2回に分けて学費減免により支給(一様10万円、二様10万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
	藍野大学	入試広報グループ	特待生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者		【対象者】 一般選抜入試(前期日程・中期日程)、大学入学共通テスト利用入試(前期日程・中期日程)を受験し、出願時に申請したもの 【試験科目】 対象入試試験の試験科目による。 ※一般選抜入試(前期日程)については、2科目方式で判定を行います(3科目方式を受験した場合も2科目方式必須科目を含んだ高得点2科目での判定を行います)。 ※大学入学共通テスト利用入試については、個別の選考試験はありません。	給付奨学金	《看護学科・理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科》 成績に応じて以下のA、B、Cを入学後に返金します。 A: 625,000円(入学金相当額および初年度授業料の半額相当額の合計) B: 575,000円(初年度授業料の半額相当額) C: 250,000円(入学金相当額) 《健康学科》 成績に応じて以下のA、B、Cを入学後に返金します。 A: 750,000円(入学金相当額および初年度授業料の半額相当額の合計) B: 475,000円(初年度授業料の半額相当額) C: 250,000円(入学金相当額)	入学後に1回	10名以内 ※成績によっては該当者無となる場合もあります。	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可	
入試広報グループ		家族入学優遇制度	学校出願時	入学金・授業料減免		【対象者】 すべての入試区分で両親、兄弟姉妹、もしくは配偶者が以下のいずれかに該当する者 ・学校法人藍野大学が設置する各学校の在学(休)生 ・藍野大学の卒業生(短期大学、専門学校等の卒業生は対象外)	給付奨学金	入学後、入学金相当額250,000円を返金します。	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可		
入試広報グループ		自宅外通学有奨学金給付制度	学校出願時	学費支援		【制度該当者】 次の(1)～(5)のすべてに該当する者 (1)入学当初より自宅外通学が必要であること。 (2)奨学金を希望する者が生計維持者と同居する自宅から、本学との距離が目安として公共交通機関で30分～1時間以内であること。 (3)入学後に居住する住所と本学のとの距離が目安として30分～1時間以内であること。 (4)入学後に居住する住所の所在地が学生入居して、本人のみの居住であること。 (5)給付期間中に、修学の進捗が滞り、または退学したことがないこと。 (6)入学が可能な場合に、入学することを希望すること。 ※入学後、住居変更の申し等の一入居したいの証明書を提出していただきます。 【対象入試試験】 ・選抜型推薦型選抜入試※ ・シニア枠の入試※ ・指定校推薦入試※ ・作業療法体験型選抜入試(A日程・B日程)※ ・公募制推薦入試(A日程・B日程) ・一般選抜入試(前期日程・中期日程・後期日程) ・大学入学共通テスト利用入試(前期日程・中期日程・後期日程) 【選考方法】 入学試験合格者のうち、出身高等学校発行推薦書、入学試験の成績等の総合判定 ※推薦書は推薦書入試、シニア枠の入試、指定校推薦入試の受験者については、別途公募制推薦入試A日程基礎学力試験(分野選択型)を添付していただき、その成績により選考します。 ※推薦書は推薦書選抜入試受験者については、1日目は総合型選抜入試日程基礎学力試験(分野選択型)、2日目は一般選抜入試後期日程を科目受けていただき、その成績により選考します。	給付奨学金	月額50,000円 ※給付にあたっては半学期に審査があり、給付を取り消された場合は、奨学金の金額又は一部の返還を求めることがあります。	入学後、4年間給付します(原則、返還不要)。	若干名 ※成績によっては該当者無となる場合もあります。	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可		
入試広報グループ		授業料減免制度	随時	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免 家計急変等の経済的理由により、学費の納入が難しく困窮した学生に対する制度。	免除・減免	1回当たり各学期の授業料の半額相当分を減免。	2回を限度とする。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可			

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
	入試広報グループ	学業成績優秀学生生後給付奨学金	その他	5月末までに学長が選考候補者を選考し、理事長に推薦する。	特待生・成績優秀者			給付奨学金	15万円	当年度限り	20名以内	地域の制限なし	法人事務局総務センター総務グループ	併用可	併用可	
大阪青山大学	学生支援センター	入学試験成績優秀者給付奨学金	入学後		入学金・授業料減免	一般選抜日程における各学部の成績優秀者上位10%以内の者		給付奨学金	1年次前期授業料の半額相当	1年次4月1回のみ	一般選抜A日程で、各学部の合格者上位10%のうち入学した者	地域の制限なし	入試、学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	塩川学修奨励金	在学中	進級時	特待生・成績優秀者	各学部・各学年(2年生～4年生)、人物に優れ、前年度の学業成績が上位4%以内の者		給付奨学金	10万円	毎年4月	各学部の在籍者の4%	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	四国生家族入学金支援制度	入学後		学費支援	親または兄弟姉妹に、大阪青山大学(大阪青山大学、大阪青山大学短期大学部)の卒業生又は在籍学生が居る入学生		給付奨学金	入学金の半額相当(115,000円)	入学時の4月	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	教育後援会費負担助給付金	その他	学費支弁者死亡時	学費支援	人物・成績とも優秀で在学中に学費支弁者の死亡により家計が急変し、学費の給出が困難になった者		給付奨学金	30万円	該当者発生時	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	学生支援センター	最優秀学生奨励金	在学中	各学部、各学年(2年生～4年生)の進級時に、前年度の成績が最も優秀であった者に20万円支給する。	特待生・成績優秀者	各学部・各学年(2年生～4年生)、人物に優れ、前年度の学業成績が最優秀の者		給付奨学金	20万円	進級時の4月	各学部・各学年で1名ずつ	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	家計急変時給付制度	随時		学費支援	成績優秀かつ学修への意欲が高いと認められる者が生活に困難し、学びの継続が難しいと判断された場合に随時に基づき給付する。		給付奨学金	前期または後期授業料の半額相当	1回限り	各学部年2名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	被災学生等支援制度	随時		入学金・授業料減免	災害救助法適用地の指定を受けた被災地域に在住する受験生から、学費負担者が在住する学生までを支援する制度。		免除・減免	①受験生・指定免除 ②入学金免除 ③学費免除 ④被災以降の授業料請求時に、最大10万円を減免する。	3の通り	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
学生支援センター	3学期制スタート記念奨学金	その他		条件該当者に本学が確認し連絡する。	その他	指定条件該当者に支給する奨学金		給付奨学金	③の通り	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
四條学園大学	学生支援センター	四條学園大学 遠隔地学生給付奨学金	入学後		学費支援 その他	遠方からの入学費に別して、本学での学びが継続するために入学後の経済支援を行う		給付奨学金	年間500,000円(8月と1月の年2回に分けて支給)		大学1年次および2年次の2年間(ただし継続審査を受けなければならない)	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	四條学園大学 特待生制度	その他	受験後、該当者に別して授業料を減免するため、特別な申請は不要	特待生・成績優秀者	【対象学年】 リハビリテーション学部、看護学部 【対象入学金額】 以下の進級奨励生が対象 ①総合型選抜(基礎学力)A日程・B日程 ②一般選抜 A日程		免除・減免	各選抜の最上位者は年額100万円、2位以下の対象者は年額50万円の授業料を4年間減免。 (特待生の継続は、毎年の成績により見直しします。)	最大4年間(継続は毎年の成績によって異なる)	【総合型選抜(基礎学力)】A・B日程の成績上位者 【日程】リハビリテーション学部3名、看護学部3名 【一般選抜】リハビリテーション学部2名、看護学部2名 【一般選抜】A日程の成績上位者 【リハビリテーション学部】2名 ※成績状況により該当者がいないこともあり得る。	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	四條学園大学 奨学金制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	【リハビリテーション学部】 ①2年生以上の学業優秀者を対象に各専攻学年学生数の上位10%程度 ②年次別奨励金(10万円)を減免 【看護学部】 ①2年生以上の学業優秀者を対象に学年在籍者の上位10%程度 ②1位、2位60万円、3位以下30万円(いずれも年額)を減免不要の奨学金として支給		給付奨学金	額面により60万円もしくは30万円を対象へ支給	①1年間 ②複数学年で対象となれば程度でも	【リハビリテーション学部】 ①2年生以上の学業優秀者を対象に各専攻学年学生数の上位10%程度 【看護学部】 ①2年生以上の学業優秀者を対象に学年在籍者の上位10%程度	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有り併用可	
大阪府リハビリテーション大学	アドミッション・オフィス	特待生選抜(新入生対象)	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生選抜の合格者の中で、次の①～③の成績で入学手続を完了した者 ①総合得点85%以上の全員 ②総合得点80%以上の全員 ③総合得点75%以上の全員		免除・減免	①授業料4年分を免除 ②前期授業料1年分を免除 ③初年度授業料1年分の1/2を免除	①4年間(毎年度審査あり) ②3年間(前年度のみ)	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	特待生(在生対象)	在学中	2年生・3年生・4年生	特待生・成績優秀者	学業成績が優秀で、他の観点となる学生		給付奨学金	40万円を給付(前年度)	1年間	各学年3名程度	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	経済支援特別奨学金制度(全学年対象)	在学中	1年生～4年生	学費支援	学業等が優秀でありながら、経済的理由により修学困難な学生		給付奨学金	20万円を給付	1年間	10名程度	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	河崎学園ファミリー奨学金(新入生対象)	入学手続時		その他	28万円(入学金相当額)を給付		給付奨学金	入学金相当額の28万円を給付	1年間(前年度のみ)	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	指定校奨学金制度	学校出願時		その他	28万円(入学金相当額)を給付	本学が指定する高等専門学校から学校推薦型選抜指定校制で受験し入学した方全員に入学金相当額(28万円)を給付 ただし、高等専門学校を令和4年3月に卒業見込みの者		給付奨学金	28万円を給付(入学金相当額)を給付	1年間(前年度のみ)	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	条件有り併用可
	アドミッション・オフィス	リハビリテーション専門職学支援奨学金	学校出願時		その他	修学支援のための資金	総合型選抜Ⅱ期「基礎能力試験型」において合格し、入学した者		給付奨学金	24万円を給付	1年間(前年度のみ)	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	条件有り併用可
	アドミッション・オフィス	河崎賞	その他	前年時	特待生・成績優秀者	4年間の学業成績が優秀で、他の観点となる学生		給付奨学金	卒業時、20万円を給付	卒業時	1～3名程度	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可	
	アドミッション・オフィス	社会人選抜対象 修学支援奨学金	学校出願時		その他	修学支援のための資金	社会人選抜において合格し、入学した者全員		給付奨学金	20万円を給付	最大4年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	条件有り併用可
	アドミッション・オフィス	編入学生選抜対象 修学支援奨学金	学校出願時		その他	修学支援のための資金	編入選抜において合格し、入学した者全員		給付奨学金	20万円を給付	最大3年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	条件有り併用可
	森/宮医療大学	広報課	入学時成績優秀者学給金減免制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜前期(科目型)に合格した全学部の成績上位者15名以内で、本学に入学される方。 ※総合型選抜【学習成果重視型】公募推薦選抜合格者も出願可能です。ただし、総合型選抜【スポーツ実績重視型】指定校推薦選抜の合格者は出願できません。 ※入学金は給付の対象外です。		免除・減免	160万円 ※入学前年度の学納金のうち、授業料および教育充実費全額	入学前年度のみ	15名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可
広報課		スポーツ特別奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	総合型選抜【スポーツ実績重視型】に合格し、本学に入学される方。		給付奨学金	入学金25万円+授業料の一部30万円	原則4年間 ※毎年度末に審査あり	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
広報課		ひとり住まい準備奨学金	入学後		学費支援	①本学に在学中の1年生の学部学生 ②生計維持者と別居してひとり住まいしていることが証明できる方		給付奨学金	5万円	入学年度1回のみ	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
広報課		成績優秀者給付奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援	①学業成績(前年度末)1～3年の成績にて判定)により、給付額100万円と10万円の2段階を決定。 ②次の①～③すべてに該当する方。 ③前年度の学業成績優秀者 ④2年次以上の学部学生の方		給付奨学金	20万円もしくは10万円	採用された年度の9月末までに給付(1回) ※1年次は給付がありませんが、入学後も2年次以上の学業成績優秀者として、学業を継続することにより、在学中に最大100万円(100万円の給付を受けることが可能です)。	20万円 各学部6名以内(各学部・各学年2名以内) 10万円 各学部6名以内(各学部・各学年2名以内) ※併用授業料は各給付金額につき5名以内(各学年1名以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
広報課		キャリア活用社会人給付奨学金	在学中	2～4年	学費支援	次の①～③すべてに該当する方。 ①20歳以上で、本学入学後、一定の学業成績を上げ、大学が認める課外活動において貢献となる学生活動を行った方 ②2年次以上の学部学生の方 ※社会人経験者 ※学業成績(前年度末(1～3年)の成績にて判定)により資格審査を行う。		給付奨学金	10万円	採用された年度の9月末までに給付(1回)	3名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
広報課		森/宮医療大学教育ローン利子補給奨学金	在学中	2年生～4年生	その他	金融機関の教育ローンに係る利子負担	本学が指定する教育ローン枠等より借付を受けた方で、次の①～③すべてに該当する方。 ①前年度の成績において、GPAの値が各学部各学年上位3分の以内 ②2年次以上の学部学生の方 ③学生本人の父または母(以下を「世帯主」として)が、給付対象となる世帯主(世帯主が専業主婦の場合は世帯主が専業主婦でない限り)である方 ④世帯主が専業主婦でない場合は350万円以下である方 ⑤世帯主が専業主婦でない場合は専業主婦でない方		給付奨学金	学生納付金相当額の在学中における借入金に係る当該年度の利子相当額(千円未満四捨五入し、5万円を上限とする)	当該年度の9月末までに給付(1回)	毎年6名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
広報課		森/宮医療学園ファミリー奨学金	入学後		学費支援	森/宮医療学園関係者の親族(2親等以内)で本学に入学される方 ※本学園関係者とは、教職員、在学生、卒業生、大学院および専攻科の修了生等を含みます。		給付奨学金	10万円	入学年度の後期学納金納入後に給付(1回)	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
広報課		応急支援学納金減免制度	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	次の①～⑤すべてに該当する方。 ①保護者または保証人の死亡、重傷後遺障害、失業、破産により授業料の納入および学生生活が困難になった方 ②災害が発生し、学生本人の父または母(以下を「世帯主」として)が、給付対象となる世帯主(世帯主が専業主婦の場合は世帯主が専業主婦でない限り)である方 ③合計が41万円以下である方 ④前年度の学業成績において一定の成績をおさめ、必修条件で定められた単位を履修できている方。1年生については入学後の成績に基づき判断します。 ⑤世帯主が入学前年度の収入金額と比較し、30%以上の減少が認められる方。※1年生については、家計急変事由発生が入学後である必要があります。		免除・減免	当該年度の学納金の分の1相当額。 ※ただし、相当の事由があり、世帯金の減額が認められた場合は、当該年度の学納金の分の1相当額の範囲内で減免額を変更することができる。	在学中1回限り。ただし、家計急変後の状況等により、相当の事由があり、世帯金の減額が認められた場合は、当該年度の学納金の分の1相当額の範囲内で減免額を変更することができる。	5名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
広報課		遠隔地出身学生支援奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	次の①～④すべてに該当する方。 ①大学が指定する期間において生計維持者と別居し、ひとり住まいをしていることが証明できる方 ②家から本学までの通学距離が100km以上とし(遠隔地期間)が前年度(前年度)以上である方 ③前年度の学業成績において、GPAの値が各学部各学年上位3分の1以内の方 ④専業主婦でない場合は専業主婦でない方		給付奨学金	10万円	入学年度1回のみ	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
大阪保健医療大学		事務局	チャレンジ(特待生)入試の結果による学納金免除制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	チャレンジ(特待生)入試の結果により、4年間、2年間、初年度全額、初年度半額分の学費を減免。		免除・減免	4年間の授業料(100万円+120万円×3年間=480万円)※毎年度成績審査あり 2年間の授業料(100万円+120万円×2年間)※成績審査あり 初年度の授業料(100万円) 初年度半額の授業料(50万円)		最大、10名までと上限とする	地域の制限なし	事務局	併用可	併用可
	事務局	大阪保健医療大学授業料減免(経済的理由対象)	随時		入学金・授業料減免	留年や休学などで修業年限の4年を超えた学生には学費の一部を軽減する。		免除・減免			有資格者全員	地域の制限なし	事務局	併用可	併用可	
	事務局	大阪保健医療大学授業料減免(標準に学年数超過学生対象)	その他		通常修業年限を超えた時	入学金・授業料減免		免除・減免					地域の制限なし	事務局	併用可	併用可
大阪府立大学	入試課	大阪府立大学一般選抜特待奨学金制度	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	本学の一般選抜(前期)の合格者のうち、成績優秀者上位2名に対して与付		給付奨学金	当該年度の授業料等の22分の1相当額を付与(年額70万円)	1年間	2名	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可	
	入試課	大阪府立大学特待奨学金制度	その他	学内推薦のため、学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	2年生～4年生次対象 入学後、学業成績、人物ともに特に優秀な学生		給付奨学金	授業料(年額)の分の1相当額(給付年額70万円)	1年間	各学年2名 1名程度	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可	
	入試課	大阪府立大学奨与奨学金制度	随時		学費支援	1年生～4年生次対象 修学の意思があるにもかかわらず、主たる家計支持者の死亡または災害による家計急変その他の経済的理由により学費の支弁が困難な学生		貸与奨学金	第1種貸与奨学金 年額790,000円 第2種貸与奨学金 年額395,000円		貸与期間は原則として出願年度1年間とする。ただし、選考を経て、次年度に再貸与を受けることができる。	若干名	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
大和大学	入試広報本部	政治経済学部グローバルビジネス学部の英語資格による授業料減免制度	学校出願時		入学金・授業料減免	政治経済学部グローバルビジネス学科への入学を希望し、英語国際試験の資格・スコアを所持している者を減免対象者(特待生)として採用。授業料(各年次における授業料2分の1相当額・4分の1相当額)のいずれかを行なうものです。 (例) TOEICスコア2300(満点1500以上)・・・授業料の1/2相当額を減免 TOEICスコア2150(2級・準1級受検)・・・授業料の1/4相当額を減免		免除・減免				地域の制限なし				
道徳医療科学大学	入試事務局	大阪道徳賞奨学金	入学手続時		学費支援	合格時点で受験生または保護者が、本学または大阪道徳学園の姉妹校に在籍または卒業している方が対象。		給付奨学金	100,000円	1年次1回のみ		地域の制限なし	入試事務局	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)支拂の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
甲子園大学	入試センター	甲子園大学奨学金(入学特別措置制度選考試験)	その他	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 その他	以下の者は、入学特別措置制度選考試験(奨学金チャレンジャー)を受験することができます。 ①一般入試前期A日程で実履(対象者) ②総合入試Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ③総合入試A・D・C ④学校推薦入試Ⅰ・Ⅱ(指定校) ⑤上記入試で合格し、入試手続きを行った者 ⑥一般入試前期B日程を受験し、入学特別措置制度による進学を希望する者	給付奨学金	選考試験の成績優秀者(得点率が70%以上かつ成績上位5%以内を上廻るとする)に ①総合入試Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ②総合入試A・D・C ③学校推薦入試Ⅰ・Ⅱ(指定校) ④一般入試前期A日程を受験し、入学特別措置制度による進学を希望する者 ⑤入学金の全額に相当する額	1回限り	入学特別措置選考試験として受けてその成績が上位5%以内の者	地域の制限なし	入試センター事務局 および 総務課	併用可	併用不可	
	入試センター	甲子園大学奨学金(大学奨学金)	在学中	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2年～4年生の学生対象 ① 第1種 授業料年額全額に相当する額を給付 ② 第2種 授業料年額半額に相当する額を給付 第1種大学奨学金の支給要件 ①大学奨学金の支給時に第2学年以上であること。ただし、休学以外の理由で在学期間が4年を超えていることが確実である者は大学奨学金の支給対象としない。 ② 前学年度における成績が、所屬学部において成績上位5%以内であること。 ③ 前学年度における出席日数が、その学年度に当該学生が履修した履修科目において授業日数の3分の2以上であること。 ④ 学内行事ほかに関連的に参加するなど、本学に対し顕著な貢献をしたと認められること。 第2種大学奨学金の支給要件 ①大学奨学金の支給時に第2学年以上であること。ただし、休学以外の理由で在学期間が4年を超えていることが確実である者は大学奨学金の支給対象としない。 ② 前学年度における成績が、所屬学部において成績上位10%以内であること。 ③ 前学年度における出席日数が、その学年度に当該学生が履修した履修科目において授業日数の3分の2以上であること。 ④ 学内行事ほかに関連的に参加するなど、本学に対し顕著な貢献をしたと認められること。	給付奨学金	① 第1種 授業料年額全額に相当する金額 ② 第2種 授業料年額半額に相当する金額	大学奨学金の支給期間は、当該学年度の1年限とする。	(1) 第1種 所屬学部において成績上位5%以内 第2種 所屬学部において成績上位10%以内	地域の制限なし	総務課	併用可	併用不可	
	入試センター	ファミリー入学制度	学校出願時	入学金・授業料減免 その他	入学金半額相当額を給付	対象者 -専属出席者 -父母・兄弟姉妹(または本人が甲子園学院の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・大学院のいずれかを卒業(または卒業・修了)、または在学中)の者	給付奨学金	入学金半額相当額	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試センター事務局	併用可	併用不可
	入試センター	遠隔地支援制度	入学後	その他	遠隔地出身(自宅から通学に公共交通機関を利用して2時間以上かかる者)で、入学時に下宿している新入生を対象	遠隔地出身(自宅から通学に公共交通機関を利用して2時間以上かかる者)で、入学時に下宿している新入生を対象	給付奨学金	10万円	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
甲南大学	学生生活支援センター	甲南学園奨学金	在学中	2年生以上	学費支援	原則として2年以上に在学する学部学生であって、学業、人物ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が困難と認められるもの。	給付奨学金	月額25,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠19名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学父母の会奨学金	在学中	2年以上	学費支援	2年以上に在学する学部学生であって、人物及び学業ともに優秀かつ健康で、学費の援助が必要であると認められるもの。	給付奨学金	月額40,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠7名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学同窓会甲南会奨学金	在学中	2年以上	学費支援	2年以上に在学する学部学生であって、人物が優秀かつ健康で、次の条件を満たす学費の援助を受けるにふさわしいと認められるもの。 a) 学業優秀者奨学金 学業成績に優れたもの b) 課外活動優秀者奨学金 課外活動において顕著な業績を収めたもの	給付奨学金	月額20,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠6名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学平反奨学金	在学中	学2年次以上	学費支援	原則として2年以上に在学する学部学生であって、学業、人物ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が困難と認められるもの。	給付奨学金	月額20,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠2名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学八木橋二〇二〇がみらをすめ奨学金	在学中	2年以上	学費支援	2年以上に在学する学部学生であって、学業及び人物ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が難しく困難と認められるもの。	給付奨学金	月額45,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠9名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学旧制甲南高等学校奨学金	在学中	3年以上	学費支援	3年以上に在学する学部学生であって、学業、人物が優秀かつ健康で、学費の支弁が難しく困難と認められるもの。	給付奨学金	月額20,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠1名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	一般社団法人甲南大学同窓会甲南会チャレンジ基金(通称:同窓会チャレンジ基金)	在学中	2年以上	研修支援制度 研究支援 留学費用支援制度 課外活動支援制度	2年以上に在学する甲南大学同窓会の学生会員で、不断の努力によって一層の能力向上を目指し、次のいずれかの条件を満たす者。 ① 甲南大学の社会活動活動中心に行う者 ② 甲南大学の課外活動活動中心に行う者 ③ 学内外を問わず、社会活動活動に貢献できる者 ④ 自らの理想とする知識や技術を身に付け、各種大会やイベントにおいて活躍する者 ⑤ 顕著な研究テーマを持ち甲南大学大学院に進学を予定する者 ⑥ 起業を目指す者	給付奨学金	年額50万円を上廻るとし給付	採用年度のみ	上限6名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南100周年記念栄誉特待生「甲南平生労働奨励金」	在学中	3年以上	特待生・成績優秀者	3年以上に人物が特に優れ在学中の活動が学園創立者である甲生軌三部の精神にかなう者。	給付奨学金	年額100万円	採用年度のみ	上限6名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南100周年記念栄誉特待生「文化・芸術部門奨励金」	在学中	2年以上	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	2年以上で、①在学中に全国規模の大会等に出席した者、若しくは文化芸術活動の発展に寄与し、活動が①と同等と評価された者。	給付奨学金	年額50万円	採用年度のみ	5名(文化・芸術部門、スポーツ部門を合計)	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南100周年記念栄誉特待生「スポーツ部門奨励金」	その他	2年以上	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	2年以上で在学中に日本体育協会加盟団体に所属する学生選抜等が主催する学生日本一を決める大会以上の大会に出席した者、又は、同選抜等の代表選手に選出された者。	給付奨学金	年額50万円	採用年度のみ	5名(文化・芸術部門、スポーツ部門を合計)	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南100周年記念栄誉特待生「留学期間奨励金」	在学中	2年以上	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	①②③2年以上で交換留学、語学プラス交換留学・奨励留学期として推薦された者。 ④ダブルディグリープログラムにより協定校に留学し、留学期間が1年以上経過している者。	給付奨学金	①交換留学(欧米圏・オセアニア圏)年額60万円 ②交換留学(アジア圏)年額30万円 ③語学プラス交換留学・奨励留学期 年額30万円 ④ダブルディグリープログラム、2名	採用年度のみ	3交換留学(欧米圏・オセアニア圏)4名 2交換留学(アジア圏)2名 3語学プラス交換留学・奨励留学期 7名 4ダブルディグリープログラム、2名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南100周年記念栄誉特待生「学部・学理優秀部門奨励金」	在学中	3年次	特待生・成績優秀者	各学部が定める基準を満たす3年次生。	給付奨学金	年額60万円	採用年度のみ	26名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南大学中川院奨学金	在学中	2年以上	学費支援	2年以上に在学する学部学生であって、人物及び学業ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が困難と認められるもの。	給付奨学金	月額25,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠1名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学瀬川奨学金	在学中	学2年次以上	学費支援	2年以上に在学する学部学生で、学業、人物ともに優秀かつ健康で、学費の支弁が難しく困難と認められるもの。	給付奨学金	月額30,000円	採用年度から最短期間	採用年度によって変動あり 2022年度採用(推薦)枠2名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
	学生生活支援センター	甲南大学立野崎三奨学金	学校出願時		学費支援	(1) 甲南大学公募推薦入学試験(教科科目)を受験し、入学を希望する者 (2) 出願時において、出願費のまたは家族支援者の住居費補助の任意が自宅通学圏以遠の地域にあること。 (3) または家族支援者の収入金額は、原則として以下のとおりとする。 ①給与所得以外(課税後)の所得金額:350万円以下 ②給与所得以外(確定申告書等の所得金額):350万円以下 (複数種類の所得がある場合は、合算して総合的に判断します。)	給付奨学金	年額50万円	入学年度のみ	4名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可
	学生生活支援センター	甲南大学「わがくままじにつむぐ」甲南の奨励金	学校出願時		学費支援	(1) 一般入試試験を受験し、入学を希望する者。 (2) 出願時において、出願費のまたは家族支援者の住居費補助の任意が自宅通学圏以遠の地域にあること。 (3) 日本国籍を有する者、又は在住者、卒業生、日本人(在住者)の家族等。 (4) 日本国内の高等学校又は中等教育学校(通信制を除く)の出身者。 (5) 上記の学校を当該年度卒業見込みの又は既卒業(年以内)。 (6) 上記の学校の全体の評定平均値が「3以上」である者。 (7) または家族支援者の年収が以下の者。 ①給与所得者(課税後)の所得金額:600万円以下 ②給与所得者以外(確定申告書等の所得金額):350万円以下	給付奨学金	-文系学部 年額30万円 -理系学部 年額42万円	入学後4年間	100名	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可
学生生活支援センター	甲南大学フロンティアサイエンス学部・研究科田沼奨学金	在学中	学年は問わない。	学費支援	次の各号のすべてに該当する者。 (1)新型コロナウイルス感染症の流行等、深刻な社会情勢の変化により経済的理由で学業の継続が困難となった者 (2) 経済的支援を受けることで学業の定率的継続が可能である者	給付奨学金	学部生は年額500,000円、大学院生は年額250,000円	当該年度限り	原則として学部生4名以内、大学院生2名以内	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可	
学生生活支援センター	甲南大学大学院「わがくままじにつむぐ」甲南の奨励金	在学中	大学院入学期(学部4年次)	学費支援	次の各号のすべてに該当する者。 (1) 甲南大学大学院修士課程に進学を希望する年次の学部学生 (2) 経済的支援を受けることで学業の定率的継続が可能である者	給付奨学金	年額360,000円	大学院入学年度から在学期間の2年間	原則として6名以内	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用不可	併用不可	
学生生活支援センター	甲南大学大学院立野崎三奨学金	在学中	大学院入学期(学部4年次)	学費支援	奨学生に申請できる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。 (1) 甲南大学大学院への進学を希望する甲南大学の学部卒業生 (2) 学業成績が特に優秀な者 (3) 経済的支援を受けることで学業の定率的継続が可能である者	給付奨学金	奨学金の給付額は、年額500,000円とする。	奨学金の給付期間は、大学院入学年度から在学期間の2年間とする。	奨学生の募集人員は、原則として1名以内とする。	地域の制限なし	学生生活支援センター奨学金係	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
神戸学院大学	学生支援センター	神戸学院大学支給奨学金	在学中	1~4(6)年生	学費支援	経済的理由により修学困難と認められる者 -日本学生支援機構や他各団体の貸付奨学金を貸付しており、貸付月額が4万円以上であること -日本学生支援機構第二種奨学金の学力基準を満たしており、卒業見込みがある者 -神戸学院大学の定める基準(後述)の収入から特別控除を引いた額が500万円以下の者 -他の給付奨学金を受給していないこと	給付奨学金	年額 360,000円	支給期間は当該年度限り	100名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KPC)	併用不可	併用不可	
	学生支援センター	神戸学院大学同窓会給付奨学金	在学中	1~3年生	課外活動支援制度		給付奨学金	月額 30,000円(年額 360,000円)※変更の可能性あり	支給期間は当該年度限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ	併用可	併用可	
	学生支援センター	神戸学院大学同窓会災害等奨学金	在学中	1~4(6)年生	被災者資金支援		給付奨学金	最高額 300,000円	原則として在学中1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	学生支援センター	神戸学院大学 交換・派遣留学奨学金	在学中	1~4(6)年生	留学費用支援制度		給付奨学金	①第1種 派遣留学奨学金 -TOEFL 80点以上 -IELTS 5.5以上 -韓国語能力試験3級以上 -ハンガリー能力検定2級以上 -中国語検定4級以上 HSK4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ②第2種 派遣留学奨学金 -TOEFL 80点以上 -IELTS 5.5以上 -韓国語能力試験2級以上 -ハンガリー能力検定2級以上 -中国語検定4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ③第3種 派遣留学奨学金 -TOEFL 80点以上 -IELTS 5.5以上 -韓国語能力試験3級以上 -ハンガリー能力検定2級以上 -中国語検定4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ④第4種 派遣留学奨学金 -TOEFL 80点以上 -IELTS 5.5以上 -韓国語能力試験2級以上 -ハンガリー能力検定2級以上 -中国語検定4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。	交換留学1種・年額60万(留学期間1学期の場合30万) 交換留学2種・年額30万(留学期間1学期の場合15万) 派遣留学1種・派遣先大学の授業料相当額(上限:本学学費)+60万(留学期間1学期の場合30万) 派遣留学2種・派遣先大学の授業料相当額(上限:本学学費)+30万(留学期間1学期の場合15万) 派遣留学3種・派遣先大学の授業料相当額	1年間または半年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	条件有り併用可	条件有り併用可
	学生支援センター	大学主催短期海外研修参加費補助金	在学中	1~4(6)年生	留学費用支援制度		給付奨学金	A地域(欧州・北米・オセアニア地域を中心とし、B地域(ASEANおよびアジア諸国):15万円	研修期間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	併用可	併用可	
	学生支援センター	特待生来賓サポート制度	入学手続時		特待生・成績優秀者		免除・減免	入学年度の学費	支給期間は当該年度限り	200名	地域の制限なし	入学・高大接続センター 入学・高大接続グループ	併用可	併用可	
	学生支援センター	溝口奨励金<学部・課外活動等分野>	在学中	2~4(6)年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		給付奨学金	①優待奨励金 700,000円 ②優秀奨励金 500,000円 ③奨励金 300,000円	支給期間は当該年度限り			地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KPC)	併用可	併用可
	学生支援センター	溝口特別奨励金	その他		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		給付奨学金	①特別奨励生A:当該年度の学費相当額。ただし、休学期間中は休学在籍料相当額として在学期間中、ただし、1年ごとで審査を行い継続の可否を決定。 ②特別奨励生B:当該年度の学費相当額の2分の1。ただし、休学期間中は休学在籍料相当額の2分の1。	原則として在学期間中、ただし、1年ごとで審査を行い継続の可否を決定。	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KPC)	併用可	併用可	
	学生支援センター	溝口奨励金<学業分野>	在学中	4年生(学部は6年生)	特待生・成績優秀者		給付奨学金	400,000円	支給期間は当該年度限り			地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KPC)	併用可	併用可
	学生支援センター	神戸学院大学 災害見舞金	在学中	1~4(6)年生	被災者資金支援		給付奨学金	100,000円から半期学費相当額	同一の災害につき1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
学生支援センター	学費延納制度	在学中	学部生 1~4(6)年生 大学院生 1~2(3)年生	その他		学費納入期限延長制度		学費相当額を限度	半期毎		人数制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	条件有り併用可	併用可	
学生支援センター	神戸学院大学奨励金	在学中	2~4(6)年生	特待生・成績優秀者			法学部:250,000円 経済学部:270,000円 経営学部【(英文系)経営・会計専攻:270,000円、データサイエンス専攻:350,000円】 1~4年生:270,000円 人文系・心理学部:学費相当額の半分(1万円未満切捨て) 現代社会学部:学費相当額の半分(1万円未満切捨て) 総合リハビリテーション学部:学費相当額の3分の1~6分の1程度(1万円未満切捨て) 薬学部:学費相当額の6分の1程度(1万円未満切捨て)	支給期間は当該年度限り			地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KPC)	併用可	併用可	
神戸芸術工科大学	広聴入試課	谷岡奨学金	在学中	1年生~4年生	課外活動支援制度		給付奨学金	正賞:30万円、特別奨励賞:15万円、奨励賞:10万円、特別賞:5万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	併用可	併用可	
	広聴入試課	神戸芸術工科大学教育後援会奨学金	その他	前期5月ごろ、後期10月ごろ ※1年生は、編転入生は後期から応募可	用途を定めない経済的支援		給付奨学金	年額12万円(上限) 期間:1年(10万円ずつ給付) 後期採用者:6万円	分割支給(2回)	前期・後期 各12名	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	併用不可	併用可	
	広聴入試課	神戸芸術工科大学給付奨学金	在学中	1年生~4年生	用途を定めない経済的支援		給付奨学金	年間授業料の1/2相当額を上限	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	条件有り併用可	併用可	
	広聴入試課	学校法人同窓会 神戸芸術工科大学 奨学融資制度	入学後	1年生~4年生対象	学費支援		給付奨学金	融資を受けた際に生じた利息を在学中のみ給付	複数年(最長修学年限中)	年間10名程度(人数制限なし)	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	併用可	併用可	
	広聴入試課	神戸芸術工科大学私費外国人留学生奨学金	その他		断入生のみ入学年度の9月末まで、それ以外は前年度の3月末まで	用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度		給付奨学金	学部生:年額30万円 大学院生:年額40万円 ※詳細は募集要項を確認ください	1年間	20名(学部・大学院合計)	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	条件有り併用可	条件有り併用可
	広聴入試課	神戸芸術工科大学教育後援会私費外国人留学生奨学金	入学後		その他		給付奨学金	年額12万円	1年間	8名	地域の制限なし	学生生活・国際交流課	併用不可	併用不可	
	広聴入試課	新入生特待生	学校入試時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅳ期<科目選択型>、一般選抜Ⅰ期<科目選択型>、一般選抜Ⅱ期<大学入学共通テスト利用型>の合格者のうち成績優秀者が対象 ※本学の新入生特待生制度とスカラシップ試験制度との併用は不可。	50万円(入学初年度のみ)	1年間	若干名	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	指定資格等取得特待生	その他	出願時から入事前(3月)まで	特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅳ期/V期/V1期(資格取得型)の合格者のうち、本学が指定する資格・級およびコンテスト等の種別(賞位を2位以上取得した者)	25万円(入学初年度のみ)	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	ジュニアマイスターゴールド特待生	その他	出願時から入事前(3月)まで	特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅳ期/V期/V1期(資格取得型)の合格者のうち、全国工業高校校長ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターゴールドの認定を受けた者 ※本奨学金制度について、ブロンズ、シルバー、ゴールドと段階を経て認定された者が両方給付されるのは不可。	100万円(入学初年度のみ)	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	ジュニアマイスターシルバー特待生	その他	出願時から入事前(3月)まで	特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅳ期/V期/V1期(資格取得型)の合格者のうち、全国工業高校校長ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターシルバーの認定を受けた者 ※本奨学金制度について、ブロンズ、シルバー、ゴールドと段階を経て認定された者が両方給付されるのは不可。	50万円(入学初年度のみ)	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	ジュニアマイスターブロンズ特待生	その他	出願時から入事前(3月)まで	特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅳ期/V期/V1期(資格取得型)の合格者のうち、全国工業高校校長ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターブロンズの認定を受けた者 ※本奨学金制度について、ブロンズ、シルバー、ゴールドと段階を経て認定された者が両方給付されるのは不可。	25万円(入学初年度のみ)	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	スカラシップ試験奨学金	その他		特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生 総合型選抜Ⅰ期<体験型>、総合型選抜Ⅱ期<面談型>、総合型選抜Ⅲ期<作品制作型>、総合型選抜Ⅳ期<科目選択型>、学校推薦型選抜指定校推薦/系列校推薦の入学手続完了者で、スカラシップ試験での成績上位者 ※本学の新入生特待生制度とスカラシップ試験制度との併用は不可。	50万円(入学初年度のみ)	1年間	20名	地域の制限なし	広聴入試課	併用可	併用可
	広聴入試課	入学金返還制度	入学後		その他		入学金返還制度	給付奨学金 その他	20万円(入学金全額返還)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	事業推進課	併用可	併用可
	広聴入試課	在学生特待生	その他		特待生・成績優秀者		給付奨学金	2年~4年生対象 2年次から4年次の在学を対象に、各学部・各学年ごとの前年度成績優秀者。	年額10万円	1年間		地域の制限なし	教務課	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
神戸女学院大学	学生生活支援センター	神戸女学院大学入学試験成績優秀者給与奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	国際学部・文学部・心理学部・生命環境学部・音楽学部・学校推薦型選抜(公募制)A日程または一般選抜前期A日程の選考において優秀な成績を挙げた入学者	給付奨学金	入学会及び授業料の半額相当額	標準修業年限(4年)	非公開	地域制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学一般奨与奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	向学心に富む学生で、家計支持者が、失業・障害・喪失・死亡、または火災・風水害などにより家計急変が生じ、緊急に奨学金が必要となった者。	貸付奨学金	国際学部・文学部・心理学部・人間科学部・生命環境学部 70万円または40万円 音楽学部90万円または50万円	1年間	若干名	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学KCH推薦入学選考特別給与奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	KCH推薦入学選考に合格し入学する者で、神戸女学院高等学部での成績・人物が特に優秀であって神戸女学院中高部長のKCH特別給与奨学金受給候補者推薦を受けた者	給付奨学金	授業料相当額	標準修業年限(4年)	2名	地域制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院一般の奨与奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	学内もしくは学外の奨学金を受領しており、突発的な経済的事情により学費の納入が困難な人物・学力ともに優秀な学生	給付奨学金	授業料の3分の1または2分の1相当額 ※別に必要と認められた場合は授業料相当額(音楽学部生は授業料の3分の1相当額)	申請のあった学年度末までの半年間または1年間	人数制限なし	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学HAG給付奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	学費支援	日本学生支援機構特種奨学金を授与されている、または高等教育の修学支援制度の対象者として認定されている学生で、それらをもつていて学費の納入が困難な学生(学費貸付)は対象外とする。	給付奨学金	授業料相当額	申請のあった学期より在学期間4年まで	若干名	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	那須結城特別奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	音楽学部生で経済的困難が高く、学力、人物ともに選抜と認められる者	給付奨学金	30万円	1年間	2名	地域制限なし	音楽学部事務室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	森本敦子記念奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	音楽学部音楽科音楽表現専攻(フルトン)専修とする在学生で学力、人物ともに選抜と認められる者	給付奨学金	授業料の半額相当額	申請のあった学期より標準修業年限(4年)年度末まで	若干名	地域制限なし	音楽学部事務室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	特別奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	学費支援	日本基督教団の教会に在籍する女子である学部生	給付奨学金	授業料の3分の1相当額	標準修業年限(4年)	人数制限なし	地域制限なし	チャプレン室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学災害救助法適用地域出身者対象授業料免除制度	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	被災者資金支援	災害救助法の適用を受けた地域で被災した受給者で、本学の一般選抜前期A日程または前期B日程の選考において優秀な成績を挙げた入学者 但し、本制度を適用する災害は神戸女学院が定めるものとします。	免除・減免	授業料相当額	標準修業年限(4年)	同一年度入学者の内5名以内	地域制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学授業料減免	在学中	1年生～4年生	被災者資金支援	自然災害により被災し、学費支持者が死亡、または家庭の全壊・半壊(修理不可能で取り壊すもの)・焼失などにより生活基盤を失い、学業の継続が困難となった学生	免除・減免	授業料の全額若しくは半額	標準修業年限(4年)	人数制限なし	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	神戸女学院大学給与奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	前年度成績が優秀かつ経済的に困難の高い本年度以上の学生で、他に給付(給付)型奨学金の給与を受けていない者。	給付奨学金	年額36万円	1年間	30名	地域制限なし	学生生活支援センター	併用不可	併用不可	
	学生生活支援センター	めぐみ会 卒業支援奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	突発的な家計の事情により進学等を余儀なくされるおそれのある者	給付奨学金	該当者が当該年度において必要としている学納金額:上限100万円 同一人に対し1回	同一人に対し1回限り	若干名	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	めぐみ会 修学支援奨学金	在学中	2年生	学費支援	経済的支援を必要としている2年生で、優秀な学業成績を修めている者	給付奨学金	月額4万円	2年生～4年生までの間	3名(1学年1名)	地域制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	めぐみ会 海外留学奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の認定留学制度を利用し海外留学をする者	給付奨学金	月額3万円	本学の認定留学期間中の1年間を限度	2名	地域制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
学生生活支援センター	神戸女学院100周年記念共通テストスカラシップ制度	学校出願時			特待生・成績優秀者	大学入学共通テスト利用入試(スカラシップ5科目)受験者のうち、基準得点率を上回った入学者	免除・減免	1、2年次の授業料及び教育充実費半額相当額(3年次以降成績要件を満たすことで最大4年間)	1、2年次の2年間 3年次以降も成績要件を満たすことで最大4年間	人数制限なし	地域制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
神戸女子大学	学生課	神女優秀者応援奨学金優秀者表彰型	その他	入学後、大学が推薦する。学生の申請は不可。	特待生・成績優秀者	2年～4年生 全学生の範となる学業優秀かつ品行方正な者 ※大学が推薦する。学生の申請は不可。	給付奨学金	10万円	当該年度前期	該当学年の各学科1名	地域制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	学生課	神女優秀者応援奨学金奨学生応援型	その他	前期	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	全学部2～4年生 外部賞有型奨学金等を受給する者、学業及び学生生活で優秀な成果を上げるとともに人物として優れた者であり、かつ経済支援を要する者	給付奨学金	30万円または50万円	当該年度後期	約20名(大・短大合計)	地域制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	学生課	神女経済支援奨学金家計急変型	在学中	1年生～4年生の前期または後期	入学会・授業料減免	"全学部1～4年生のうち、修業年限で卒業見込みの者" -在学中に生じた主たる生計維持者の家計急変(失業、死亡等)により、学業継続が困難になった者 -家計急変が日本学生支援機構特種奨学金(第二種)の基準の範囲内 -給付(家計急変型)、貸付奨学金を受給している者、または申請予定の者	給付奨学金	当該年度の授業料、教育・施設充実費の半額	-給付が決定した年度内 -在学中1回限り	約20名	地域制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	学生課	神女経済支援奨学金災害支援型	在学中	1年生～4年生の前期または後期	被災者資金支援	"全学部1～4年生のうち、修業年限で卒業見込みの者" -在学中に生計維持者又は学生本人が災害等の被災者となった者 -罹災証明書等により半額以上の被害が認定されている者、またはそれに準ずることが確認できる者	給付奨学金	当該年度の授業料、教育・施設充実費の半額	-給付が決定した年度内 -在学中1回限り	人数制限なし	地域制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	学生課	神戸女子大学教育後援会育英奨学生奨学金	在学中	前期:4月 後期:9月	学費支援	在学中に学業支障に不安が生じ、学費の支弁が難しく困難になり、修学の熱意があるにもかかわらず、進学または休学を余儀なくされるような学生に対し、学業の継続を援助する。 前期:2年生以上 後期:1～4年生 ※保証人が教育後援会会員であること ※最難関年度で卒業が可能となる者 ※日本学生支援機構奨学金の応募採用基準を原則満たしている者(緊急を要する場合はこの限りでない) ※採用は在学中に1回のみ	給付奨学金	20万円	前期は6月、後期は11月	10名	地域制限なし	教育後援会事務局	併用不可	条件有り併用可	
	学生課	神戸女子大学教育後援会災害見舞金	在学中	前期または後期	被災者資金支援	在学中に本会会員およびその配偶者、または学生が災害により人的、経済的被害を受けた場合に支給する。 ※全学部1～4年生が対象 ※保証人が教育後援会会員であること ※罹災証明書または診断書により認定されていること ※入学前の発生には適用不可 ※教育後援会育英奨学金との併用不可	給付奨学金	5万円～10万円 被害の種類および程度により支給額を決定	在学中随時 但し、同一会員への同一の災害では1回限り	人数制限なし	地域制限なし	教育後援会事務局	併用可	条件有り併用可	
	学生課	神戸女子大学同窓会青山奨学金	その他	7月1日～31日	学費支援	卒業し5年経費がたつにもかかわらず、経済的理由により就学困難な者。 ※全学部4年生に在籍していること ※卒業の志込みが明らかであると判断できること ※経済的理由により修学困難となった者であること ※神女経済支援奨学金との併用不可	給付奨学金	4回生後期授業料、教育・施設充実費相当額	4回生後期	2名程度(年度により異なる)	地域制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
神戸親和大学	奨学金担当	授業料免除	入学後	入学会・授業料減免	入学会・授業料減免	経済的理由などにより就学困難な者で学業・人物ともに優秀な者	免除・減免	①授業料相当額(但し1年次生はその半額)	①1年間	①年間5名	地域制限なし	奨学金担当	併用不可	条件有り併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の具体的内容」	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
園田学園大学	学生支援部学生課	奨励奨学金	在学中	※2年次以上(2年生～4年生)	特待生・成績優秀者		給付奨学金	奨励金5万円		年間を通じて各学科・学年ごと1名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
	学生支援部学生課	入試成績優秀者特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象の入学試験を優秀な成績で合格した上位者へは、4年間の授業料半額免除の制度があります。 【総合看護学科・食マネジメント学科・こども学科・ビジネス学科】 ◆特選内容 授業料の半額免除 ◆適用期間 4年間(継続審査あり) ◆対象入試 基礎学力入試、学校推薦入試(前・中・後期) 一般入試A ◆適用条件 得点率70%以上 ◆適用人数 各学科20名 【人間看護学科】 ◆特選内容 授業料の半額免除 ◆適用期間 4年間(継続審査あり) ◆対象入試 基礎学力入試、学校推薦入試(前・中期) 一般入試A ◆適用条件 得点率70%以上 ◆適用人数 基礎学力入試(上位3名) 学校推薦入試(前期)(上位4名) 学校推薦入試(中期)(上位名) 一般入試A(上位1名)	免除・減免	授業料の半額免除			地域の制限なし	入試課	併用不可	併用不可
	学生支援部学生課	学費支援支給奨学金	在学中	1年生～4年生 ※1年生は後期から申請可	学費支援	対象学年:1年生～4年生 ※1年生は後期から申請可 学部:全学部 学力及び家庭が極めて優秀な学生で、経済的に進学が困難で学費の負担が必要な学生に対して、学費(授業料および教育充実費の合計額)の2分の1を支給し、修学を支援するものです(返還の必要はありません)。	給付奨学金	学費(授業料および教育充実費の合計額)の2分の1を支給			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	育友会学費援助金	在学中		用途を定めない経済的支援	対象学年:全学年 学部:全学部 学力及び家庭が優秀で学費の援助が必要な学生に対して、1人1回10万円を上限に「育友会」の一部を援助する。育友会(保護者会)組織が独自に行う学費援助制度です。「学費支援奨励奨学金または「緊急支援奨励奨学金」にて採用された学生は、さらにこれに上乗せする学費の援助、さらなる援助が必要であると育友会が判断した学生に対して支給されます。	給付奨学金	1人1回10万円			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	卒業生子女学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 本学を卒業した者が本学に入学するとき、入学金を全額免除	免除・減免	入学金を全額免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	(在学中)兄弟姉妹・親子学生学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 兄弟姉妹・親子が同時に本学に在学中の期間中、最後に入学した者の学費(授業料と教育充実費)の2分の1を免除します。	免除・減免	最後に入学した者の学費(授業料および教育充実費)の2分の1を免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	卒業生兄弟姉妹学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 本学を卒業した者の兄弟姉妹が本学に入学するとき、入学金を全額免除します。	免除・減免	入学金を全額免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	卒業生孫学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 本学を卒業した者の孫が本学に入学するとき、入学金の2分の1を免除します。	免除・減免	入学金の2分の1を免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	社会人学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 社会人入試で合格された方は、修業年限中の授業料の2分の1を免除します。	免除・減免	修業年限中の授業料の2分の1を免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	私費外国人留学生学費減免	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:全学年 学部:全学部 私費外国人留学生として入学された方は、授業料の2分の1を免除します	免除・減免	私費外国人留学生として入学された方は、授業料の2分の1を免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	経緯種メジャー面談	学校出願時		入学金・授業料減免	オープンキャンパスで対象学科の教員との面談を行い、経緯種と可能性を測ります。面談にて「経緯種メジャー面談認定証」を授与され、AO経緯種入試1・2期で受験した合格者全員、入学金を全額免除します。 ◆特選内容 入学金全額免除 ◆対象入試 AO経緯種入試1期・2期 ◆対象学科 食マネジメント学科、こども学科、ビジネス学科 ◆適用人数 経緯種メジャー面談認定証を授与されたAO経緯種入試の合格者全員	免除・減免	入学金全額免除			地域の制限なし		併用不可	併用不可
	学生支援部学生課	スポーツキャリア型入学金免除	学校出願時		入学金・授業料減免	大学ではスポーツをリタイアする予定で、高校までのスポーツの実績を元に、大学でのスポーツに関する分野の学びにチャレンジする者を支援いたします。 ◆特選内容 入学金全額免除 ◆対象入試 AO経緯種入試1期「スポーツキャリア型」 ◆対象学科 食マネジメント学科、こども学科、ビジネス学科 ◆適用人数 AO経緯種入試1期「スポーツキャリア型」の合格者全員 ※その他本学の学費減免制度と重複して減免はされませんので、減免額が大きい方が適用されます。	免除・減免	入学金全額免除			地域の制限なし		併用不可	併用不可
	学生支援部学生課	グローバル特待生制度	学校出願時		留学期間支援制度	AO経緯種入試1期「グローバル型」の合格者は、ニューゼalandにある「そのクワイースターキャンパス(SOC)」を拠点とした短期留学参加が全額免除になります。 ◆特選内容 ニューゼaland(SOC)への短期留学(SOCセクター)の参加費全額免除(1回のみ) ◆適用期間:1年次より最大4年間 ◆対象入試:AO経緯種入試1期「グローバル型」 ◆対象学科:総合看護学科、食マネジメント学科、こども学科、ビジネス学科 ◆適用人数:AO経緯種入試1期「グローバル型」の合格者全員	免除・減免				地域の制限なし			
	学生支援部学生課	商業系学校推薦入試対象 奨学生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	商業系学校推薦入試を合格した者に対して、入学金を免除し、積極的な学習を奨励します。 ◆特選内容 入学金全額免除 ◆対象入試 商業系学校推薦入試 ◆対象学科 食マネジメント学科、こども学科、ビジネス学科 ◆適用人数 商業系学校推薦入試の合格者全員 ※この本学の学費減免制度と重複して減免はされませんので、減免額が大きい方が適用されます。 【奨励奨励奨励】「経緯種奨励奨励」の3倍以上を奨励している者 【日本商工会議所の「簿記検定試験」の3級以上を取得している者 ※「簿記検定試験」における「簿記1級」と「簿記2級」はどちらかのみが「級」で2級以上とみなします。	免除・減免	入学金全額免除			地域の制限なし			
	学生支援部学生課	スペシャリスト特待生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	分野を問わず国際的かつスキルを有する者に対して、入学後の活動継続を条件に、サポート費用として最大4年間の授業料を全額免除とします。AO経緯種入試1期「スペシャリスト型」が対象です。 ◆特選内容 授業料の全額免除 ◆適用期間:1年次より最大4年間(毎年、継続審査あり) ◆対象入試:AO経緯種入試1期「スペシャリスト型」 ◆対象学科:総合看護学科、食マネジメント学科、こども学科、ビジネス学科 ◆適用人数:1名(選考の上、決定) ◆適用条件:1～3のすべての条件を満たす者 1.下記①～③いずれかの条件を有する者。 ①世界大会の日本代表 ②全国規模の大会で優勝 ③全国規模の大会で準優勝 ④新鋭大会、地方統、専門誌等で年間掲載回数以上 ⑤主要SNSメディアのフォロワー数10万人 ※選考の際、同一条件の場合は1より優先とする。 上記項目に複数の該当者がいる場合は当該人口または該当メディアの掲載回数が多い者が優先する。 2.本学の広報活動への協力要請があった場合には、最大限協力を行うこと。 3.活動活動継続中に掲載回数が増える場合は、本学の広報活動は無料とする。こと。 ◆継続条件:年度末に継続審査を行う。 下記に該当した場合は、継続審査を行う場合がある。 1.以下の基準に該当した場合 ・進学・修学の処分を受けた場合 ・成績低下が原因で卒業の2年以上の場合	免除・減免	授業料の全額免除			地域の制限なし			

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	一般奨学生制度	在学中	各学部所属する2年次生から4年次生	学習支援		各学部所属する2年次生から4年次生で、学業成績・人物ともに優れ、かつ経済的支援を必要とする者。 ※通常に本制度に採用された者でも再応募が可能です。	給付奨学金	年間20万円	1年間	50名(2学部)	地域の制限なし	東京事務部学務課/梅田事務部学務課	併用可	併用可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	入試特待生制度(看護)	その他	入試選考結果より大学が選出するため申請は不要。	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免		対象者：看護学部一般選抜【第1期】受験者 <特待生A 条件> 看護学部一般選抜【第1期】で入試成績が1位・2位の者で入学意思のある者。 <特待生B 条件> 看護学部一般選抜【第1期】で入試成績が3～8位の者で入学意思のある者。 ※特待生は大学が選出します。申し込みの必要はありません。 ※入学費30万円は、入学手続時に必要となります。 ※宝塚大学奨学金制度との併用はできません。	免除・減免	<特待生A> 1,600,000円 <特待生B> 800,000円	<特待生A> 4年間(継続審査あり) <特待生B> 1年間(1年次半期学費)	<特待生A> 2名 <特待生B> 6名	地域の制限なし	梅田事務部学務課	併用可	併用可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	学部特待生制度	在学中	看護学部2～4年次生	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免		条件：看護学部2～4年次生の前年度学内成績において、人物・学業とも優秀な者。(入試特待生Aを除く)	免除・減免	800,000円	1年間(採用年度半期学費)	各年次6名	地域の制限なし	梅田事務部学務課	併用可	併用可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	スカラシップチャレンジ制度(入学前予約型奨学金制度)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免 その他	【対象者】 東京メディア芸術学部総合選抜1期に出願し、調査書の評定平均が9.5以上の者(留學生は対象外)。 ※経済的支援を必要とする。優秀な成績で合格し、着。入試特待生制度と宝塚大学奨学金制度との併用はできません。	免除・減免	80万円もしくは45万円	4年間 ※入学後毎年継続の可否を審査します。	80万円(2名以内) 45万円(4名以内)		地域の制限なし	東京事務部学務課	併用可	併用不可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	入試特待生制度(東京メディア芸術)	入学後		特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免 その他	<入試特待生Ⅰ> 対象者：一般選抜1期の出願者(留學生は対象外)。 採用要件：一般選抜1期で入試成績が上位2名の者で入学意思のある者。 <入試特待生Ⅱ> 対象者：一般選抜1期の出願者(留學生は対象外)。 採用要件：一般選抜1期で入試成績が上位4名の者で入学意思のある者。 ※入学後毎年継続の可否を審査します。 ※①スカラシップチャレンジ制度と宝塚大学奨学金制度との併用はできません。	免除・減免	<入試特待生Ⅰ> 80万円 <入試特待生Ⅱ> 45万円	<入試特待生Ⅰ> 4年間 <入試特待生Ⅱ> 4年間 ※入学後毎年継続の可否を審査します。	<入試特待生Ⅰ> 1名以内 <入試特待生Ⅱ> 2名以内	地域の制限なし	東京事務部学務課	併用可	併用不可	
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	創作研究活動支援制度(A)	在学中	東京メディア芸術学部所属する学部生(2年次から4年次)	特待生・成績優秀者 研究支援 その他	昨年度(2023年4月～2024年3月)における、作品制作および研究発表等において顕著な成績を収めた学生を奨励する制度	選考対象：大型のコンペティション大会、または学外の作品発表・展示や学芸活動、プロジェクト等でのめざましい成果を得た者や社会貢献と認められるもの	給付奨学金	<創作研究活動支援制度(A)> 優秀賞 10万円 奨励賞 5万円	1年間	<創作研究活動支援制度(A)> 優秀賞 3名程度 奨励賞 4名程度	地域の制限なし	東京事務部学務課	併用可	併用可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	創作研究活動支援制度(B)	在学中	東京メディア芸術学部所属する学部生(2年次から4年次)	特待生・成績優秀者 研究支援 その他	今年度(2024年度)実施予定の創作・研究活動計画を基に、学内審査を経て質の高い取組を外部に広く発信することを支援する制度。 対象：書籍・消耗品(大学設備がある機器は除く)・印刷費・送料・制作費・印刷費(販売を目的とする作品制作費は対象外)等	選考対象：大型のコンペティション大会、または学外の作品発表・展示や学芸活動、プロジェクト等でのめざましい成果を得た者や社会貢献と認められるもの	給付奨学金	<創作研究活動支援制度(B)> 給付額 10万円(1名あたりの限度額)	1年間	<創作研究活動支援制度(B)> 20名程度	地域の制限なし	東京事務部学務課	併用可	併用可
宝塚大学	宝塚大学 梅田事務部 入試課	宝塚大学 東京メディア芸術学部 学生支援金制度	在学中	1年次生～4年次生	奨励取得支援制度 その他	学生の生活向上及び各種資格取得を経済的にサポートするために設けられた学生支援金制度	【対象者】 1)留學生日本語能力試験支援金 以下の条件をすべて満たす者 ①東京メディア芸術学部在籍する留學生 ②日本語能力試験(JLPT)でN1をすでに保有する者、または保有した者 2)資格取得支援金 以下の条件をすべて満たす者 ①東京メディア芸術学部在籍する学生 ②在学年度中に、以下の資格を保持する者※同一資格での申請は1回限り ◆アドビ認定プロフェッショナル(ACP) PhotoshopCC/ IllustratorCC※試験科目より1科目以上合格 ◆マイクロソフト認定エキスパート(Microsoft Word/Excel/PowerPoint/Access/Outlook※試験科目より)科目以上合格 ◆CS5クリエイター認定 ページング/エキスパート※いずれか1種以上合格 ◆Web認定 (Webデザイン / Webデザイン/ Webデザイン/ Webデザイナー ※科目以上合格 ◆ITP認定 デジタルシグネチャ※いずれか1種以上合格 ◆色彩検定(1級・2級) ※いずれか1種以上合格 ◆TOEIC(100点以上) 取得者 ◆中国語検定(日本中国語検定協会)2級以上合格 3)一人暮らし支援金 以下の条件をすべて満たす者 ①東京メディア芸術学部在籍する学生 ②自宅(家族の居宅)外通学で、一般の賃貸住宅(学生寮・学生余剰含む)に居住する者 ③自宅(家族の居宅)から通学した場合に、通勤の交通手段(通勤電車)を家族以外に 経路を使用して20分以上を必要とし、そのため心労を被る者一人暮らしをする者 ※下記7～11に該当しない者 7. 当該年度に退学した者 8. 休学し、又は引続き2か月以上欠席している者 9. 当該年度に留校している者 10. 科目等履修生、聴講生 11. 科目等履修生、聴講生 ④日本国籍を有する者、特別永住者の資格を有する者または出入国管理及び難民認定法の別表第二に規定される在留資格(永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者(子)を有する者	給付奨学金	1)留學生日本語能力試験支援金 支援額:3万円 2)資格取得支援金 支援額:1万円 3)一人暮らし支援金 支援額:24万円(1月あたり2万円×12ヶ月分) ※賃貸契約等に記載の契約期間が短い場合、期間に応じた金額を支給	1)留學生日本語能力試験支援金 在学中1回限り 2)資格取得支援金 年間1回 3)一人暮らし支援金 賃貸契約等に記載の契約期間	1)留學生日本語能力試験支援金 有資格者約15名 2)資格取得支援金 有資格者全員 3)一人暮らし支援金 有資格者全員約15名	地域の制限なし	東京事務部学務課	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他の」 「その他の」 「その他の」 「その他の」	(3)支援の種類	「その他の」 「その他の」 「その他の」 「その他の」 「その他の」	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
姫路獨協大学	入試センター	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:入学時→対象となる入学試験において優秀な成績を収めること。 条件:入学時→1.得点率75%以上で特待生I種候補 ・得点率70%以上で特待生II種候補 2年次以降→前年度の学内成績により審査を行います。	免除・減免	特待生I種候補(1年次:授業料全額免除) 特待生II種候補(1年次:授業料半額免除) ※2年次以降は、前年度の学内成績により審査を行います。 (特待生I種:授業料半額免除、特待生II種:授業料1/4減免)	1年間	入学特待生1種:60名以内 特待生II種:60名以内 2~4年次生 特待生I種:14名以内 特待生II種:3名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	入試センター	獨協医科大学連携奨励生制度	入学手続時		入学金・授業料免除		対象学年:1~4年次(薬学部6年次まで) 対象学部:医療保健学部、薬学部 資格:次の条件のいずれかに該当する者 ①獨協内の高等学校から転校して入学した者。 ②入学日の1年以上前から引き続き獨協内に住所を有する親族で入学した者。 ③また、医療実習者や入学日の1年以上前から医療機関等に住所を有する親族で入学した者。 条件:3年次以降は、前年度の学内成績により審査を行います。最大4年間の授業料(一部)が免除されます。	免除・減免	1~2年次:授業料相当額の1/2 免除 3~4年次:授業料相当額の1/2 免除(学業成績が特に優秀な者) 授業料相当額の1/4 免除(学業成績が優秀な者)	最長修業年限	若干名	栃木県	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	遠隔地予約留学生制度	学校出願時		学費支援		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:下記①②の条件を満たす者 ①留学条件が申請時に対象地域に住所を有し入学後も引き続き対象地域に居住する者。 ②学業に優れた理由により進学が困難であると認められた者。 条件:対象地域:北海道、沖縄県 ※2年次以降は継続審査を行うことがあります。	給付奨学金	年額40万円	最長修業年限	入学時決定者	沖縄県	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	奨励金	入学手続時		学費支援		対象学年:入学時 対象学部:人間社会学部 資格:成績優秀なスポーツ特別選抜入学予定者 条件:入学後も該当クラブ活動を継続する意思のある者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者(専断者)	免除・減免	20万円	入学時のみ		35名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	入試センター	姫路獨協大学奨学金	その他	大学独自で選考	特待生・成績優秀者 学費支援		対象学年:2~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:学業成績が極めて優秀な者	給付奨学金	授業料相当額	1年間		14名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	入試センター	学業支援奨学金	在学中	1~4年次	学費支援		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額3万円	1年間		30名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	入試センター	特別学業支援奨学金	在学中	1~4年次	学費支援		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:学業成績に優れ、経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額5万円	1年間		30名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	入試センター	緊急支援奨学金	随時		学費支援		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:家計の急変で、経済的理由により、学業に支障をきたしている者	給付奨学金	授業料相当額 (半額または全額)	1年間		若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	入試センター	海外留學奨学金	在学中	2~4年次	留學費用支援制度		対象学年:2~4年次 対象学部:人間社会学部 資格:<派遣留學> 本学が協定を締結している海外の大学へ派遣留學する学生であって、学業成績が優秀な者 <交換留學> 本学が協定を締結している海外の大学へ交換留學する学生であって、学業成績が優秀な者	給付奨学金	<派遣留學> 月額:6万円 <交換留學> 月額:5万円	1年間(留學期間中)		5名以内	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可
	入試センター	海外語学研修奨学金	在学中	1~2年次	留學費用支援制度		対象学年:1~2年次 対象学部:人間社会学部 資格:異文化理解研修に参加する者	その他	上限は研修費用総額および航空費半分	10~14日間		若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	入試センター	特待生修奨励金	随時		資格取得支援制度		対象学年:1~4年次 対象学部:人間社会学部 資格:資格取得を目的し一定の基準に達した者	その他	1資格あたり5万円まで	在学期間中		若干名	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可
	入試センター	国際実務実習奨学金	在学中	2年次	特待生・成績優秀者 学費支援		対象学年:2年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:学業、人柄が共に優秀であり、かつ経済的理由のための修学が困難であると認められた者	貸与奨学金	月額3万円(権利子)	最長修業年限		1~2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用不可
	入試センター	姫路獨協大学外国人留学生奨学金	在学中	2~4年次	学費支援		対象学年:2~4年次 対象学部:人間社会学部、医療保健学部(理化学部、作業療法、言語聴覚療法)、看護学部 資格:優秀な実習を有する者であって、経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額3万円	1年間		若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用不可
	入試センター	ファミリー制度	入学手続時		その他	親族制度	対象学年:1年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:2親等以内の親族が未学を卒業、修了または在学している入学者。	給付奨学金	20万円	入学時のみ		申請者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	シニア引制度	入学手続時		学費支援		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:生涯にわたり学び、学習活動を続けようとする学生(入学時満60歳に達している者)。	免除・減免	授業料相当額の半額	最長修業年限		若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	入試センター	HDUチャレンジ特待生	学校出願時		学費支援		対象学年:人間社会学部1~4年次、医療保健学部、看護学部1~2年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:高等学校での資格・検定に優る学業を評価し、本学の定める資格・検定等部(HDUチャレンジ)に入学し、出願時までに取得した者を申請対象でHDUチャレンジ特待生対象として受験した。合格時点でHDUチャレンジ特待生として認定します。 また、2年次以降のHDUチャレンジ特待生認定申請について人間社会学部において本学の学業・社会実務・資格・検定等取得し、必要単位を修得した場合は、人間社会学部学業成績条件に満たず、自身の努力によりHDUチャレンジ特待生継続認定を受けることが可能となります。 医療保健学部・看護学部においては合格時点で、1年次・2年次のHDUチャレンジ特待生認定を確約いたします。 条件:留年した場合はHDUチャレンジ特待生の対象から外れます。	免除・減免	授業料相当額の1/2	最長修業年限		対象者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	獨協高等学校・獨協埼玉高等学校奨励生制度	入学手続時		入学金・授業料免除		対象学年:1~4年次 対象学部:医療保健学部、看護学部 資格:獨協高等学校又は獨協埼玉高等学校から転校して入学した者で、本学の基準を満たしている者 条件:3年次以降は、前年度の学内成績により審査を行います。 最大4年間または6年間の授業料(一部)が免除されます。	免除・減免	1~2年次:授業料相当額の1/2 免除 3~4年次:授業料相当額の1/2 免除(学業成績が特に優秀な者) 授業料相当額の1/4 免除(学業成績が優秀な者)	最長修業年限		若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	特待生S種	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		対象学年:1~4年次 対象学部:医療保健学部、看護学部 資格:対象となる入試区分において、得点率90%以上の成績を収めた者。 条件:2年次以降は、前年度の学内成績により継続審査を行います。	免除・減免	1年次:授業料全額免除 2~4年次:各学部(医療保健学部・看護学部)により金額が異なる。	最長修業年限		入学時決定者のみ	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	入試センター	指定校推薦特待生	入学手続時		入学金・授業料免除		対象学年:1~4年次 対象学部:全学部(人間社会学部、医療保健学部、看護学部) 資格:HDUチャレンジ特待生 条件:指定校推薦対象者	免除・減免	各学部により金額は異なる	最長修業年限		対象者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期も記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
兵庫医科大学	学生支援課	兵庫医科大学特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜(4科目)の成績上位者5名(※ただし、兵庫医科大学兵庫附属医大入学制度に選ばれた場合は本制度の対象外)	免除・減免	入学手続時納付金のうち実務実習費(30万円)、施設設備費(45万円)、教育充実費(100万円)相当を全額免除。	入学時	5名	地域の制限なし	大学事務部入試課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学特待診療科医師養成奨学金制度	学校出願時		学費支援	医師不足が深刻な兵庫医科大学病院内の診療科(指定診療科)を志望する学生。 一般選抜(4科目)出願時に所定の書類を提出。 一般選抜(4科目)の合格者とし、後次者のうち成績上位の者から選抜。 ※学費選考試験として、英語選考試験を実施。	医師不足が深刻な兵庫医科大学病院内の診療科(指定診療科)を志望する学生。 一般選抜(4科目)出願時に所定の書類を提出。 一般選抜(4科目)の合格者とし、後次者のうち成績上位の者から選抜。 ※学費選考試験として、英語選考試験を実施。	貸与奨学金 免除・減免	年間245万円貸与。	6年間	3名(2024年度) 【外科】消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器科(1名)。 【小児科】産科補人科(1名)、「産科補人科」名、「産科補人科」名、「産科補人科」名。 【救急科】救急科(1名)	地域の制限なし	大学事務部入試課	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学医学部奨学金	在学中	随時対応(ただし、2年生以上)	学費支援		医学部2年生以上で、申請年度に正課に連続し、前年度の成績が上位1/2以内の学生。 災害時等の不測の事態が発生した場合は、上記の条件に限らず都度対応。	貸与奨学金	上限245万円貸与。(次年度以降も必要場合は都度対応)	1年間	5名以内	地域の制限なし	大学事務部学生支援課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学研究奨励金	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		「研究奨励金」に所属する3年生以上の医学部学生。(ただし、1学年4名まで) ※前年度の成績、GPAが2.0以上(※)であること。 以下の1～3に該当し、引き続き5年間本学で研究スタッフとして研究業務に従事したとき、返還免除する。 ①本学卒業後に引続き本学大学院医学研究科に進学し、在学期間中に学位(医学博士)を取得(大学院修了)したとき。 ②本学卒業後に引続き本学大学院医学研究科に進学し、在学期間中に学位(医学博士)を取得(大学院修了)したとき。 ③本学卒業後に引続き本学大学院医学研究科に進学し、在学期間中に学位(医学博士)を取得(大学院修了)したとき。	貸与奨学金	年間150万円	最大4年間	1学年4名まで	地域の制限なし	大学事務部教育支援課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学後援会学費等貸与	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		会則に定める会員の死亡または長期療養、その他特別な事情が発生した場合。	貸与奨学金	学費については上限300万円。 *学費を除く修学費用については上限100万円。 ※それぞれ次年度以降も更新が可能。	1年間(更新可)	対象者全員	地域の制限なし	大学事務部庶務課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学新入生支援奨学金制度(2022年度以降入学生対象)	その他		新入生 ※大学が入学試験の成績に基づき選考を行うため、申請不要	特待生・成績優秀者 学費支援	【学年】 新入生 【要件】 一般選抜前日程(3科目)の成績上位者	免除・減免	医学部医歯薬理学科:160万円 看護学部看護学科:160万円 リハビリテーション学部理学療法学科:155万円 リハビリテーション学部作業療法学科:155万円	-1年間		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学在学生支援奨学金制度(2022年度以降入学生対象)	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		【学部・学年】 医学部2年生～4年生 看護学部及びリハビリテーション学部2年生～4年生 【要件】 (経済状況)申請者の所属する世帯の合計収入が、910万円未満であること (学業成績)GPAが2.0以上 (その他)以下のいずれかの活動に参加 ・フロンティアサポーターズ ・個人学生アドバイザー ・ピアサポート ・学生会・大学行事実行委員会・部会の執行部として活動	免除・減免	-20万円(1年間)	-1年間(毎年申請可能)			地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	兵庫医科大学病院奨学金(2022年度以降入学生対象)	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		【学部・学年】 医学部5、6年生 看護学部3、4年生 【要件】 卒業後、兵庫医科大学病院において、実習生・実習生、看護学部または助産師の業務に従事する意思のある学生	貸与奨学金	-50万円(1年間) ※大学卒業後1年以内に薬剤師・看護師・助産師国家試験に合格し、兵庫医科大学病院において薬剤師・看護師・助産師の業務に一定期間従事すると併当免除となります。但し、卒業期間により免除額は変動します。			地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
	学生支援課	兵庫医科大学さきやま医療センター奨学金(2022年度以降入学生対象)	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		【学部・学年】 看護学部全学年 【要件】 看護学部在学中の学生で、卒業後、兵庫医科大学さきやま医療センター(さきやま老人保健施設を含む)において、看護部の業務に従事する意思のある学生	貸与奨学金	-50万円(1年間)			最大の4年間(修学期間内) ※1年毎に審査を行います。	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
武庫川女子大学	学生部 学生課	武庫川学院奨学金	在学中	全学年	学費支援 その他	学業達成奨励	・全学年対象 (A)と(B)の2種類があります。 (A)本人の成績、専攻専攻により推薦額が認められる者で、学業継続の意思のある者。 (B)授業料の納入が滞りなく、学業継続の意思のある者。 ・賞与奨学金受給者または出願者 ・学力基準は、GPAが2.0以上	給付奨学金	(A)各自の納付授業料40%相当額(後期採用者は後期授業料の40%相当額) (B)年間30万円	1年度限り	2023年度採用者50名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りでの併用可		
	学生部 学生課	実学部奨学金貸付奨学金	在学中	4年生・5年生	学費支援 その他	学業達成奨励	・実学部4年生・5年生対象・学業成績優秀で次年度への進級が見込まれる者・経済的に修学が困難と認められる者・返還が見込まれる者	貸与奨学金	当該年度授業料相当額(1万円未満切り捨て) -120万円、100万円、80万円、50万円の中から希望額を選択	3年生・4年生の2か年、または1か年	年間10名程度	地域の制限なし	実学部事務室	併用可	併用可		
	学生部 学生課	武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育後援会奨学金	在学中	卒業学年	学費支援 その他	学業達成奨励	(1)卒業学年に在籍する学生で、当年度末に在学期間・修業単位数などの卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 (2)家族関係により当該授業料の納入が困難な場合、短期間で返還が見込まれる者、寄附基準が日本学生支援機構第一種奨学金基準内にある者 ・学力基準は、GPAが2.0以上	貸与奨学金	当年度授業料の1/2・1/5相当額	1年度限り	2023年度採用者1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	学生部 学生課	武庫川学院福祉会奨学金	在学中	全学年	学費支援 その他	学業達成奨励	授業料の支弁が困難であり、学業優秀・品行方正であると認められる者(家計急変事情を重視)、学力基準は、直近の履修科目の個人平均点75点程度	給付奨学金	年間30万円	1年度限り	10名程度 (2023年度採用者3名)		地域の制限なし	福祉会事務室	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可	
	学生部 学生課	公江特待生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者	その他	各学部から推薦を受けた学術優秀で、本学の学業として真に努力を怠らぬ者が対象となり、学力・人物の総合的判断により、選考委員会において決定されます。	その他	賞金30万円	在学中1回限り	2024年度45名		地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部 学生課	大河原学院長賞	在学中	全学年	その他	顕賞	学生会公認団体に所属する個人及び団体、もしくは学外の団体に所属する個人で、体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を収めた、または、世界レベルの大会に出場したものに對し、賞金が与えられます。	その他	それぞれの成績に応じて賞状及び賞金が授与されます。			当該年度に1回 (対象の全ての成績のうち、最上位の成績に對して賞状が授与されます)	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	学生部 学生課	武庫川学院創立80周年記念特別奨学金	在学中	2年生以上	学費支援 その他	学業達成奨励	2年生以上 ・入学時に武庫川学院奨学金に採用された大学・短大生で、専攻範囲で取りながら学業継続の意思のある者 ・賞与奨学金受給者または出願者 ・学力基準は、GPAが2.0以上	給付奨学金	年間20万円	1年度限りとする		2024年度31名採用	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りでの併用可	
	学生部 学生課	入試成績優秀者対象奨学金制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援		一般選抜(大学入学共通テスト利用型)における入学試験成績優秀者。 次の項目すべてに該当する者。 ・対象学科(専攻)が優秀 ・対象科目(専攻)の合計得点率が70%以上の者の中で成績上位30%以内の者 ・当該学科に入学した者	給付奨学金	年間授業料の半額30万円。(最大50万円)	1回(入学後)		2024年度入試・入試成績優秀者対象奨学金制度 合格者17名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	学生部 学生課	武庫川女子大学演習奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		次の項目すべてに該当する者。 ・高等専門学校(又は中等教育学校)を2023年3月卒業、または2024年3月に卒業見込みの者 ・人物・学業・専攻と関係なく、卒業科目数または履修科目数などの履修科目数で教員推薦を受けた者	給付奨学金 免除・減免	学費全額給付もしくは学費半額給付。入学金は学費全額給付は全額、学費半額給付は半額給付とする。	4年間を上限とする。		2024年度演習奨学金入試採用者1名	地域の制限なし	音楽学部、アドミッションセンター	併用可	併用可	
	学生部 学生課	新1年生対象自宅外通学応援奨学金	在学中	当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した新1年生	その他	遠隔地出身者への経済的支援	当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した新1年生対象。 日本学生支援機構が定める基準の遠隔地出身者で入学4月から自宅外から通学している者。 経済的に修学が困難であると認められる者。 日本学生支援機構の第一種奨学金に入学年度の8月までに決定した。ただし給付型奨学金受給者は除く。	給付奨学金	年間20万円	在学中1回限り		人数制限なし(条件を全て満たした申請者全員) 2023年度29名採用	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可	
	学生部 学生課	卒業学年対象貸付奨学金返還支援制度	在学中	卒業学年	特待生・成績優秀者 その他	貸与奨学金返還支援	卒業学年において日本学生支援機構の第一種貸付奨学金受給者対象。ただし給付型奨学金受給者は除く。 当該年度に優秀な成績で卒業が見込まれる者。	給付奨学金	年間30万円を限度とする日本学生支援機構の第一種貸付奨学金総額を超えない金額とする。	1回限り			卒業学年の各学部学科において、出願対象者の中で成績GPA最上位(最上位が複数名の場合は同次平均点)より上位を選出する。かつ、学内専攻が1/3以上とする。 2023年度採用5名	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
	学生部 学生課	日文学科 輝谷彩子奨学金	入学後		成績取得支援制度 課外活動支援制度 その他	学修奨励金	大学文学部日本語日本文学科2年～4年生または、短期大学部日本語文化科学科2年生対象 A 将来の目標に向かって、学業もしくは学業と関連して学友会、資格取得、部活動、ボランティア、サークル、異文化交流、創作や制作などの活動に専心に取り組んでいる者 B 教員として強い意志を持った、公立学校の教員採用試験の合格者、もしくは私立学校(日本語教育機関を含む)の正式教員採用者	給付奨学金	A 5万円 B 3万円	1回限り		A 年間10名程度 B 人数制限なし	地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学部・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学部・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
関西福祉大学	入試センター	共通テスト受験免除特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：大学入学共通テスト利用選抜期「6教科型」の受験者で得点率が70%以上の合格者は全員、学費全額免除 減免期間：4年間（継続審査なし）	免除・減免	対象：全学部学科 金額：学費全額免除 期間：4年間（継続審査なし）	期間：4年間（継続審査なし）	人数制限なし（対象者全員）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	入学時成績優秀特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：総合選抜10月期【特待生選考テストおよび一般選抜前期（前期共通テストプラス含む）】において、受験者上位1～30位の合格者は授業料半額減免 減免期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）	免除・減免	対象：全学部学科 金額：授業料半額減免 期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）	期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）	最大60名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	特色選抜「看護探究型」合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：看護学部看護学科 内容：特色選抜「看護探究型」の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象：看護学部看護学科 金額：入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除		特色選抜「看護探究型」募集定員：10名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	社会福祉特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科 内容：社会福祉特別選抜の合格者は入学金の免除	免除・減免	対象：社会福祉学部社会福祉学科 ①社会福祉特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除 ②合格者の選考として本学で開講している資格講座（介護職員初任者研修、ガバヘルパー養成研修等）で受講可	①入学金減免は入学手続時 ②の優遇措置は在学中（4年間）		社会福祉特別選抜 募集定員：40名（特別選抜合計）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	教育・保育者特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：教育学部児童教育学科 内容：教育・保育者特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象：教育学部児童教育学科 金額：入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除		教育・保育者特別選抜 募集定員：20名（特別選抜合計）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	スポーツ・音楽系特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科 内容：スポーツ・音楽系特待生選抜の合格者 特待生の選考は各クラブで実施するセレクション等で決定	免除・減免	特待生種別と減免金額 特待生A：入学金全額および学費全額免除 特待生B：入学金全額および学費半額免除 特待生C：入学金全額および学費1/4免除 特待生D：入学金全額免除 特待生E：入学金半額免除	4年間		スポーツ・音楽系特待生選抜 募集人員23名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	指定校推薦入試（高大連携校）、内部校推薦入試 合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：①指定校推薦入試（高大連携校）の合格者は入学金減免 ②内部校推薦入試の合格者は入学金減免	免除・減免	①指定校推薦入試（高大連携校）の合格者は入学金減免 ②内部校推薦入試の合格者は入学金減免	入学手続時に減免		対象入試の合格者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	兄弟姉妹特別奨学金	入学後		入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：入学年度入学試験に合格した入志願者の兄弟姉妹が①または②いずれかに該当している場合、入学金半額相当額(100,000円)を給付 ①関西光学学園の設置する学校に在籍している（受験年度の2023年3月卒業を含む） ②関西光学学園の設置している学校の入学年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し、合格後、2名以上が同時に入学する	給付奨学金	入学金半額相当額(100,000円)の給付	入学後に手続き		人数制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件ありで併用可
	入試センター	設置卒業生女子特別奨学金	入学後		その他		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：関西光学学園の設置する学校を卒業した者の女子が入学した場合は、入学金半額相当額を給付	給付奨学金	入学金半額相当額(100,000円)の給付	入学後に手続き		人数制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	災害被災者に対する特別措置	入学後		入学金・授業料減免 その他	学費支弁の期限の猶予	対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：2024年4月1日以前において災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者で、かつ2024年度入試を受験しようとする者で被災状況を証明する書類の提出が可能の方が対象。 ①父母（養育者）が亡くなった場合、または負傷され、入院し、1か月以上の長期加療が必要な場合、および養育者が消失または失踪（半日以上の状態）により引継ぎ困難な状況に陥り、本人が困難と認められる場合、入学金全額免除および1年次（初年度）学費の支弁期間の猶予、入学料の免除 ②その他災害により入学決定料等支弁が難しく困難と認められる場合、入学金および1年次（初年度）学費の支弁期間の猶予、入学決定料の免除	免除・減免 その他	①父母（養育者）が亡くなった場合、または負傷され、入院し、1か月以上の長期加療が必要な場合、および養育者が消失または失踪（半日以上の状態）により引継ぎ困難な状況に陥り、本人が困難と認められる場合、入学金全額免除および1年次（初年度）学費の支弁期間の猶予、入学料の免除 ②その他災害により入学決定料等支弁が難しく困難と認められる場合、入学金および1年次（初年度）学費の支弁期間の猶予、入学決定料の免除	出願時に手続き		人数制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	関西福祉大学奨学金制度	入学後		学費支援		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：学か・人物ともに優秀で経済的理由により修学が困難な2年生以上の者	給付奨学金	①社会福祉学部 年額372,000円（月額31,000円） ②教育学部 年額450,000円（月額37,500円） ③看護学部 年額600,000円（月額50,000円）	給付期間：1年間	若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	金光奨学金	入学後		学費支援		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：学か・人物ともに優秀な学生で経済上、学費補助を要する者	給付奨学金	年額給付上限 200,000円	給付期間：1年間		若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	関西福祉大学教育後援会緊急奨学金制度	随時		学費支援		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：主に1年次から3年次の学生で家計急変のため、修学が困難となった者	給付奨学金	採用した学期の授業料の不足額に相当する金額	申請の都度の審査による		若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	関西福祉大学校友会緊急奨学金制度	随時		学費支援		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容：卒業を目前にしている1-4年次の学生で家計急変のため、修学が困難となり緊急に支援が必要な者	給付奨学金	採用した学期の授業料の不足額に相当する金額	申請の都度の審査による		若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	資格取得奨励助成金制度	在学中		資格取得支援制度		対象学部学科：社会福祉学部 社会福祉士国家試験受験希望者 教育学部 教員・保育士採用試験対策講座受講者 看護学部 看護師、保健師、助産師国家試験対策講座受講者 内容：資格取得を奨励する助成金制度。対策講座、テキスト代、模擬試験受験料などの一部を助成	その他	対策講座、テキスト代、模擬試験受験料などの一部を助成	適宜		対象者	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	入試センター	短期貸付金制度「夕風基金」	随時		その他	貸与	対象学部学科：在学生 内容：一時的に生活費などが必要となった者に対し、無利子で短期間貸し付け(3,000円以上50,000円以内)	その他	無利子で短期間貸し付け(3,000円以上50,000円以内)	適宜		対象者	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
入試センター	看護教諭特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：教育学部保健教育学科 内容：看護教諭特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象：教育学部保健教育学科 金額：入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除		看護教諭特別選抜 募集定員：20名（特別選抜合計）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
入試センター	商業資格特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科 内容：商業資格特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象：社会福祉学部社会福祉学科 金額：入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除		商業資格特別選抜 募集定員：5名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
入試センター	児童教育学科10周年記念特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科：教育学部児童教育学科 内容：総合選抜9月期、総合選抜10月期【特待生選考テスト】、一般選抜前期（前期共通テストプラス含む）のそれぞれの入試において、児童教育学科の受験者上位1～10位の合格者は授業料半額減免 減免期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）	免除・減免	対象：教育学部児童教育学科 金額：授業料半額減免 期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）	期間：最長4年間（2年次以降の継続は毎年審査あり）		最大30名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
入試センター	英語資格特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科 内容：英語資格特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象：社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科 金額：入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除		英語資格特別選抜 募集定員：社会福祉学部40名、児童教育学科20名、保健教育学科20名（各学科の特別選抜合計）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
帝塚山大学	学生生活課(東生駒キャンパス)	帝塚山大学特待生奨学金	その他	対象の入試成績により4年間の授業料が50%減額となる。 (次年度の成績は学業成績により毎年審査があります。)	特待生・成績優秀者		(対象となる入試制度) -学校推薦型選抜(公募)推薦[2科目型] -一般選抜(日程・前期[2科目型]) -一般選抜(日程・前期[3科目型]) (給付対象者) 入試総得点が70%以上かつ1〜25位までの合格者	給付奨学金	授業料50%減免 授業料に書かれていない受講費等は減免されません。 2年次以降は授業料が99万円のたか、49万5千円に減免されます。			地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	学生生活課(東生駒キャンパス)	帝塚山学園特別奨学金	在学中		資格取得支援制度 その他	在学中に国家資格などを取得した学生を表彰し、一層の励みを奨励することを目的として給付する制度	在学中に国家資格などを取得した学生が対象	給付奨学金	20万円・知理士・司法書士・非営利・社会福祉士・資格取得 10万円・情報処理安全確保支援士・合格・中小企業診断士・資格取得 5万円・社会保険労務士・応用情報技術者・行政書士・資格取得 5万円・宅地建物取引士・選奨士・資格取得			地域の制限なし	キャリアセンター 資格コーナー	併用可	併用可	
	学生生活課(東生駒キャンパス)	帝塚山大学入学者奨励奨学金	入学後		学費支援		日本学生支援機構 入学特別奨励奨学金(予約採用)手続きを完了した採用候補者のうち、応募者すべてに該当する希望者には入学特別奨励奨学金を併用して授業料等の給付の一部を来年度まで保留(貸付)します。	貸与奨学金	日本学生支援機構奨学金の予約採用候補者の入学特別奨励奨学金(上限額)。			地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	学生生活課(東生駒キャンパス)	帝塚山大学海外留学者奨学金	その他	2~4年	特待生・成績優秀者 留学者用支援制度		1. 学内成績 つきの①~③の条件を満たしていることが必要です ①1年生は当該年度前期試験得単位が4単位以上であり、当該年度前期学内成績が学科中上位から1/3以内であること ②2年生は前年度修得単位数が30単位以上であり、前年度学内成績が学科中上位から1/3以内であること ③3年生は前年度までの修得単位数が70単位以上、かつ、前年度修得単位数が30単位以上であり、前年度学内成績が学科中上位から1/3以内であること 2. 留学する際の言語能力試験の成績 留学者の言語の留学能力試験で規定の水準を越える者。	給付奨学金	奨学金の給付金額については次のとおり。 -留学奨学(留学期間半年間) 上額10万円 -正規留学(留学期間1年間) 上額10万円 他に留学期間中の本学学費は免除	留学奨学(半年間) 正規留学(留学期間1年間)	留学奨学 各キャンパスごとの8名以内(合計12名以内) 正規留学 全学計8名以内	地域の制限なし	学生生活課(国際交流担当)	併用可	併用可	
	学生生活課(東生駒キャンパス)	私費外国人留学者学費減免制度	学校出願時		入学会・授業料減免		1年次生・外国人留学者で、経済的理由により就学が困難な者(家計基準者) 2年次以降:上記の条件以外に前年度の修得単位数が30単位以上の者	免除・減免	1年生~4年生は授業料の10%減免 大学院生の場合には年間の減免額が105,000円			地域の制限なし	学生生活課(国際交流担当)	併用可	併用可	
	学生生活課(東生駒キャンパス)	私費外国人留学者学費減免制度	学校出願時		入学会・授業料減免		1年次生・外国人留学者で、経済的理由により就学が困難な者(家計基準者) 2年次以降:上記の条件以外に前年度の修得単位数が30単位以上の者	免除・減免	1年生~4年生は授業料の10%減免 大学院生の場合には年間の減免額が105,000円			地域の制限なし	学生生活課(国際交流担当)	併用可	併用可	
奈良大学	学生支援センター(学生担当)	奈良大学学費減免	随時		学費支援 入学会・授業料減免		学費負担者の死亡、学費負担者が欠陥・重大被害の被害者(被害の給付が難しく困難になった者)、 対象者は3、4年次生で成績優秀、かつ卒業可能な者。	免除・減免	原則として各期の学費について、高等教育の修学支援新制度の対象とならない部分の金額又は半額。	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用可	併用可	
	学生支援センター(学生担当)	奈良大学緊急支援貸付金	随時		学費支援		修学を希望するにもかかわらず経済的理由により緊急に学費の支弁が困難になった者	貸与奨学金	45万6,000円を上限に希望額	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用可	併用可	
	学生支援センター(学生担当)	奈良大学奨学金	入学後		学費支援		全学年・全学期対象。 学業不振と見なされるが経済的理由による修学困難な者。	貸与奨学金	自宅生は月額3万円、自宅外生は月額3万8000円。	毎年度	20名前後	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用不可	併用不可	
畿央大学	入学センター	入学時成績優秀者特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		対象となる入学試験における成績優秀者(各学科の全方式合格者のうち上位10%程度)に原則として4年間、(3年次進級時に成績などで審査あり)	給付奨学金	年額43万円	原則として4年間			地域の制限なし	入学部	併用可	併用可
	入学センター	遠隔地出身学生支援特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		畿央大学から約600km以上の遠隔地にある高校出身の受験生で、対象となる入学試験における成績優秀者(各学科の合格者のうち上位20%以内)で原則として4年間、(毎年、住所の審査あり、3年次進級時は成績審査もあり。)	給付奨学金	年額24万円	原則として4年間			地域の制限なし	入学部	併用可	併用可
	入学センター	冬木哲子特別奨励費	在学中	2回生以上	特待生・成績優秀者		学業成績・人物ともに他学生の模範となる学生の更なる努力を促す。選考は学部長の推薦によるものとして、各学科1名、全学25名を選出。	給付奨学金	年額20万円	1回限り			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	入学センター	畿央大学特別奨励費	在学中	2回生以上	特待生・成績優秀者		学業成績・人物ともに優秀な学生を奨励する。選考は学部長の推薦によるものとして、奨学金委員会において各学科24回生各1名(現代教育学科のみ各2名)、全学で18名を選出。	給付奨学金	年額10万円	1回限り			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	入学センター	畿央大学特別奨励費	在学中	2回生以上	学費支援		経済的理由により修学が困難で、かつ学業成績・人物ともに優秀な学生を対象に、申請のあった者の中から全学250名を選出。	給付奨学金	年額20万円	1回限り			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
高野山大学	総務課	高野山大学入学金減免制度	入学手続き時		入学会・授業料減免		①学業及び人物が優秀な者 ②優良な資質をもちながら経済的理由によって学費の支弁が困難な者	免除・減免	①入学会金額 ②入学会半額	入学時	若干名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	総務課	高野山大学私費外国人留学者授業料減免制度	入学手続き時		入学会・授業料減免		学費または大学院に在籍する私費外国人留学者	免除・減免	①授業料全額 ②授業料の一部	1年間	若干名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	総務課	高野山大学奨学金	入学後		学費支援		文学部2~4年生 ※3年生編入生は4年次より対象	給付奨学金	①授業料相当額 ②授業料半額相当額	1年間			地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	高野山住職会奨学金	入学後		学費支援		高野山真言宗寺院住職の学部生、大学院生	給付奨学金	20万円	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	佐伯奨学金	入学後		学費支援		文学部生	給付奨学金	50万円	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	高野山大同窓会奨学金	入学後		学費支援		文学部生、大学院生	給付奨学金	①1年生 10万円 ②2年生以降 20万円	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	名越奨学金	入学後		学費支援		文学部生、大学院生	給付奨学金	24万円	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	高野山大学外国人留学者奨学金	入学後		学費支援		1留学の在籍資格を有する文学部生、大学院生	給付奨学金	①授業料相当額 ②授業料半額相当額	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	総務課	教育学科遠隔地特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		【対象】 ①住居掲載の住所から河内長野キャンパス(大阪府河内長野市)までの通学時間が片道180分以上に該当し、入学後に河内長野キャンパスの周辺に下宿する者。 ②教育学科の入学試験を受験し、人物および学業成績が優秀と認められる者。	免除・減免	①入学会免除 ②授業料半額免除	①入学時 ②2年次以降は学業成績による審査あり		若干名	地域の制限なし	河内長野キャンパス事務室	併用可	併用不可
	和歌山信愛大学	アドミッション・オフィス	入学試験成績優秀者奨学金 学校推薦型選抜(公募)	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1年生対象 学校推薦型選抜(公募)前期を受験し、入学試験成績上位10%程度に位置する者 ※入学を辞退した場合には奨学金は支給されません。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	20万円	1回限り		若干名	地域の制限なし	教学センター	併用可
アドミッション・オフィス		入学試験成績優秀者奨学金 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1年生対象 一般選抜1期・大学入学共通テスト利用選抜1期を受験し、入学試験成績上位10%程度に位置する者 ※入学を辞退した場合には奨学金は支給されません。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	20万円	1回限り		若干名	地域の制限なし	教学センター	併用可	併用可
アドミッション・オフィス		遠隔地学生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1~4年生対象 以下3点すべてに該当する者 -河内長野市の居住者が、本学が定めた遠隔地の者 -各入試区分において成績優秀である(全選抜で申請できます) -本学を第一志望とする者 ※方入学を辞退しなければならなかった場合は奨学金は給付されません。 ※遠隔地に成績等の審査あり。成績が1位~4位であれば奨学金の奨励対象をいたします。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	最大40万円(年額12万円)	4年間(遠隔地に成績等の審査があります)			地域の制限なし	教学センター	併用可	併用可
和歌山リハビリテーション専門学校	事務部	学校推薦型選抜(指定校)入学奨学金	入学手続き時		入学会・授業料減免		対象学年は1年生 学校推薦型選抜(指定校)において合格し、入学手続きを完了したすべての者	免除・減免	入学会の金額250,000円を免除	1回限り		人数制限なし	事務部	併用可	併用可	
	事務部	社会人対象給付奨学金	入学手続き時		入学会・授業料減免		対象学年は1年生 社会人選抜において合格し、入学手続きを完了したすべての者	給付奨学金	入学会の金額250,000円を奨学金として給付	1回限り		人数制限なし	事務部	併用可	併用可	
	事務部	ファミリー奨学金	入学手続き時		入学会・授業料減免		対象学年は1年生 各種選抜において合格し入学手続きを完了して、学校法人聖和会グループの教職員・在学生・卒業生の中で3級圏以内の血縁者(※入学後に申告書類を提出する必要があります)	給付奨学金	入学会の半額125,000円を奨学金として給付	1回限り		人数制限なし	事務部	併用可	併用可	
	事務部	下宿生支援奨学金	在学中		その他		全学年対象 本人が住居を借り、自宅が紀伊半島(和歌山・徳島方面)に所在し(本学への通学距離が100キロメートルを超える遠隔地)にあるか、または学長が通学困難と認めた方で、本学の近くで下宿をする必要がある者	給付奨学金	家賃の半額で1ヶ月最大15,000円を上限として給付(金額は審査により決定されます)	分割支給(2回/年度内)		人数制限なし	事務部	併用可	併用可	
	事務部	成績優秀者給付奨学金	その他		特待生・成績優秀者		審査対象は2年次以降 各年度において審査を行い、前年度の成績がGPA3.5以上、かつ、各学年において上位10%以内の基準を満たした各専攻上位1名	給付奨学金	200,000円	一括支給		各学年各専攻1名	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可